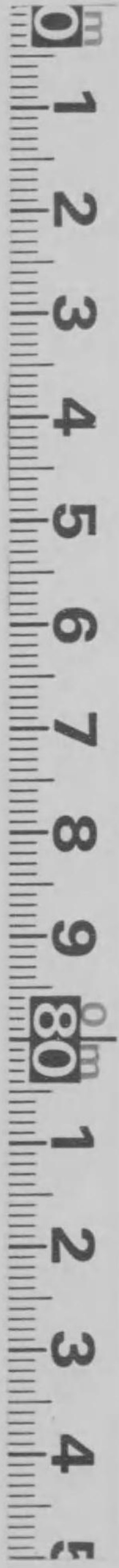


390  
54



始





390-54

The Planning of the Modern City

BY

N.P. Lewis

現代都市計畫

大正  
11.12.13  
購求



## 序

人口の都市集中は現代に於ける世界各国を通じての一大問題である。即ち此處に一般都市問題が必然的に起らざるを得ざる所以である。而して一般都市問題の中、最も直接にして緊急なる問題は實に都市計畫の問題であることは争はれない點である。是れ世界各国の大小都市が競つて此の問題の考究を試み、着々其の計畫を實施しつゝある所以に外ならぬ。

凡そ都市計畫の事實は必ずしも近代社會に初めて見出し得るものではなく、古代に於ても頗る大規模なる都市の建設が試みられしこと頗る歴史上明白なる事實である。然し、都市計畫の問題が痛切なる焦眉の急務となるに至つたのは、確かに近代社會、就中、産業革命以後に於ける急激なる産業發達に促がされたる結果なることも亦争ふべからざるところである。此の點より觀れば、都市計畫の問題は實に現代並びに今後の問題であると言ふも敢て失當ではなからう。而して、古代及び中世は勿論、近世初期に於ける都市の建設並びに其の發展は主として政治的所産に外ならず、帝王公侯の居城地、乃至政治的中心として創



設せられ、又發達したるものであつた。唯だ僅かに近世の初期に至つて稍々商業金融の中心として都市の發展を見たるに過ぎなかつた。而かも何れの場合に在つても、其の發展は急激なるものでなく、又概して小規模たるを免れなかつたことは争はれざるところである。然るに一たび産業革命が起り、從來の中心たりし都市が必ずしも新興の社會事情に適應するとは限らざることとなり、新時代の社會生活は舊來のまゝなる都市とは頗る其の趣を異にせる都市の建設及び發展を要求するに至つたことは蓋し必然の勢であつた。たとひ舊來の都市が尙ほ新興の社會状態に在つても依然として中心地たらんとする以上は、それを其の新事情に適合するやうに改良工夫するところがなければならなかつた。斯くの如くして、實に最近の都市は一に産業的發展の結果に外ならぬと斷言し得られるであらう。是れ英國、獨逸及び米國に於て最も熱心に都市計畫の問題が考究實施せられつゝ、ある生ける事實に依つても略ぼ諒知することが出来るのである。

然るに、都市の人口増加は累年非常の勢を以て進み、十年前の都市計畫は最早や今日の膨脹せる都市の發展に適合せざるものとなるといふことは決して珍らしき事實でなく、従つて、當初都市計畫を考究する場合には、唯だ單に當面の實際事情にのみ適合すれば足れ

りといふ如きことでは、必ずや幾年の後臍を噛むの悔ひを痛切に味はねばならぬ破目となるであらう。故に現代並びに今後の都市計畫は常に遠大の眼光を以て他日の發展を豫想し、優にそれに適合するが如き考案を立て着々實施するところがなくてはならぬ。斯くの如く現代の都市計畫には二個の種類を見出し得られるであらう。即ち、第一は、新都市の計畫であり、第二は、舊都市の改良計畫である。而して、後者の場合は最も困難なる問題を提供し、従つて其の經費も頗る莫大たるを免れぬのである。殊に累年益々急激なる發展を來たすが如き都市に在つては、殆ど想像すべからざるほどの困難を感じることは、苟くも専門當局者の常に經驗するところである。土地の購入、交通系統の整理、市街系統の改正、路面擴張、高架及び地下の交通線の布設整理、公園及び遊園の布置、公共建物の集合、住宅、工場、商業等各區域の設定等に關する幾多重要な問題が蝟集し來り、殆ど新に手を着くべき方途に迷はざるを得ざるが如きことも決して珍らしくない。而して、斯かる重大にして困難なる諸問題の解決は實に都市生活の能率と悅樂とを増進し、市民の精神的並びに身體的健康の増益を期する上に是非とも必要なことであらねばならぬ。

然るに、從來の都市計畫は別に豫じめ研究に研究を重ね、専門技師の熟練なる立案設計



に成れるものが少く、爲めに現に殆ど行詰りの醜態に陥らんとするものもあるからである。今日若しくは今後の都市計畫は勿論斯かる不用意と無組織とを許すべきでなく、又、素人の常識的見地にのみ基礎を置くが如きことは最も危険なるものである。都市計畫の問題は眞に之れを専門技師に委せらるべき特殊の事柄でなければならぬ。従つて、専門技師の職能と其の責任とは從來の如き輕易なるものではなく、十分之れを尊重して本分を盡すことを第一に心掛けねばならぬ。本書の原著者は身親しく紐育市技師として都市計畫に參加せるもの、如上の見解と抱負とを以て現代都市計畫の諸問題を捕へ、歐米諸國の都市計畫を一々例證し來り、一般都市計畫の諸原則を説明し、最も現下の要求に適せんとするものである。今や我が國に於ても首都東京市を初め、商工の中心地とも言ふべき大阪市の如き着々大規模の都市計畫の考案實施に従ひ、其の他の大都市も亦之れに倣はんとする状態を呈して居る。而して、其の計畫の模範と教訓とを競うて歐米諸都市に求めんとするも亦必然の傾向と言はざるを得ない。此の際、斯かる名著を紹介して、新時代の要求に應ずるは正に機宜を得たりと言ふべきである。

原著はもと早稻田大學校友莊保勝藏氏が文明協會に推薦し、且つ其の翻譯紹介を依頼せ

られたるものである。莊保氏は早稻田大學を卒へて久しく歐米を見學し、躬ら彼の地の諸都市を歴訪し、該博なる見聞と鋭利なる觀察とを得て、歸朝せられたる人である。歸來大阪市に在つて親しく商館經營の繁務に従事せらる、傍ら、目下大問題となれる同市の都市計畫に對して、平素の濫蓄を傾けて討究し、重きを斯界に爲し居らる、のである。原著の價値は莊保氏の推薦に依つて之れを認むべく、又本書の翻譯に際して同氏の教示を仰けることを深く感謝する次第である。

大正十一年十月

大日本文明協會



## 例言

近來、都市計畫に關して朝野の注意が著しく昂まつたことは事實であり、既に都市計畫法規も設定せられ、東京、大阪等所謂六大都市の計畫も着々考究或は實施せられて居る。是れ産業の發達に必然伴へる都市人口激増の結果に刺戟せられたものである。斯く一方に於て都市計畫に關する研究が進捗するに拘らず、他方に於て之れが適當なる研究參考書の缺乏は常に斯界専門家の私に憾みとせるところであつた。固より我が都市計畫は我が都市の事情に適せるものでなければならぬが、何れにせよ此の問題の研究實施は歐米諸都市の實際に經驗せるところを參考とし、其の先例に倣ふのが最も得策である。蓋し、現代に於ける歐米諸都市の急激なる發展は實に産業發達の必然的結果である一點に至つては、固より我が諸都市のそれと其の事情を一にして居るからである。現に我が國に行はる、都市計畫に關する數種の著書も専ら彼の地の都市計畫を主なる參考として居ることは事實であるが、それらの著書は既に其の載する統計的事實も舊く、最早さしたる參考資料と爲すに足らざるの觀がある。故に斯界に在つては今日ほど適切にして材料に富み、且つ最新の統計



と經驗とを記述せる都市計畫の名著を渴望せると言ふも敢て溢言ではなからう。然るに、本書の原著は紐育市の技師として親しく都市計畫に従事せるネルソン・ビー・リューイス(Nelson P. Lewis)氏の著述にかゝり、一九一六年、即ち世界戦争二年後にして世に公けにされたものである。此の點に於ても既に本書の原著が正に今日我が國に於ける斯界専門家にとつて最も適切なる好參考書たるを失はない。リューイス氏の原著は『現代都市の計畫、一名都市計畫を支配する諸原則の概説』(The Planning of the Modern City; A Review of the Principles Governing City Planning)と題し、全篇二十一章より成り、無數の設計圖、寫眞版、統計表を挿入し、都市計畫の全局面に互りて歐米諸國に於ける代表的諸都市の計畫を叙述し、原著者の見て以て適當なりとする諸原則を歸納して居る。斯かる豊富なる研究の結果を盛るに原著者は菊版四百二十數頁の大冊を以てし、獨得の實際家的眼光を以て周匝綿密苟もせざる叙述振りを見せて居る。此等の特色は實に原著の他に比儔なき價値をふ與るのみならず、此の種の著述に乏しき我が國の斯界にとつて恐らく絶好無二の參考書たるを失はないものであらう。今一々原著の内容に互つて説くの邊はないから、詳細は本譯書に譲るより外ないが、讀者翻讀の際に於ける豫備的便宜を慮り、各章

に就いて其の要點若しくは趣旨の概要を記して置きたいと思ふ。

第一章の緒論に於て著者は米國の都市計畫に對する歐洲諸都市並びに南米濠洲等の諸都市の計畫の價値を述べ、批評的に略述して居る。第二章の都市計畫運動に於ては都市計畫に對する興味は最近漸く一般に普及するに至れる由來を獨逸、英國、澳國、佛國、伊國、白耳義、南米諸國等に於ける最近の都市計畫の趨勢を略叙し、最後に米國諸都市に及んで居り、輓近都市計畫の史的叙述として之れを觀ることが出来る。第三章の誤謬の訂正に於ては、從來の諸都市に於ける計畫上の誤謬過失を指摘し、其の訂正の方法を説けるものであつて、此の事業の困難にして經費の點より不經濟なる所以を論じて居る。以上の三章に依つて讀者は現代都市計畫の如何なる意味を有するかを一通り承知することが出来るであらう。

第四章の都市計畫の要素に於ては、其の要素が四個あることを述べ、第五章の交通系統、第六章の街路系統、第七章の公園及び運動設備、第八章の公共建築物及び都市中心地は、實に其の四個の要素であると爲して、最も詳細なる叙述を各國の諸都市に照らして試みて居る、而かも此の數量が原書の中最も樞要なる部分を成すことと言ふまでもなく、従つて



著書はこれが爲めに百二十餘頁、即ち原著の約三分の一未滿を費して居る。

次に第九章は都市計畫の經濟的價值と題し、簡單に其の經濟的意義及び效用を述べて居るのは、能く要領を得たものである。第十章は特に最も重要な工業町又は市の工業區域に關して叙述を試み、其の建設を仔細に記し、頗る參考資料に富めるものである。第十一章より第十三章までは、街路に關する細項目に互つて綿密に説き及べるものであつて、即ち、第十一章は市街交通機關、第十二章は街路の實用及び美觀、第十三章は街路系統に對する鐵路の關係を説けるものである。蓋し、交通の便宜を計ることは、都市生活の必要上最も重要な事柄なることは勿論であるが、殊に大都會にして急激なる發展を遂げつ、あるものに在つては、街路の雜沓を緩和するやうな諸般の設備を爲すことは最も緊急なる問題であると言はねばならぬ。而して倫敦、紐育、巴里、シカゴ、伯林、維也納等歐米諸都市に於ける交通整理より交通上の危害をば統計的事實に照らして述べて居るのは、頗る參考となるであらう。次に第十二章の街路實用と美觀とを増す爲めには如何なる施設を爲すべきか、又重要な諸市に於ける實況を詳叙し、街路面の幅員、車道、歩道の布置按排、廣小路、公園道路、廣場等の實用上並びに美觀上の研究を發表して居るのも尠からざる參考

資料である。その他、市街鐵道、電車、地下汽車電車、高架汽車電車、排水、下水、給水、瓦斯燈、電燈、街樹、住宅、商店、廣告揭示等の細項に至るまで、一々實用的並びに美的見地より叙述するところがある。本章記述の事項の如きは最も手輕に適用さるべきものであらう。第十三章の鐵道と街路系との關係の如き、又大に參考と爲すに足るであらう。

第十四章は諸種の禁止事項をこれ又獨、英、米等の數多の都市の實例に徴して記載し、頗る興味ある資料を提供して居る。第十五章は都市の隣接地と都市計畫との關係に就いて述べたるもの、而して第十六章は近時我が國の一部に熱心なる共鳴を與へて居るところの所謂田園都市の問題を説き、其の起原及び發達を略叙し、有名なる英國のレッチワースの田園都市を初めとして諸々の新しき試みを紹介して居る。こは確かに此の方面の人々にとつて興味ある教訓を與へること、信ずる。更に第十七章は都市計畫法規を、第十八章は其の法規が如何にして勵行せられたるかの方法を同じく各國又は各州に就いて叙述して居るが、これ又官公當局を初め斯界研究者の絶好參考たることを疑はない。第十九章は都市計畫の財政的觀察を述べ、第二十章は都市の土地政策を記し、何れも有益にして興味ある記事である。而して著者は、最後の第二十一章に於て市技師の好機會と責任と題し、都市計畫者



(六)

として最も便宜の地位に在り、且つ最も適任者たるものは、市技師でなければならず、従つて、其の責任も亦従来よりは一層の重きを加ふべきものであることを痛論し、原著者が都市計畫に對する抱負を述べ、併せて此の著述を公けにせる所以を説いて居る。著者は親しく紐育市の技師たる重要な公職に就き、其の計畫に參與せる人丈けあつて、本章は之れを原著の結論としても亦特別の意味を有するものと思はれる。

斯く本書の原著は豊富なる資料を彪大なる書冊に盛りたるものであつて、其の總べてを悉く翻譯することは、頁數に制限ある本會刊行書の能くするところでないから、其の要領を成るべく簡明に紹介するに努め、原著の粹を集成することを得たりと信ずる。敢て讀者の諒承を請はんとする所以である。

最後に本會は本書原著を本會に推薦せられ、且つ其の翻譯を依頼せられたる莊保勝藏氏に對し深厚の謝意を表するものである。尙ほ編輯部に於て抄譯せる本書は理事早稻田大學教授杉山重義氏の校閲されしものであることを附言したい。

大正十一年十月

大日本文明協會識

目次

第一章。緒言……………	一
第二章。都市計畫運動……………	七
第三章。誤謬の訂正……………	六
第四章。都市計畫の要素……………	一〇
第五章。交通系統……………	三
第六章。街路系統……………	六
第七章。公園及び運動設備……………	二九

二



第八章 公共建築物と都市中心地……………二九

第九章 都市計畫の經濟的價值……………一五

第十章 工業町又は工業區域……………一六

第十一章 街路交通……………一八

第十二章 街路の實用と裝飾……………一〇五

第十三章 街路系統と鐵道との關係……………一〇三

第十四章 諸種の制規……………一〇一

第十五章 都市の郊外……………一五

第十六章 田園都市……………一七〇

第十七章 都市計畫法規……………一六一

第十八章 進歩及び方法……………一五九

第十九章 都市計畫の財政策……………一〇二

第二十章 市の土地政策……………三三

第二十一章 市技師の好機會と責任……………三三



目次終

# 現代都市計畫

## 第一章 緒言

都市計畫といふ一般的題目に關して今更ら一冊の著述を爲すべき必要があらうか。實は此の問題に關する幾多の著述は既に種々の題目の下に世に公けにされたるのみならず、特殊の事情及び各地方に關する幾多の報告も發表せられ、何れも此の都市計畫の問題を如何に取扱ひ、如何に解決すべきやを立派に示して居るのである。而も報告書に至つてはかゝる全分野を包含し、且つ具體的事實を取扱はずして基礎的原則を論述せんとする著書に比して一層貴重なる材料を提供することが珍らしくない。事情斯くの如き以上、何故に斯かる包括的なる一著を公けにする必要があるかと反問せざるを得ぬ次第である。答へて曰く、本書は専ら都市計畫の工學的方面を取扱へるもの、換言すれば一個の若しくは數個の工學上の問題としての都市計畫を論述せるものなるが故にと。著者は市技師が都市建築と同様



(三)  
に都市計畫の建設的事業に参加し、それを遂行する責任あることを本書通讀に際して明かに會得せんことを希望するものである。從來都市計畫に關する著述は概して其の建築的又は藝術的方面を力説し、且つそれを一の建築上の問題と解するが如き建築師に依つて公けにされるにあらずんば、都市計畫を一個の行政上の問題と認めんとする市政研究家の手に依つてもなされたのである。本書は實に都市計畫の根本問題は工學上の問題でもあり、又其の本質上さうでなければならぬといふ考を以てものされたことを卒直に告白して置きたい。

本書には、一般に工學者の活動範圍に入らざるものと考へらるゝ題目をも取扱ふであらうが、何れも皆苟も都市計畫の發展に責を有する人ならば當然知らねばならぬ問題のみである。恐らく如何なる意匠もの最も重要な特色は、それが變化する事情に對する順應性にあらねばならぬ。若しこれが移し得らるべき建造物、工場、鐵道汽船の終點等の敷設に關して然りとするならば、動かすべからざる一般都市計畫の場合には尙ほ更ら重要な譯である。故に都市の一般計畫又は既存都市の擴張を講究するとは、生活並に事業遂行の法の變化となつて現はるべき傾向の發展を周到に研究する上に最も重要なこととなるべき

筈である。

都市計畫に關する著書及び雜誌は營に心地よき讀物たるのみならず、教訓に富める貴重なるものである。其等の中には古代都市の計畫が圖解せられ、又其當時斯くもありしかといふやうな繪畫も載録せられ、更に現在世界最大最有名の建物等の寫眞が必ず載つて居るのである。本書には斯かる寫眞類は努めて省き、寧ろ其の無いといふことが本書の特色でもある。それは兎に角、バルミラとか、キレーネとか、アゼンスとかローマとかいふ古代都市を建設せる人々の事業は賞讃に値せるものであり、現代都市計畫の任に當るべき市技師に一種の靈感を與へるには違ひないが、それを手本とすることは却つて誤謬を來す所以なることを思はねばならぬ。古代都市の多くのものには華麗の建物があり、頗る美にして建築的意匠の粹を凝らしたる大傑作ともいふべき柱廊や、綠門にて飾られし建物と建物との間の聯絡的建物等があるが、扱て都市そのものの計畫は堅苦しい正方形のものであり、其の街路は極めて狭く、到底今日の都市計畫の範と爲すべからざるものである。此等の都市の公會堂は寺院や公館の建物としては誠に結構なものであり、都市の觀覽所であり、其處には都市計畫の小模型があつたが、何れも結構ではあつた。然し、それらは互に何等の關



係も聯絡もなく、一般的の都市計畫とは没交渉に設けられ、其の時代其の時代又は個人個人の権力と光榮とをさながら表象するものの如くに意匠を施されたものであつた。斯くの如きは決して現代式都市計畫の模範となすべからざるものである。

勿論古代式の都市計畫を研究することは建築師にとつては興味と利益とを與へるには相違なからうが、現代都市計畫家にとつては殆ど寸效なき所である。二十世紀都市の顯著なる特色は健康保持、娛樂機關、便宜及び休養の施設を總べての市民に提供し、貧富に關せず、宏壯なる邸宅區域に住む者も、貧民窟に住む者も共に是等の恩恵に浴するを得るやうに考案されねばならぬ點である。尤も古代の都市に在つては獨り自由市民の興味利害のみ専ら考の中に入れて居つたが、彼等自由市民は當時何等利害興味を顧慮せられざりし人口の大部分を成せる奴隷に比すれば頗る少數であつた。而も其の藝術及び建築は盛觀を呈したのである。少數治者階級の人々は其の都市の美觀を獨占し、下層大多數者の生活は何等顧慮されなかつた。然るに現代の都市は之と全く其の事情を異にし、下層階級の利害が都市計畫及び市政の主要事項の一を成して居るのであるから、苟も現代の技師が都市計畫を爲すに當つては、是等事情を異にする古代都市の計畫などを参考とする譯には行かない

のである。

尙ほ普通に都市計畫家が引用するのは歐羅巴中世紀、就中獨逸、佛蘭西及び北部伊太利の都市であるが、其等の都市に在つては主要の建築物は城砦、教會、市會議事堂等であつて、是等は四辻の所に見事に集めて建てられ、今日都市計畫の傑作と考へられて居る。或る人は是等舊都市の心を惹く點は街路の計畫が優つて居る爲めではなく、建物のいかめしく、如何にも個々獨立の風を爲して居るが爲めであるといふ。成る程さうでもあらうが、斯かる時代の都市生活の内容に立ち入つて考へると、固より古代の都市生活よりは優つては居らうとも今日から見れば誠に悲しむべき状態に在つたのである。尤も今日の米國の如く歐洲諸國よりの移民が來住する所よりして、母國の都市の特色を保存しつゝ、尙ほ且つ米國の新境遇に應ずるやうな新施設を市政の上より講ずることも行はれて居るのである。

最後に都市計畫研究者は其の説明の事例を現今の歐羅巴及び南米諸都市に探ることも珍らしくないが、多くは合衆國の都市を例に探つて居る。そして紐育市を初め東部諸州の他の諸市は不相應の賞讃を博して居る。是れ必ずしも都市計畫問題の解決に於て此等に範を採る諸市が後れて居るといふ意味ではない。事實、米國中央部の諸小都市は新觀念を理解



(六)

するに早く、社會狀態の變化を理解し、それに應ずる對策を講ずることにて於て大西洋沿岸の諸都市よりも一步を進めて居るのである。何れにせよ、米國に於ける都市計畫に關する著者は一方に於て多くは西歐諸國の都市を參照し、他方に於て稍々米國自身の都市に範を採つて居るやうであるが、西歐諸國の都市の研究は合理的にして健全なる都市計畫の多くの模範を提供すると同時に、模倣すべからざる多くの點を有することを著者は確信して居る。然らば如何なる程度まで西歐諸都市の古色蒼然たる繪畫的の風姿を模倣し、それと同時にそれに伴ふ不便をも堪へ忍ぶべきか、又如何なる程度まで現今の變化せる商業並に經濟の事情に應じて、現代式の生活法及び公私商業の運營法を講ずべきかは誠に興味ある問題であらう。

兎角、都市計畫に關する著書の記述や統計は不當不信のものを含み、他國に對しては買被り、自國をけなすといふが如き不公平の記事を含み、私見に囚はれ、他の權威者の意見に惑はされ、誤れる報告に迷はざる、憾みがあるが、著者は此點に關しては十分の用心と警戒とを以て本書の論述に努めたる積りである。

## 第二章 都市計畫運動

都市計畫の問題は最近歐米各國の一般的興味を惹起せるものであつて、嘗に大都會に住するもののみならず、小都會及び村落に居住するものでさへも、此の問題に關する事柄に興味を感じ、其れ其れ其の自治體を秩序よく且つ美はしからしむる爲めに時間と努力とを惜まざるに至れることは争はれざる事實である。歐米何れの國に在つても、都市計畫の爲めの會議や、それに關する展覽會の如き隨時隨處に開かれ、又都市計畫に關する著書及び雜誌の論文も頻々として公けにされ、専門に都市計畫といふ題目の下に年四回の定期出版物が發行されてさへも居る有様である。米合衆國の都市計畫全國會議は毎年集會を催ほし、それには多數の技師、建築師、庭園師にして専門的に都市計畫に従事するものを初め、都市の吏員や、其他都市問題に特殊の興味を有てる人々が參會するのである。又、倫敦に支部を置ける英國都市計畫學會の如きは最近組織せられ、時々會合して演説及び討論を試みて居る。又、國際的なる一大都市計畫會議は一九一〇年倫敦に於て開催せられたことがあるし、それ程國際的にはあらざれども伯林及びライプツヒに於ても會議が開かれた



ことがある。一九一三年に於てデントに開かれたる都市會議は、此都市計畫の問題に非常の注意を爲したし、又エデンバラ大學のバトリック・ゲス教授が作製せる都市計畫の特別模型は、同年其市に開催されたる展覽會の最も顯著なるものであつた。而も當年の會議及び模型展覽は、主として都市計畫の社會學的方面に關せるものであつた。又一九一三年末に開かれたる紐育の展覽會の如きは頗る盛觀を呈したものであつて、展覽に供されたる材料の多き、殆んどそれを備へ付くる場處も狭きを感じたぐらゐであつた。

斯く種々の會合や討議が行はれ、それに就いての著述の如きも多く行はれて居るけれども、都市計畫の眞義如何といふ問題に至つては割合に解かつて居らぬやうである。或は都市計畫とは公共建築物を一所に集めたり、都市の中樞を設置したり、空地を造つたり、大通りを開いたり、現存の街路を眞直にし又は擴張したり、交通の便を整へ、其の機關を完備したり、其の終點を整理したりすることに外ならぬと考へて居る。簡單に言へば、都市や町の造り改へが即ち都市計畫であると考へて居るのである。然し、斯くの如きは本來からいへば正當なる都市計畫の缺乏より生ずる種々なる過誤の矯正又は缺點の救治といふべきものであつて、一層根本的なる都市計畫の事業とは言ふべきものではない。何故なれば、

都市計畫とは其主たる目的を、金のかゝる改造の必要を避けることに置くべきものであるからである。然らば都市計畫とは何ぞやといふに、之に關してはこれまで幾多の定義が下され、或は長たらしき定義もあれば、或は簡潔に言ひ現はされしもの、而して建築及び美觀といふ方面に重きを措くもあれば、又は其の社會的側面に重きを措くもあるが、扨て都市計畫を以て一個の工學上の問題と認めて居ると覺しき定義に至つては殆ど稀である。

或る人は都市計畫とは都市の發展に對して將來の爲めに用意することに外ならず、更に詳しく言へば、それは自治體をして益大なる、そして益廣い生活に向つて發展せしむるやうに指導することを意味するのである。表面的に見れば、都市計畫の事は、街路、公園及び交通系統の設定といふが如き物質的の事柄であるが、然し都市計畫の眞の意義は遙かに深遠なるもので、市民の心的竝に道德的發展に對して有力なる善影響を有するものである。要するに、都市計畫は健全にして幸福なる自治體の建設に對する確實なる基礎であると言ふのである。

又都市計畫とは都市の凡ゆる部分をして、其れ其れ最も適合せる活動を営ましむるに依つて、都市の能率を増進せんとする企圖に外ならぬ。而してそれには外觀の壯快といふ



ことも含まれて居る、これ都市は工場たると同時に家庭たるの任務を有して居るからである。商工業の能率の増進と共に、自然的竝に社會的美觀及び壯觀といふことも含んで居る。何故なれば、斯くしてこそ初めて最高の經濟的能率を發揮することが望まれるのみならず、人生は金儲け丈けのものでないといふ事實を認むるからであるといふた人もある。

更に或る人は都市計畫の基礎原理は都市の活動能率の増進を計るに在りと言つて居る。苟も思慮ある實業者ならば、將來の發展の爲め用意する所なくして大工場の建設を敢てすることはなからうが、最も複雑なる企業ともいふべき都市計畫を、何等將來の發達又は變化に對する準備を講ずるとなく、唯だ偶然的に着手することが珍らしくない。其の結果が兎角混亂と雜鬧とを來し易いことは今更言ふ迄もないことである。

又或る人は定義を與へて曰く、都市計畫とは都市の發展を豫想し、その對策を豫じめ講じ置くことであると。而して此の對策を法制の方面より、社會の方面より、將た財政の方面より豫じめ講じ置かざる時には、住民の過剩と交通の雜鬧とを來し、又公共建築物の不適切なる、又は間に合はざるやうな結果を來し、都市財政の不經濟狀態を醸出することとなるであらう。これ何れも都市計畫の先見なき必然の結果に外ならない。

更に或る人は次の如く定義して居る。即ち都市計畫は都市又は町の最も實際的にして且つ心地よき發展を講ずる科學及び技術の異名である。詳しく言へば、それは舊き區域の過誤を新しき區域に於て再び繰返へすことを防ぐ助ともなり、既往の經驗に於て價值ありといふのが明かとなれる事柄に依つて利するを得べく、種々ある必要の輕重先後を決定し、此問題のあらゆる局面に互つて遺算なきプログラムを案出するであらう。實に都市計畫は順次に此等の事柄を考究し、完全なる結果を得るに至るであらう。

そこで、著者は最も簡潔なる定義を下して置くことにしよう。即ち著者の定義に従へば、凡そ都市計畫とは一方に於て健康、快適、便宜といふことと、他方に於て商工業の進歩といふこととを適當に考察して、最も合理的に都市及び其の周圍の秩序整然たる發展を増進せしむる如き先見の明を實地に活用するの謂に外ならぬといふことが出来る。

何れの國民でも一方に於ては自國の制度習慣を以て他國のそれよりも優れるものと思ふる癖があるけれども、他方に於ては他國の都市計畫に其れ其れ長所があることを認むるの常であるやうである。例へば英國國民は獨逸の都市の街路の廣いことや、建物が如何にも都合善く按排されて居ることなどを非常に賞めちぎるが、それと同じく獨逸人は英國の或



る大工場地に附設せらる、田園村落などに心を惹かる、こと夥しい。尤も其の獨逸のエッセンに在るクラブ工場に附設せらる、職工住宅の如き心地よきものは、英國は勿論何れの國にもないと思はれるのであるが、それに拘らず他國のものが善く見えるのである。米國の都市計畫論者は兎角舊世界の都市の計畫や設備の完美を過褒するとまで思はれ、絶えず、それらと自國の都市とを比較して自國の都市の劣れることを攻撃して居るのである。勿論米國の都市計畫に就いては是等の批難も大概不當ではないが、然し從來も亦現在も色色賞揚すべき施設を試みて居る米國都市のあることは事實である。

扱て此の傾向は一種の國民的謙遜心の結果と云ひ得べきか。他國の制度及び習慣を賞讃するは曠て自國又は自國民を進歩せしむる所以なりと考へたる結果であらうか。恐らくさうではなからう。それは國民的謙遜心といふのは減多に現はるべき性質のものでないからである。これは見慣れないものには自然心が惹かれ、又は賞めたりするのが、殆ど普通一般の人情であつて、他國のものを賞めるといふことも此の普通一般の人情から來て居るのである。高い建物が初めて米國の都市に聳え立つた際には、それは變怪でありと言はれ、外國から來た人許で無く米國人自らも然か言つたのであつた。建築師でも、それを設計し

て夥しき謝禮金でも受取つたやうな人は別として、普通には最も神聖にして犯すべからずとせられたる傳統的の建築を破壊するものとして痛く攻撃されたものである。其の設計の方法が改良を加へられ、實際に美觀を幾分でも發揮するやうになつてからでも、米國の建築師は尙ほ依然として痛い攻撃を加へて居つたし、外國人がそれを以て眞に美觀なりと承認しかけてから、初めて米國人は眞に賞讃に値する如き建築を發明したものだと自認しかけたやうな次第である。

二十階も三十階も將た四十階も高い建物を建てるといふとは、特に普通の廣さしかない街路に在つては交通其の他の事柄に非常の影響を與へ、光線及び空氣の流通といふ點から見ても有害なる影響を及ぼし、土地の價值をひどく害ねるといふことは敢て喋々の辯を要せぬのである。而して紐育を初め其の他の諸都市は現に建物の高さ、大きさ、場處等を制限せんとて苦心して居る有様である。尤も高い建築物そのものは其の外觀丈けを考へて見れば別に何等批難すべき類ひのものではない。或る有名なる建築師は其の長所を三點擧げて居る。即ち第一にはそれが集まると非常の美觀を呈すること、第二には一種特別な國民的建築を代表すること、第三には商業上の必要を藝術的に表現せるものとなるといふの



である。

(一四)

次に各國に於ける都市計畫の種々なる特色を簡単に述べて見れば、次の如くである。恐らく瑞典は包括的なる都市計畫法規を公布せる最初の國であるが、此法規は各市町は其れ其れ都市計畫を必要とするといふ假定に基いて造られたるものである。その適用の結果は如何といふに、街路を廣ぐるといふ事を餘り固執した爲めに單調なる格子型に傾き、或る場合には都市の舊式な又不規則なる部分に強制的に施行せられたりといふ非難を免れぬやうである。

獨逸は恐らく他の如何なる國よりも一層近代式の都市計畫を完成せる國であらう。而も法規に依つて判断すれば、獨逸の都市當局は頗る狭き權能をしか持つて居らず、又獨逸では都市計畫には一種の傳統があつて、之に對して反對の意見を有する者は決して無い。獨逸の都市計畫の顯著なる特色は第一に圓圈式である、それに依つて丈高き借家の建築を制限すること、昔しの城砦を廣き圓周的街路に改造すること、例へばブレーメン市及びコーン市の如き場合がそれである。而も伯林ではこれは不思議にも閑却されて居る。又フランクフルト市及びスレンブルグ市に於ける如く市の古來の中心を町寧に保守すること、

市外の廣い地面を取り置くこと、例へばストラスブルグ市に於ては住民一人に付き五十七呎平方の地域に相當し、ウルム市に於ては市及び直接郊外の全面積の八割に達し、伯林に在つては市の面積の三倍に達して居る。アディックス法は市政當局に向つて土地を分割し換える權能を賦與した。即ち若し従前の分割の儘にして置く時には、一度び街路系統の行はる、曉には實際不用の者となつて了ふ恐れのある土地を分割し換える權能を與へられた。而して街路と空地とに割り當て、残りの土地は、使用に都合よき幾つもの部分に區劃し換えられるのである。扱て此の法律は他の諸國に於て久しく解決困難とされて居つた當面の事情に對する好個の應策であつて、獨逸の或る市の著名なる市吏員アディックスの考案したもにして、其の名を附せられて居る。

奧太利は其の都市計畫問題の取扱に於ては殆ど獨逸と同様であるが、維也納だけは獨特の地歩を有する都市である。同市の圓圈街は以前は内堡に用ひたる地域に位置して居るが、世界中最も著名なる街路の一である。第二圓圈街は外堡の線に築かれ、更に其等の周圍を繞りて芝生の圓圈が設けられ、更に又其周圍に木立のある小丘の圓圈が設けられて居る。

佛蘭西は都市の組織よりも其の外觀に一層深き注意を拂ひ、繪畫的效果に重きを置くよ

(一五)



りも、記念塔や建築といふを中心として都市の計畫を企てたのである。巴里ほど市からの出口及び市への入口がうまく設けられたる所は他にあるまい。最も巴里の廣小路の或るものは元來國王の私用道路として設けられたものである。恐らく其のオペラ通は立派な遠景を有する新街路の建設に依る都市計畫の最も著名なる一業績であらう。交通計畫は佛國の都市計畫研究家の大に注意する點となつて居る。

英國は所謂近代式都市計畫、就中其の記念塔式都市計畫に於て頗る後れて居る。十分な地面と門路とを有するやうに造られた大建築物は殆ど一つもないからであるが、交通の必要に應ずる設備の不完全なことも驚くべきものである。而も英國の個々の家庭は幾代もの間敬虔の心を以て保護され來つたものであつて、これこそ最近十年間に於ける英國の都市計畫の根本精神となつて居るのである。

白耳義に於てはブラッセル、アントワープ、ゲント、ブルージュ等各都市が其れ其れ強き個性を保つて居ることは顯著なるものである。然し最近に於けるブラッセル市改善計畫は巴里から其模範を得たやうに思はれる。

伊太利は都市計畫及び其に關する立法に於て敢て四隣の諸國に後れを取らなかつた。伊

太利の都市は極めて價值ありとせらる、公用徴收を爲す權能を有し、而して此の權能は上手に行使せられ、市當局をして新に起せる事業費の大部分を埋め合はすことを得させたのである。

リオ・デ・ジャネーロ及びブエノス・アイレスの如き南米の諸都市に於ては、非常に大規模の計畫が實施せられ、特に新街路の開鑿や、廣小路の建設等を海濱に沿うて爲し得た、而してそれが爲めに世界に於て最も著名なる都市の列に入ることを得たのである。

米國に於ては都市計畫の三個の顯著なる特色を數へることが出来る。第一は格子式考案に熱中することである。此の格子式なるものは自然の地帯や地形などに頓着なく全國土を基盤割りにしようとする科學的妄想であつて、それと比べれば、從來英國に行はれて居る無計畫の方が餘程優しであるとも言はれたものである。第二は高壯なる建物を多く建つる計畫であつて、これは近來流行し出したものであるが、其の中には頗るいかめしく且つ美しきものもあるが、交通上の改善も亦これが爲めに著しく成功した。第三は多くの米國の都市に於て近來造られたる科學的なる娛樂休養の設備である。

斯く種々異なる國々の都市計畫の特色を記するも興味あることには相違ないが、總ての



都市の計畫に通ずる根本原則は實際に於て同一であつて、唯だ其の原則を應用する方法が異つて居るだけのことである。もつとも斯かる方法の差異は或は習慣とか或は地方地方の傳統の結果であつて、苦心研究の結果ではなからうし、そして唯だ吾々に見慣れぬといふので往々賞讃さる、場合のあることも珍しからぬことである。或る人は英國にも都市計畫があれば、獨逸にもあり、佛蘭西にもあるが、然し丁度算術に英國の算術とか、獨逸の算術とか、佛蘭西の算術とかいふやうなものがないのと同じやうに、都市計畫にも英國の都市計畫とか、獨逸の都市計畫とか、佛蘭西の都市計畫とかいふやうなものはないと言つて居る。

現に米國に於て行はれつゝ、ある都市計畫は主として頗る狭小なる地域にしか及んで居らぬ設計に限られ、而して其設計も唯だ一人若しくは少數の人々が爲すので、建築家、庭園家等が主であつて、それに往々技師が力を添へるといふぐらゐの程度である。歐羅巴の或る舊都の如く、幾代も打續いて多くの人々が苦心して初めて造り上げたやうな美はしき都市は實際米國には存在して居らない。歐羅巴大陸に於て往々見らるゝ舊都建設の精神は失せて居るやうに見える。迅速に又は安値にといふよりも寧ろ叮嚀に仕事を爲さうといふ

心は日々の賃銀に對して出来るだけ少量の仕事をしか爲さぬといふ野心の爲めに奪はれて居る。賃銀は一定の標準を定められ、さうして仕事の量や質に頓着なく、時間が多ければそれだけ餘計に支拂はれる譯である。仕事の爲めに仕事するといふ考、仕事をする人の献身的感情といふものは今日では一種の女々しい心である。さへも考へられて居る。舊き此精神は最早復活せぬであらうか、而して歐羅巴大陸の美なる舊都市は此の精神なくして再び造られ得るであらうか。

現に主張されつゝ、ある都市計畫の多くのものには悲むべきばかり獨創的の所が缺けて居る。設計家は歐羅巴の都市に於て見られ、さうして其處に於てもはやされるやうな街園を米國に於ても造らんとして居るが、これは現代の米國都市には似つかはしくない。賞讃を博せる都市は、多くは其の都市の歴史及び環境と密接に關聯せる何等かの特質の爲め、其の周圍の風景の爲め、其の住民の風習の爲め、其の生産業の爲め、又は其の建築物の色彩の爲めに有名となるのである。古色蒼然たる英國の都市には陸離たる光彩は似つかはしくない。蘇格蘭の薔薇色なす都會は其の建物に使用されたる石材の色に依つて特殊の美觀を呈して居る。然るに今日では國中の否他國の石材をも使用するのであるから、色彩の統



一は既に破られて居る譯である。ロング・アイランドやミシシッピーの廣原にローテンプルグ市の小規模なる美景を移植せんとするが如きは不釣合であるし、ピッツバーグやオマハの市にヴェニスの大廣場を設けるのは如何にも變挺であらう。歐羅巴を模寫すべからずとは米國の都市計畫家に對する或る獨逸の博士の忠告である。

合理的なる都市計畫は徐々たる發達を爲すに極まつたものである。而して英國や米國の都市計畫に存する明白なる缺點にして又歐羅巴大陸のそれにも免れざる所のものを一舉にして改正せんとする熱烈なる希望があつても、それは一人や一部少數の者や、又は人間一代の間に於て到底爲し遂ぐることの出来ぬ仕事である。却てこれが爲め改造に對する興味も自然に消え失せ、依然として舊來の誤謬を繰り返すに至る恐れがある。或る人は、餘りに早急に無方針的に都市計畫を敢行すれば、其の結果は自然の發達に委するよりも却て一層の危険を生ずるものであると言つて居る。

扨て今日一般に解せらる、やうな都市計畫運動が初めて米國に起きたのは一八九三年に於てであると言はれる。當時故ダニエル・エーチ・バルナム及び其の一味の有能の士等の天才に依つて造られたる所謂「白市」は、同年市俄古に開かれたる國際博覽會に提出されたも

のであつて、それを一覽せる者をして深く感銘せしめたものである。一團の統一を保てる高壯なる建物の設計は未だ嘗て成就され又は企圖されたことさへもなかつたことであつて、其の建物の模型こそ一時的のものに過ぎなかつたが、それが生ぜる効果は永久的であり、而して爾來着手されたる都市中樞の建設の先蹤を爲せる點に於て其の偉大なる影響を見るを得るのである。其の後の大博覽會に於ては何れの場合にも多少の差こそあれ、此の一團の建物の模倣を爲さざるは無く、又礁湖や水路を初め電燈の据付等に大改良を施したるが爲めに、其の結果頗る壯麗のものとなり、普通に都市計畫と稱せらる、ものに一の新しき刺戟を與へたる次第である。

都市計畫に對して次第に熱心になれる英國人は、都市計畫の眞の意味に關して一層根本的概念を得たやうに思はれる。即ち、彼等は其の都市を造り直したり、又造り直すことの不可能なるを發見せる時には、一二の美はしき場處又は觀覽場を創造して夫れで止めるよりも、寧ろ未だ發展せざる場處に向つて過去に於て陥りたる過誤失敗を避けんとする方に力を盡す様である。彼等は一方には新しき失敗を爲しつ、一方には改造に没頭するよりも寧ろ未だ傷けられざる新しき處に専心して居る。然るに米國に於ては却つて改造の事



に熱心し過ぎて居るの觀がある。英國の都市計畫法や、其の法規の根本原則や、其の法規の下に實施されたる事業などに就いては後章に詳述することにしよう。

都市計畫の主要目的を以て社會的のものであり、住宅問題だの、休養娛樂の設備だの、總ての公益機關の管理及び所有又は運営だの、公設市場の建設だの、廢物汚物の集散だの、公衆衛生の保護だの、病院の設立だの、貧民の救護だの、犯罪者及び精神病者の保護だの、總ての現代都市のあらゆる活動は都市計畫に屬するものであると信ずるものが少くない。然し總て是等の事柄は計畫に屬するのよりも行政の方面に入るべきものである。即ち著者としては是等の生活改善の運動や、市民改良及び教化増進の運動に對して固より滿腔の同感を爲すものであり、是等の運動は總ての市民に對して凡そ注意さるべき總ての便宜を平等に享樂すべき機會を與へるものであることを確信して疑はざる次第ではあるが、著者は是等の運動の成就を一層容易ならしむる最初の基本的なる都市計畫そのことに専ら主たる興味を覺えることを特に斷つて置かねばならない。

これまで都市は必然的に害惡の地であり、多數の人々が狭い市に集中するが如きは不自然であり非健康的であるといふやうな考が一時一般に行はれたものである。都市は騒々し

く不敬虔にして無厭なる暴民共の住み家であり、不生産的なる職人や、放埒者や、罪人や、ならず者の寄り集まる處であり、社會の肉刺であり、健全なる汁液を吸ひ盡す腫瘍であると考へられ、又都市と言へば王侯、宮廷、軍隊、乞丐、暴民などの聯想が漠然として起るのである。然るに田舎は之に反して公共道德及び純朴なる民主的精神の搖籃地であるとせられた。ジェファーソンの如きは舊き國々は如何にもむさくろしき集塊であると思つて、米國が田舎的であるといふを祝福したものである。さうして彼は更に進んで、其大小を問はず舊き都市は大概田舎に寄生して居ると言つてもよろしい、即ちそれは企業者や王侯や地主の住み家であつた。羅馬は埃及から穀類を取寄せたが、それに對して埃及に何の恩返しをもしなかつた。然るに現代の都市はその受けたるものに相當せる報償を爲して居る。即ちそれは田舎の生産物を其處の工場に於て加工し、經濟的に依立關係に立つ所の國民全般に廣く其の精製品を分配するのであると言ふて居る。

分業が愈々盛んになり其文化の程度が愈々甚だしき現代の社會状態に在つては、各人は専門的と迄は行かずとも兎に角或る一つの事を可成りうまく爲すので、自分に出来ない仕事は他の人々にたよるより外がないといふ有様であるから、そこで都會生活は寧ろ自然の狀



態であるといはざるを得ない。最近大都市が人口増加を見たるまゝに、今後もそれが繼續するかは疑はしいかも知れぬし、斯かる増加に基いて將來の人口を算定するは頗る危険なことであるかも知れない。尤も都會人口の率が増加を繼續することは確實ではなくとも恐らくさうであらうと思はれるが、最近二三十年間のやうな非常な率を以て増加するといふことは想像されぬ。地方分散といふことは或る程度迄は望まじきことであり、其の結果恰どよい加減の大きさの町が段々殖え、それに準じてすば抜けて大きな都市は少くなるといふことになるであらうが、扱て其の小都會の中には給水、大下水、警察、公衆衛生等の如き事業を經濟的に經營する爲に他の幾つもの小都會と相寄つて協同し互に經濟的に經營するやうな密接なる關係を有するかも知れない。

一八二〇年に在つては米國に於て人口八千以上の都市に住居する人口の割合は二十人毎に一人といふのであつたが、一八五〇年には此の比例が八對一になり、一八七〇年には五對一に増し、更に一九〇〇年には約三對一に増加したのである。次に示す第一表に見る如く、都市人口は田舎の人口の三倍以上の率にて増加して居り、而して一九一〇年には人口二千五百人以上の都市に住居するものは毎二人二十分の二中一人の割合となつて居る。更に

人口總數		一九〇〇年より 一九一〇年に至 る迄の人口増加 率
一九一〇年	一九〇〇年	
8,501,174	6,429,474	32.2
3,010,667	2,501,226	20.4
3,949,839	2,932,040	34.7
4,840,458	3,421,849	41.5
4,178,915	2,948,511	41.7
4,062,763	3,028,007	34.2
5,609,208	4,153,442	35.0
4,364,703	3,194,278	36.6
4,105,656	3,000,818	36.8
43,623,383	31,609,645	34.8
49,348,883	44,384,930	11.2
91,972,266	75,994,575	21.0

第一表

大都會は驚くべき割合で増加を繼續して居るのであつて、五萬乃至二十五萬の都市に在つては殊に其の割合が最も大きいのである。

一九〇〇年より一九一〇年に至る間の米國に於ける都會及び農村の人口増加率を示す



都市計畫運動

人口			増加率		
一九〇〇年	一九〇〇年	一九〇一年	一八八〇年より一八九〇年まで	一八八〇年より一九〇〇年まで	一八八〇年より一九〇一年まで
296,309	325,902	364,463	16.1	27.7	42.8
335,200	422,728	510,929	22.8	54.9	87.0
255,664	352,387	423,715	65.0	127.1	173.4
281,800	372,229	513,491	94.6	157.0	254.6
242,039	287,104	339,075	12.0	32.8	56.9
276,500	395,394	546,222	25.2	79.0	147.1
161,005	204,731	223,928	31.0	65.4	80.9
163,600	235,666	302,384	33.2	91.0	146.2
132,099	175,597	224,326	26.0	67.5	113.9
142,523	261,022	332,539	43.2	162.3	234.1
133,896	162,608	218,149	49.8	82.0	144.1
138,955	206,584	286,455	63.5	143.0	237.1

(二七)

第二表

一八八〇年より一九一〇年に至る間の六個の獨逸の都市及び六個の米國の都市に於ける人口の増加を示せば左の如くである。

都市計畫運動

都市の種類(人口)	一九一〇年に於ける都市の數
百萬以上……	3
五十萬乃至百萬……	5
二十五萬乃至五十萬……	11
十萬乃至二十五萬……	31
五萬乃至十萬……	59
二萬五千乃至五萬……	120
一萬乃至二萬五千……	374
五千乃至一萬……	629
二千五百乃至五千……	1,173
都會人口總計……	2,405
田舎の人口	……
米國總人口	……

(二六)

一九一五年七月一日國勢調査局は紐育州の人口九百八十九萬九千七百六十一人中、紐育一市に居住するものは其の五割四分であり、又人口八千以上の都市に居住するものは七割六分を下らずと概算して居るが、多少其の程度が低いとしても東部諸州の他の諸都市に於ても略ぼこれ同様の事が見られるのである。都會人口の激増は決して北米に限つたことではない。現に人口百五十萬以上を有するブエノス・アイレス市及び約百萬の人口を有するリオ・デ・ジャネーロ市は市俄古や伯林や又は維也納等よりも遙かに大なる割合で増加して居る。著者は茲に一八八〇年に於て略ぼ同一人口であつた六個の獨逸都市と六個の米國都市の發展率の比較を試みて見た。それは第二表に示されて居る。



都 市	一八八〇年
シンシナティ	255,139
プレスラウ	272,900
バッファロー	155,000
コローン	144,800
ウ・オン・リズ	216,000
ドレズデン	220,800
ルースヴィル	123,758
ハノーヴァー	122,800
プロブデンズ	104,850
ニュレンベルグ	99,519
ロヂェスター	89,366
チェムニッツ	85,000

表中の都市は典型的のものとして之を選び出したものであつて、それには大首府は一つも入れてないのである。これは數年前の選出にかゝり、最近三十年間の最初の十年間に於ける發展を示せるものであり、而して此の比較は最近の國勢調査をも含むやうに繼續されたのである。最近の國勢調査期間に於ける米國の人口増加は二割一分であるが、獨逸國のそれは僅かに一割六分でしかなかつた。されば獨逸に於て田舎から都市への人口移動は非常に著しきものがあることが判る。獨逸の著しき産業の發展が其の主要なる理由ではあらうが、獨逸都市が徹底的にして且つ遠大なる計畫を實施したことが斯かる人口増加を可能ならしめたることは注意すべき事實たるを失はない。

適當なる都市計畫の必要は決して大都市に限られたことではなく、同様に小都市及び町に在つても重要なことであり、しかも一層大なる機會を與ふるといふことが明かである。今日の小製造町が明日の大工業市となり、今日の小都市が次時代にはその地方の中樞たる大都會たるやも知れない。或る場合に於ては斯かる發達發展は十分なる確信を以て豫言し得らるべく、従つて大規模の計畫が是認せられるであらう。如何なる場合にも又其の計畫の如何に拘はらず、出来るだけ混亂と破壊とを避けて新事情に適合せしむるやうに先見の明を發揮することが出来るであらう。要は都市計畫の業は之れを技術的素養と經驗とに富めると同時に遠大の想像力を有する人々に托すべきことである。然しこれだけでは未だ不十分である。合理的の考案がたびたび決定されるれば、利己的の考や又は狭い量見に囚はれるやうな人々から得て反對され易いが、其等の反對を物ともせず、計畫の主要肝腎な所は飽くまでも遂行するといふ一大決心が必要である。前大統領タフト氏はワシントンの計畫に就いて次の如く言つたことがある。

嘗てワシントンが佛蘭西の教養ある陸軍技師ランファンを任命して首府の計畫を爲さしめたることは米國史上最も幸福なる機會であつた。ランファンの考案は何處となく合衆國



憲法に似た所がある。即ち此の政治の大機關は極めて先見の明ある實際家さへ到底豫想し得ざる境遇の變化に對してうまく適合したものであることが分かつたのである。其の單純にして且つ包括的なる憲法は、マーシャルの政治家的解釋の下に非常の際に於て將た米國民の面前に迫れる極めて急激なる危機に際して能くそれに適合したものであることが證明されたのである。丁度その如くに、ワシントンとランファンとジェファーソンとは華盛頓市の計畫に於て能く其の市の發展の爲めの骨組みを遺して呉れたのである。而かも此の設畫が考案され、その實施に着手してより百餘年後の今日尙ほ且つ極めて熟練せる建築師及び技師家といへども自からそれに一指をだも染むることを得ずと告白せしめて居るのである。尤も此の計畫案は當時其の結構なる特質を理解することが出来なかつた實權者達があつて、彼等の頑固な爲めに二個乃至それ以上の著しき點に於て過失があるけれども、それらに對して遺憾に思ふよりも寧ろ吾々は過失の點の斯くも少かりしことを感謝すべく、又吾等は今日でも尙ほ當時の計畫案を遂行して、其完全なる遂行が華盛頓市をして世界最美の都市たらしむることを得るといふ點に向つて感謝すべきである。その何の故に斯く感謝することを得るやといふに、華盛頓市は未だ嘗て商工業の中心地たりしことなき爲めであり、

又其の存在理由は單に之を政治的活動の中心、其の活動を爲す官吏議員等の居處たらしめたるが爲めである。斯くして華盛頓市はそれ自身の典雅の度を益々高め、米國の主權の中心地たるにふさはしき尊嚴を保つに十分なる機會を得せしめたのである：：其の歴史に於て華盛頓市は小規模活動の時代を經過せねばならなかつたのである。ランファンの計畫はペンシルヴェーニア通りの向ふに大藏省を建てることを固執して、白聖館と議事堂との間に存する眺望を閉塞せしめたる或る一部の立法家達の無風流と頑固とに遭つたのである。然るに其後議會は何んでも國家事業を縮小せんと決心したるもの、如くに、ボトマック河の南岸に十哩平方の地域をヴァージニア州に還附し、而して華盛頓市將來の發展を縮小せしめずには措かなかつたとはタフト前大統領の言葉である。

今日米國に於ける都市計畫の根本觀念は何である。普通の都市計畫家が心に懐いて居る理想は何である。而して彼等が造り出さんとする典型は何である。從來は所謂都市の美觀といふことを標榜して、美を以て其主要目的と爲したものであるが、今日では聞くことが尠くなつた。彼等の理想はちよつと行つて見た外國都市より得られるものであり、彼等の典型は廣い空地や、廣い街路や、うまく出来て居る建物の正面や、見事な遠景などであつた。



是等は勿論美しいには美しいが、是等の見事なる正面の背後には、又廣い街路には實際に幾多悲しむべき生活状態が往々發見せられるのである。或る人は歐羅巴の都市を模倣することは成るほど米國人にとつては一種の幻惑ともなれるものであるが、唯だ美麗と優雅といふものは其處に求められよう。さうして此の優雅を造り出すには最も精練されたる思考を要するのであつて、此の思考たるや主として歐羅巴の首府の中央部、即ち城郭に近き部分とか、貸家の外面とかいふ方面には利益あるものに外ならぬ。而も是等美はしき正面の背後には悲しむべき人々の群や、庭園の無き爲めに子供等の發育が妨げらるゝことなどの事實が存在して居る。此の種の都市計畫は都市發達のすべての方面を顧慮して包括的に豫じめ考案を立てたる結果ではなく、唯だ單に其の中の一二の點即ち主として藝術的部分にしか觸れない。さうして其の藝術的方面を餘りに重んじて居るので、他の方面に就いては殆ど何等の計畫なしと言ふも過言でないと云つて居る。

歐羅巴の都市計畫を素通りして過すやうな視察者は、此美はしき部分を除いては他の個處は殆ど目にとまつて居ない。彼等は自國の都市の醜狀を能く知つて居るので、一たび歐羅巴に渡つて其處の都市の美觀に觸れると、自國の都市の醜狀が今更ながら明かに分かる

やうな仕末である。彼等は自國の斬新なるものは悉皆忘却し、自國の都市のむさぐるしき住宅が散在して居る其間の廣い空地が、纏て完全に改良さるゝ日の到來することを先見することが出来ない。此等の美ならざる住宅は其の外觀が平凡であり、其の意匠が單調であつても、其處には日々の賃銀を得ようとして働く人々の家族が住んで居つて、かの歐羅巴の都市の見掛け丈けよい住宅内に哀れなる生活を營んで居るやうな人々とは比較にもならぬ氣樂さを感じて居ることを忘れて居るのである。歐羅巴の都市の商業中心たる大通の壯觀と、米國都市の場末の特色ともいふべき舗道のない穢ない街路とは雲泥の差があるが、後者に住む人々の悅樂たるや、外觀の醜さを優に償つて餘りあるのである。米國に於ける木材の廉價なるとや、木造家屋の建築が速く出来ることや、可燃性材料の家屋を禁ぜざると等の原因に依つて、米國都市の郊外地には非常に夥しき木造の建物が建てられて居るが、之を英國だの歐羅巴大陸だのに普通見らるゝ石造又は煉瓦造の住宅のどつしりした外觀と比較すると何となく見劣りがするのは止むを得ない所である。米國都市計畫家が根本的に土地を區劃することや、四方に通ずる幹線道路を設計することやの太切なるを理解するに遅かつたとは争はれない。従つて他日之が改正を要する場合には必ず非常なる高價を



拂はねばならぬこととなるであらう、然しこれは世界何れの處に於ても都市計畫に免れざるところであつた。

(三四)

歐羅巴首府の中心地の美觀を考ふる場合に記憶すべき今一つの事柄は、それらは王者の計畫に成つたものであるとである。而して王者は其の宮室に當時の大建築師や藝術家を集め、彼等は王者の意のまゝに仕事を爲し、世界に誇り得べき首府を建設せんと互に競争したものである。又王者は大藏大臣をして其の方案を立て臣民より資金を強徴せしめて、斯の如き事業を完成した者である。然るに人民自らが都市計畫の如き金のかゝる事業の決定を爲す場合は初めは必ず之に躊躇したもので、彼等は之に依て或は商業の殷賑を來すとか、其の他の物質的利益の起ることを徐々に知得して初て之を遂行するに至るのである。而して一たび之に着手されば、其の事業は資格と權能とを有する市の役人に托せられるか又は特別委員會を設けるに相違ない。前者は順當の處置であらうが、米國の都市に於ては市の役人の任期が短いためと、新任の役人が計畫の豫定を變更せんとする傾向のある等によつて、或る場合には特別委員會の設立といふ處置を探る方が適當であることが尠く無い。勿論斯くいふも一たび採用されたる計畫案は、其後一點も變更すべからずといふのでは

ない。吾々は斯る計畫案を包括的にして最終的のものであるといふて居るのであるが、若し眞に包括的であるならば、一般計畫には殆ど影響なく變化する境遇に順應さるべき筈のものであらう。然し其の仔細の點に於て最終的であるといふとは決してあり得ない筈である。タフト氏はランファンの華盛頓市計畫を多少變更したる不幸なる結果に就いて述べて居るが、一體ランファンの案は頗る簡單なものではあるが、包括的であつて、其の主要特色に至つては一點も増減すべからざるものである。かの米國議會の特別委員會が華盛頓市の改造計畫に就て、ランファンの其れに戻りたることは大概之を非認して元の如くに直すべしと決議したのは如何にも尤なる次第と言はねばならぬ。

(三五)



## 第三章 誤謬の訂正

都市計畫の大部分は誤謬の訂正にありと言ふも過言でない。もと先見の明を缺き、又は變化せる事情の下に於てその計畫の不適當なることを理解せざるが爲め起りたる過誤を訂正する爲め改良を必要とするのであるから、これ必ずしも當らずといふとは出来ぬ。扱て是等の誤謬又は不適切に基く所の現状が一般の不便を招き到底堪ふべからざるに至り、又秩序不整然といふことに必然伴ふ所の醜態がたび曝露さるゝに至つて、都市計畫に於ける缺點訂正の必要は痛切となり、如何に其の入費がか、つても公衆は敢て其の負擔に應ぜんとするに至るものである。普通に所謂都市計畫なるものは實に此の種に屬し、同一の誤謬を反復するやうな愚なることを避けんとする熱望が生ずるものである。そこで往々圖抜けた現状改良事業がもくろまれ、又實施されることがあるが、就中最も目ざましきものは巴里市がオースマン男爵の指導に依つて大なるブルヴァル(廣小路)系統を建てた事である。尤も一部は軍略上の理由からでもあつたが、同時に都市の美化を目的とせるものであつて、其の規模の大に比較しては短年月の内に種々の計畫設計が遂行せられた。若し民主

政治の國であつたら多くの時日と議論とを要するのであつたらうが、帝政府の下に於て之を急施する事が出来たのである。ネーブルスも亦日光と空氣流通の餘りよからぬ狭い街路を改正して廣小路を開き、商業を盛んにし、生活を愉快ならしむるの壯舉を敢てした。維也納は別に都市計畫上の誤謬を訂正したといふのではなく、唯だ今日の状態にては最早無用の長物に歸したる城砦を取毀し、其處に街路を通じて以て世界最美の一都市たることを得たのである。

シカゴは市民の個人的努力に依つて市の大部分を整理し直し、編制換へするの方案を立てたのであるが、其の方案を完全に遂行するには多くの年月と巨大なる金額とを要するものであらう。此の市の急激なる膨脹は僅に二三十年の間に種々矯正を要すべき状態を生じたのである。それは餘りに其の形體的及物質的發展に熱心なりしが爲め、將來に對する注意が足らなかつたからである。紐育、少くとも其中のマンハッタン區の如きは百餘年以前に計畫された案に従つて發展し來つたのであるが、最近其の案の缺陷が明瞭となり、根本的改正策が立てられ且つ已に實施せられつゝあるのである。

或る状態は之を訂正するに頗る抄取らざる場合があり、其の改善を促がす爲めの運動に



丈けさへも幾多の年月を要する事がある。今其の事例を多く数え擧ぐるよりも、比較的著しき事實の一二に就て詳しく述ぶるであらう。其の一は倫敦に於けるストラランド及びホルボーン間の改良である。こは倫敦市の最古の部分の一であり、數百年の間狭い曲つた途切れ途切れの通や横町などが出来て居つたのである。可成り廣いけれども其の廣さが不整頓であるハイ・ホルボーンが、その北に在り、それよりも狭く、其の廣さは同じく不整頓であるストラランドが其南に在つた。ドルリー・レーンは是等二個の通路を聯絡させよつとしたが、暫らくにして其の考を捨て、ストラランドに達せざる中に狭きウイッチ街へと外れて了つたのである。リンカーンス・イン・フィールズは此の區域の東部にあり、ハイ・ホルボーンの南約三百呎に位し、幾代もの市當局をして非常の苦心を費さしめたる空地であつた。以前此の場處は罪人又は政治犯人の死刑地であつて、倫敦に於ける最も美はしき四辻の一とはなされたが、其の名前は忌はしきものであつた。十七世紀の初葉に、其の改良策が作成せられたが、それが實施せられずに済んだのは、財源の無かつた爲めであらう。然し終に一七三五年に議會はミドルセクス郡區内のリンカーンス・イン・フィールズに於て現在又は將來家屋を所有し、又居住する者に此廣場を美化する爲めに自から税額を定むることを得

しむる一個の法令を通過したのである。

斯くしてリンカーンス・イン・フィールズは十分の改良費を支出して立派な公園となつた。其の地積は周圍の街路の外に約六七英町を占めて居るが、狭き横町に隠れて居つて、其の位置を知らざるものには一寸氣が付かぬのである。今日でも倫敦に行くもので五十碼以内に在るギングスウエーを通り、又は百碼以内に在るハイ・ホルボーン街を通り過ぐるものでも案内書に教へられねば、其處を知らずに濟ますといふ有様である。其の改良は僅かに地方的に恩恵を施せるに過ぎず、又其の附近に於ける交通の不便も一向減せられなかつたのである。何處かストラランド街に通ずる直接の道路を設けることの必要なるは益、明白と爲つたのである。

一八三六年、及一八三八年に首府改良特別委員會に一案が提出せられ、ホルボーンとリンカーンス・イン・フィールズの西北隅とを聯絡するに五十呎幅の街路を以てし、それから其の西南隅からストラランド街に向つてニウカッスル街の線に續けて五十呎幅の新街路を開くといふ案であつた。

而も此の現代式の新通路は僅に五十呎の幅しかないことは注意せねばならぬ所である



が、此の改良事業は入費徴達の途なく、且つ他のそれよりも緊急なる事業のあつた爲めに繰延となつた。其の後一八四七年に至つて首府改良の最も有效なる方法を考案せんとの一  
 般的計畫が委員會に附議せられたが、此の計畫は前の案と大體同一であつた。唯だリンカ  
 ーンズ・イン・フィールズよりストランド街への新街路は西南の方向を取り、ニウカッスル街  
 の代りにウエリントン街の近くにてストランド街に入ることになつて居つた。然し當時も  
 亦何等實施の運びには至らなかつた。

一八五五年首府事業委員會なるもの創設せられ、多くの他の案と共に附議せられたが、  
 一八八九年此委員會は廢され、之に代りたる倫敦郡區會議に於て右の諸案が附議せられた  
 が何等實行を見なかつた。さきの首府事業委員會は一八八三年議會に向つて此の街路を建  
 設するのみならず、ストランド街をホーリウエル街の處に於て路面を横張するの權能を與  
 へられんことを請願したが政府は此の請願を聽許しなかつた。然るに前述の如く一八八九  
 年新設されたる倫敦郡區會議は改良委員會及び労働階級住宅委員會に向つて同一計畫の講  
 究を委託したがその報告せる所に據れば、サバントン・ローに於てホルボーンから新街路  
 を建設し、ストランドに於けるカザリン街と殆ど直線に之を建設せんと案であるが、こ

れも經費上の問題の爲めで延期さるゝに至つた。

一八九二年に至つて改造案が郡區會議に提出されたが、それに據れば、リットル・クキー  
 ンに於けるホルボーンよりセント・メーリ・ル・ストランド教會に通ずる廣小路に至る間に  
 二條の街路を建設せんとするのである。改良委員會は其の土地を所有する者が相當經費を  
 獻金せんことの法案を推薦し、郡區會議は此の勸告を容れたが、其の割宛に不満があつた  
 爲めに議會の協賛を得なかつた。而して此の改良事業費概算は約一千百二十三萬弗であつ  
 た。一八九五年及び九六年に於ても又々倫敦郡區會議に提案され、九六年に於てはリンカ  
 ーンズ・イン・フィールズの西側を利用するといふ最初の案を附議し、先づ緊急事業として  
 ストランドの路面擴張に着手すべきを決議し、政府の認可を得て直ちに着手されたので  
 ある。一八九七年郡區會議は更にホルボーンの北なるサバントン・ローの路面擴張に着手  
 すべきことを決議し、これ又實施せられた。

此の二個の改良事業、即ちストランド及びサバンTONの路面擴張は、實にストランド、  
 ホルボーン間の新設大道案は一八九二年に提案されたるものか若くは少く之を變更して、  
 取擴けたるサウサムプトン・ローと直通するものとするかの外なき事を明かに示した。一八



九八年競争案を熟議したる後、サバントン・ローに於けるホルボーンからストランドに通ずる直通道路を計畫せる一八九二年の案をば王立英國建築學院が提案せる所に依つて修正すべきことを決議し、セント・メーリス會堂の北方にまで更にストランドを路面擴張することを實施すべしと爲した。而して此の案はストラランドに依つて區劃されたる地域内の全地面を買収し、更に二個の分岐道路をも買収するの計畫であつたが、新設街路の幅員を九十呎にすべきか百呎にすべきかに關して意見が區々であつた。然し百呎幅にしても差支なきものなることが明かにされて、此の案は議會に附議せられ、從來倫敦にて計畫されたる都市改良事業中最大なるものとなつた。然るに此の提案は有力なる四十餘個の會社に依つて種々の理由の下に反對されたのであるが結局可決され、一八九九年に法律となつて現はれた。計畫完成費は約三千〇六十萬弗と概算されたが、餘剩土地の賣却に依つて約二千八百八十萬弗の金が浮き出た。新設街路は斯くして建設せられ一九〇五年十月十八日に開通されたが、地價は最初算定されたよりも約一百萬弗丈け低廉なるを得た。

倫敦は實に此の大改良事業の完成に前後六十九年を費したのである。如何に缺陷が一般に感ぜられて居つても、愈、その改良を成就するまでには斯かる長年月を費さざるを得な

かつたのである。然し倫敦市民が絶えず此の都市問題に興味を感じ、遂に共同の大事業を完成するに至つたことは英國都市一般の傾向であり、其の長所とする所である。其の改良の必要が一般に承認せられても、如何にそれを遂行するかの方法は十分に之を討究せざるべからざるものである。而もそれを討究するのは特殊の専門家ではなく、自治的市民自身であることは英國市民の長所とする所であつて、かの一六六六年に於ける倫敦の大火が四百三十六英町に亙る所を焼き盡したる際の復舊事業に於ても、風に此一般傾向が明かに現はれて居つたのである。

歐羅巴の都市計畫に於ける缺陷矯正の事業が斯く困難にして多くの金を要するのであるが、米國に於ける例へば紐育又はシカゴの如き都市に在つては尙ほ更ら甚だしきものがある。何故なれば、是等の都市に在つては建物の高さや布置等に關する合理的制限がない結果として、大建築物、出費多き建物が狭い街路に處狭きばかりに聳えて居るので、路面擴張や新路建設には非常の巨額を要するからである。根本の誤謬は建築物の高さや廣さに關する制限のなきことに在ることは疑はれない。例へば、紐育のイクイタブル・ビルディングの新しい建物の如きは横百六十呎縦三百〇八呎の一廓を占め、一方は其幅七十五呎、一方



は四十五呎、他の二方は、各三十五呎の街路に面して居る。而して三十八階で五百三十六呎の高さを有する摩天的の建物は二千萬弗の費用を以て建てられて居るので、それが爲めに四方の街路は狭められ、全く日光の照射を遮断され少からざる迷惑を市民に與へて居るが如きは、もと皆な建物の高さに関する制限がない爲めで一旦斯かる建物が出来た後には街路の変更は中々容易では無いのである。公式の委員会も非公式の委員会も設けられて、斯かる多くの缺陷を矯正すべき計畫も講究されたけれども、一二の最も重要な事柄に其努力を集注することの出来ざるが爲め殆ど徒勞に屬したのである。紐育にては一九〇四年に斯かる委員会が設けられ、その後三年を経て報告書を出したが、其中には多くの根本的改正を要する計畫もある。公園及び公園道路を市の未開發の方面にして未だ定りたる道路の計畫の無い處へ設置せんとする案を始め色々結構なものも出て居る。然しもつと大袈裟な事、例へば、新街路の開拓、現存街路の擴張、衛園の創設等を計畫して居る。其の中一二案は既に若しくは現に遂行されて居る。その例を挙げば第七街の南部の擴張とヴァリック街の擴張がそれである。此の改良事業も大に討議を費したる後漸く實施せられ、初めて街路も布設せられ、四條の軌道を有する速度鐵道を建設し、遂に舊態を一變して行人の雜闊

を防ぐことを得たのである。

然し大都市の計畫に於ける缺陷修正の最も大袈裟なる計畫としては、恐らくバーナム氏が計畫して商業俱樂部の支持を受けしシカゴ市中央部の改築事業であらう。それは現存街路の多くを擴張するのみならず、多くの中斜線を造るの案であつた。就中最も目ざましき點は、此の中央部に圓周を成す一大廣小路を造るに在つて、而して又湖水前面を取擴け、それが爲めには從來とても非常に完備せる公園系統があつたが、現存公園の改良と新公園の設置とを敢行したのである。即ち市中心に達する大機軸の東端なるグラント・パークをば湖水にまで擴張し、遊園港を造り、其の前面に宏壯なる建物を建てたのである。これだけの改良事業は其の附帯工事と共に遂行せられたが、扨て最初豫定せる如くに此の全改良事業を完成せんとするには、多くの年月と幾千萬弗の巨額を要するであらう。然し市民が市の將來に對して非常の樂觀を懷き、公共事業の遂行の爲めには全力を盡さんとの意氣を示して居ることは容易に窺知せられる所である。その他、ビッツバーグ、ボストンを初め、獨逸のシャーロテンブルヒ、印度の德里等に於ける都市改良事業も各、特殊の興味を有するものとすべきであるが、今は之を省略することとする。



## 第四章 都市計畫の要素

都市計畫と稱するものは果して如何なるものなりやといふに、普通の解釋に據れば、市の境界を示し、又既存の街路系統を示し、且つ將來の發展の爲めに計畫されたる街路を示すところの豫定圖である。即ち、それは元來、豫定圖であるからして、其の基礎は實に測量又は調査といふことにあらざるを得ない。紐育市の規定書には都市計畫とは、公園、街路、橋梁、隧道を示す永久的豫定圖にして、且つ法規に準じてこれまでに計畫され、採擇され、建設されたる橋梁及び隧道に對する近接路を示し、又法定され採擇され、建設されたる街路の等級を示せる豫定圖であると記述されて居る。而して斯かる豫定圖を考案するには、是非共市の精密なる測量踏査に待たねばならぬことは多言を要せずして明らかなるところであるが、更に其市の要求を多少研究し、市民の傳統及び理想に對して理解と同情とを持ち、其の將來の發展と將來の要求とに關して適當に考慮想像を廻らさねばならない。勿論、都市計畫とは單に街路や、公園や、橋梁や、隧道や、又はこれまでに計畫され、採擇され且つ法に依つて建設されたるそれらへの近接路を示せる豫定圖たるに過ぎざるも

のではない。そは主として既に爲されたる、さうしてそれを變更するには多額の金を要するが故に大體上變更を許さざる既定の計畫を記録せるものといふ事が出来る。或は又、先見の明と想像力とを缺ける爲めに爲されたる誤謬缺陷の記録であるともいへよう。尤も此の種の誤謬缺陷は必ずしも愚の致す所ではなからう、何故なれば今より數十年前に在つては、都市の異常なる發展及び最近の諸發明に依つて打開されたる交通運輸の至便なる結果、都市の偉大なる社會的竝に經濟的變化なるものを誰れが先見し豫測し得たであらうか。上に定義せる都市計畫は餘りに些細なる點に於て委し過ぎて居つて、全體としての都市といふことを閑却して居る。換言すれば、現在の都市をのみ見て、將來の發展を考慮して居らぬといふことが出来るのである。

故に眞の都市計畫なるものは、基本大街路及び交通の一般系統であつて、それに依つて現在及び將來の都市の種々なる區域が相互聯絡を保持され、又市の郊外なる人口集中の場處との聯絡も保たるといふ一般計畫を指すものであつて、更に公園、廣場、其他娯樂休養所も計畫され、現存の水地前面の發展とそれの將來に於ける發展に必要な空地をも計畫し、現存の公共竝に半公共の建物及び將來必要な公共及び半公共の建物に對する敷



地等の計畫を總て包括せるものが、即ち眞の都市計畫である。これ實に將來の發展を支配する都市計畫にして、若しそれを順當に遂行すれば市の發展を來し、若し反對にそれが遂行を怠らば、市の發展はそれに準じて阻害せられるのである。

都市計畫を支配する經濟的考察は家屋、商店、鐵道終點又は給水系統の設計に於て行はる、經濟的考察と全く同一のものである。即ち需要に於ける可能的増加又は此の需要に對する供給力への適合といふことである、若し商店や鐵道が初めから失敗に歸するやうならば、それが爲めに入費をかければかけるだけ損失を來たす譯であるから、金をかけないだけ優しである。要害の地を占むる所の都市が其の一般計畫に於て失敗を示すが如き幾多の困難を生ずるところの自然的發展を開始した場合には、それは正に眼を將來に向け、新たな境遇に應じ、その今後の發展の爲めに準備すべき場合であると思はなければならぬ。現在の都市を破壊してそれを擴大することは非常に入費のかゝることであり、殊に、最初の計畫を遂行したる時よりも遙かに高價なる土地を更に購入するの手段を探らざる限りは、到底新たに發展を爲す餘地がないやうな場合には尙ほ更らである。而もこは一家の上又は商賣の上に於てその必要を感じたる場合に個人でも又は會社でも常に爲す所の事であ

る。何れにせよ、それは明白なる損失なることは争はれない、而して此の損失たるや、それが爲めに從來よりも贅澤が出來るといふ考を以て自から慰むるか、さもなければ、從來より尙ほ一層の利得が擧がるといふ見込がなければ到底償ひ得られぬところである。そこで、都市は遠き將來の爲めに豫じめ準備することを爲さずして、その代はりに其の都市の益、増加する必要に順應する爲めに其の改造を營んで十分うまく遣つてのけることが出來ぬものなるか、殊に都市が税を賦課したり、寄附金を募集する力を持つて居るとしたならば、主としてそれが爲めに利益するところの財産の上に必要なる改造の費用を一部分若しくは全部分賦課することが不可能であらうかといふ問題が起るであらう。苟くも財産の破壊を意味するが如き入費は、若しそれが相當なる豫想を費して以て之れを避け得べく、又都市の課税力は決して無用に行使さるべきもので無いとしたならば到底是認することは出來ない。現代都市の種々なる必要は頗る多量のものであつて、課税といふ負擔は必然的に重くならざるを得ない次第である。都市計畫に於ける諸多の改良は、殆ど如何なる代價を拂つても安いやうになるといふ程度に其の價値を増すべきものであるが、其の計畫が若し、高價なる改造の必要を避けるやうに爲されたならば、一般の市民も亦各個の財産所



有者も共にそれが爲に大なる利益を受けるであらう。都市の非常に發展して居る部分に於て誤謬が明白になれる場合に於て、其の誤謬の訂正を繰延べたり、又は土地が高價であるとか、之が爲めに高價なる改良の破壊を來たすとかいふ理由で發展の途上に於ける廣汎なる都市政策の採用を遅延したりすることは、賢明であるとはいはれぬにしても、必ずしも不自然であるとは斷言し得られないのである。未だ殆ど何等の改良をも加へざる、又は未だ街路計畫が確定せられざる部分に於て斯くの如き實物教訓を何等利用せざるが如きは、愚の極であると言はねばならぬ。

從來、都市計畫の包括的なる要素を明かに定義したる都市計畫論者は殆ど稀有である。その定義を下せる人々の中には、都市の組織や行政を特に力説したり、就中その社會的活動に重きを置いたものがあるが、これらは一々枚舉に遑あらざるほどである。又、或る論者は特別取扱を要する都市の或る地方又は或る區域を定義して居るが、斯かる論者は前者に比して少い。或る米國の建築學者は都市計畫の研究に於て蒐集され且つ分類さるべき十二個の重要な事項を擧げて居るが、それによれば、即ち第一に街路、第二に人の輸送、第三に物資の輸送、第四に工場及び倉庫、第五に食料供給及び市場、第六に給水及び衛生、

第七に住宅、第八に娛樂、第九に公園、第十に廣小路と植樹、第十一に建築、第十二に法規と財政これである。或る佛國の著者は特別の研究及び取扱を要する都市の四區域を擧げて、第一に商業區、第二に工場區、第三に行政區、第四に住宅區として居る。此の論者は更に各國の氣候狀況は必然に住民が如何なる住宅を選定すべきかを決せねばならぬと言つて居る。一八七四年に獨逸建築師及技師聯合協會は次の如く都市計畫の根本原則を決議して居る。曰く、

技術的見地、經濟的見地及び行政的見地より考察して、都市を擴張する基本原則は次の如きものである。

第一に、都市計畫の範圍は主として總べての運輸活動及び交通機關の基本系統を決定するに在る。即ち、街路、市街電車、汽車、水路等であつて、これらは偏頗なく且つ系統的に取扱はねばならぬ事柄である。

第二に、街路網は固より現存の街路を適當に考量の中に入れて主要街路、地方的狀態に依つて決定さる、補助街路、それに加へて近き將來の必要に應じて處置すべき、又は其の發展は之れをそれに利害關係ある財産所有者の手に委すべき其他の從屬街路を包含すべ



きである。

第三に、都市の諸部分の組合はせは其の位置及び特色に準じて行はざるべからざるものであつて、又衛生的考察と商工業上の必要に依つて要求せらるゝ如き修正を施されねばならない。

第四に、建築課の任務は借家人、近隣者及び家主の権利及び特典を決定するに在る。而して斯かる権利及び特典は建築物の火防、自由、保健、安全等に關するものであつて、總ての美的考察の如きはそれに對しては第二位に置かねばならぬ。

第五に、土地買上げ及び保管は法規履行に依つて迅速になすことを望ましとする。而してそれよりも必要なことは、新設又は改造の一廓を設置するに必要な法律の制定である。

第六に、都市が斯かる目的を以て調達したる資金は、其改良の爲めに直接利益を受くべき財産所有者に依つて償却さるべきものである。而してその改良事業に着手する前に總費額を豫定し、且つ表通りの土地一呎の正準費用を定むることが望ましきことである。

第七に、利益關係を有する財産所有者の組合が其の區域の改良に關して爲す活動は總べ

て市當局の監督の下に置かねばならぬ。

第八に、至急の改良を要する土地は都市が後之を使用すとの保留の下にのみ建築を許すべきものであると。

都市計畫は往々都市の物質的方面を指すのみならず、それ以外に多くの事柄を包容し、種々雑多なる都市の機能作用をも一切含んで居ると主張さるゝのであつて、且つ之を有効に成し遂ぐることは、主として物質的方面の都市計畫の基礎を立つる熟練と先見とに依るものであるとせられるのである。然しながら、本書は主として都市計畫問題の技術的方面に就いて述べようとするものであるから、主として物質的方面に於ける都市といふことを考の中に入れて居る譯である。故に種々雑多なる都市活動及び都市行政上の細項は先づ不問に附することと爲し、而して都市を便利にして心地よきものたらしむる基本條件は、先づ次の四個條に在ることを豫じめ述べて置くこととする。

第一に交通運輸系統、即ち都市の出入を便利にし、乗客及び貨物の交通運輸を迅速ならしむる種々の手段を講ずることである。尤も將來に於ける交通の必要は正確には豫知さるべきものではないが、然し必要の生じたる場合にはそれらを改良し擴張する丈の準備を



講じて置かねばならない。交通運輸の大部分は常に街路そのものにあるのであり、而して其の十分にして效力あるや否やは大概市内交通線の設けらるゝ街路の位置及び廣さに依つて決定せらるゝものである。

第二に日常の商賣が行はれ、且つ市住民が各自其の家庭に、又家庭より仕事や娯樂休養の場所へ往復するところの街路系統を立つることである。街路系統が一度び設定され又は擴張されるれば、それは其の儘いつまでとはなく繼續されなければならない。或る街路は之れを擴張したり、又は時々新街路の開拓を實施することは固より止むを得ざるところではあるが、一般的街路案が設定されたならば、それは其の都市の永續する間は附きまとうて居るものである。かの一六六六年に於ける倫敦の大火や、一九〇六年に於けるサン・フランシスコの大火などの如き非常事變があつた際には、大規模の區域に亘りて街路案の立てなほしを爲すべき機會となることは疑はれないが、かゝる先例は稀にしか利用されないものである。

第三に市民の慰安及び健康を大體に於て支配するところの公園及び娯樂機關の設置である。適當なる公園が無いといふ場合には隨時それを設けることを得ることは事實である。

公園に供せらるべき土地に家屋が建てられて居り、之を買ひ入れるには非常の高價を要するやうな場合でも決して不可能ではないが、然し公園系統は他の改良事業に先立つて最も經濟的に且つ最も満足せらるゝやうに設置する事が出来るのであり、而してそれらに入る通路と、一の公園と他の公園との間の適當なる連絡は街路系統に依るものであるからして、公園計畫は街路計畫と連絡を保つて設定するやうにするのが望ましいものである。

第四に公共建物の位置の設定である。此の撰擇の如何に依つて公共の仕事爲すに不便の別を生じ、又都市の訪問者に快感をも與へ或は不快の念をも生ぜしむることになるのである。公共建物も必要と便宜とに従つて其の場所を變更することが出来ぬことは無いが、然し其の位置の適否如何は其の四周及びそれに通ずる街路の如何に依つて決定せられるのであるから、公共建物の位置は都市の一般的計畫に關する最も周到なる研究を要すべき事柄に屬するものである。

扱て現代都市と稱せらるゝ一個複雑なる有機體を構成するところの他の要素が數多あるにしたところで、今こゝに數え上げたる四條項は都市に其の特質を與へ、都市をして或は便利、或は不便、或は立派、或は無趣味のものたらしむるものである。都市計畫に際して



働らくところの熟練及び先見の明は主として都市發展の秩序的なる性質を保たしむる必要條件であり、而して個人的及び團體的諸活動が迅速に行はる、や否やを決定する先決條件であることは争はれない。都市計畫の右の四條項に就いては次の四章に互つて夫々委細の説明を爲すであらう。

然し、都市計畫は本書に於て使用するやうな、比較的狹義の場合に在つても、兎に角、其の都市の日進月歩に順應する丈けの豫定筋書を確實に遂行すべき手段を講ずることを意味し、第一に交通運輸、第二に街路、第三に公園の諸系統、第四に公共建物の位置等を都市のすべての住民の利益の爲めに、最も有效有利に使用する手段を講ずるに在らねばならぬ。それには又、計畫費の負擔をして成るべく均等に配當する爲めに、多数者の利益を犠牲として少数者のみが儲けるやうなことの無い爲めに、市の信用を無謀に行使するやうのことの無い爲めに、都市改良に關する健全なる財政方策をも立てることが含まれて居る。都市計畫は都市の交通問題の研究を含んで居る。即ち、街路系統案を實施することに於ける交通の設備を研究すると同時に、飽くまで現在の街路を利用し、多くの場合に於て無方針なる交通施設の場合に必然的に見らる、如き高價なる改良を成るべく避けんが爲めに交

通系統を巧みに修正することを研究しなければならぬ。これは都市計畫に屬するものよりも、むしろ都市行政に屬することであるとも言ひ得られようが、然し、若し都市計畫家が斯かる簡單にして入費の少い方法に依つて、即ち外部の事情の變化に應ずる爲めに計畫の變更を爲すを要せずして、單に修正にて済むやうな方法に依つて改良を期することを得るとせば、これは確かに彼れの本領であり、又しかするのが、彼れの義務であるのである。都市の骨組みは如何に巧妙に計畫が出来ても、健康、慰樂及び便宜を確保する様に私有財産の發展に對して加へらるべき適當の統制力を缺くが爲めに豫期の目的を實現することを得ない場合がないことはない。健康なる生活は過度に激烈なる發展に依り、又適當なる前庭や後庭を缺くが爲めに日光と空氣とを十分に供給することを得ざることに依り、又建てらるべき家屋の高さに關する制限のなきことに依りて不可能となさるゝことがある。居心地のよきこと、即ち周囲の愉快さを保つ爲めには街路及び其の細項に關する立派なる設計が必要である。これは必ずしも泉水や、彫像や、其の他非常に裝飾的なる設備を用ふるのではなく、唯だ釣合がよくとれて、目的に手段が明かに適合して居り、目ざはりになるやうな惡どい看板や、騒々しい響音などを避るやうな設備があればよいのである。更に私



有財産所有者が建物の突出部を以て人道を邪魔したり、貨物の陳列の爲めに一時的にも其の人道を邪魔しても別に之を禁すべき法規が制定されないならば、街路を使用するすべての人々の便宜及び悦樂は犠牲に供せられるであらう。反對に建物が程よき高さのものであれば、街路は十分に利用される譯であるが、單に所有者が勝手自由に建物の高さを決めるやうに許すならば、街路は非常に狭まぐるしくならざるを得ない譯である。

都市そのものの計畫に就いては周到なる研究を遂げ、都市の或る部分、又は都市の全區域に互つて秩序整然たる計畫を立て非常の熟練を發揮するも、尙ほ其の都市と接續町村との區劃を越えようと、道路は全くみすぼらしく、而も適當の區別さへ無いといふ場合がいくらかあることであつて、其の都市への通路は誠に不快極まれるものであり、又附近町村に通ずる道路とても名ばかりの道路に過ぎず、迂回の線を成し、通行人に非常の不愉快なる印象を與へるといふことがよくあるのである。故に都市の周圍といふことは都市そのものの計畫と關聯して研究せねばならぬことである。最初の基本的計畫案は主として街路系統に關係あるものであるが、公共的並に半公共的の建物に對する適當の位置を設定することも豫じめ考への中へ入れて置かねばならぬ。斯かる建物の正確なる位置については固より

前以て設定して置く譯には行かぬけれども、一般的計畫として、或は在來の街路を擴張し、又は新街路を開通して新しい建物の建設せらるゝ場合の爲めに便利なるやうにすることが必要である。若し公共の便宜の爲めに、又立派なる建築的效果を全ふせんが爲めに重なる公共的建物は皆一所に集合せしめることが出來るとしたならば、之が爲めに別に街路計畫をやりなほす必要はなかるべき筈である。都市がその公共事務の爲めに使用する建物に對して適當なる位置を與ふべきは固よりであるが、それと同時に、停車場とか、私立の教育機關とか、教會とか、娛樂場とかいふやうな半公共的の性質を有する建物でも、適當に設計され、其の位置も亦宜しきを得て居れば、確かに都市の品位を加ふるものであるから最初の都市計畫を爲す際に大に考慮を加ふべき必要がある。

都市の各部は其れ其れ或特殊の用途に應ずるであらう。これは地形の點にも依つたり、交通線路に近いといふ地の利にも依つたり、その他種々なる理由に依ることである。即ち商業區域もあれば、工業區域もあり、上流社會の住宅區域もあれば、労働者等が使用する工場等に程近き處には家賃の安い家が塊まつて居るといふ處もあらう。かの所謂田園都市なるものに就いても特に大に考究してよからう。それは商業區域に雇はるゝものにも、



亦工場等に雇はる、ものにも便利である。唯だ土地がありさへすれば出来ることであるが、田園都市は元來、都市の外廓から幾哩も隔つて居らぬところに設ければ都合がよいのである。而して土地が廣くて、田園都市の計畫家が一般的計畫を立て、豫じめ承認を経て置けば自由自在に計畫することの出来るやうな處ならば非常に結構であらう。米國の都市は一般に殆ど發議の力を持つて居ない。都市が自から建設的事業を爲すにも亦個人や團體が従事せる諸般の改良事業を適當に統御するにも、大概法律に依て許可せられねばならぬ。故に都市が自ら爲し又他者をして爲さしめ、若しくは他者の爲すことを禁ずる法律が必要と思はれる譯である。而してかゝる目的を有する智慮ある法律を制定することは、やがて都市計畫綱領の重要な一部分であるといはねばならぬ。歐羅巴の都市は往々大なる地主であり、土地の投機に耽ける等のことは珍らしからぬのであつて、其の利益からして都市は其の多くの社會的諸事業を經營して行くのである。そこで、聰明にして用心深き土地政策を採用し遵守することが必要となつて来る。頻々たる爲政者の更迭及び政策の變化は州の立法部をして米國都市に多分の自治權を與ふることを躊躇せしめたのであつて、輿論も亦かゝる見解に傾いて居るやうである。賢明なる都市計畫と其計畫の秩序的遂行とは市政當

局の慎重と自己拘束とに少からず依存することであり、又市政當局の始終一貫せる政策と方針とに俟つものである、即ちそれには市政當局は斯かる自己拘束を爲し得ること、及び假令自分の考は進歩的であつても、十分に自治を與へられるまでは賢明慎重なる政策を實施遵奉することを得るといふことを事實上に示さねばならぬであらう、而して殊に今日の場合それが最も必要なることである。

都市計畫の此等諸方面の事柄に就いてはすべて次の數章に於て論ずるであらうが、それらの多くのものはそれを論ずる絶好の資格を有する人々に依つて既に論述せられ、或る問題に關してはそれだけで一冊の本となつて居るのさへもある。そこで、本書に於ては二三の具體的事例に依つて、從來爲し遂げられたる事實を説明しようと思ふ。そして一々の問題を如何に解決すべきかを指示するやうなことはこの次にしようと思ふ。何人といへども此等すべての問題に通ずることは望まれないのであるが、如何なる人でも都市又は町の將來の發展進歩の爲めの計畫を爲すべき責任を有する個人又は個人の團體に對して同情ある興味を覺ゆるべきものであらうと思ふのである。都市計畫家は専門的問題には徹底的に通じて居らねばならぬのみならず、それに含まれて居る法律上並びに經濟上の事柄に關し



ても多少の知識がなければならぬし、更に他の都市が如何に此等の事柄を解決したるかの事實にも幾分か通じて置かねばならぬ。それと同時に、社會的並びに人道的の考察にも相當の重きを措かねばならぬ。現代都市計畫者及び建設者は一方に於て非常に専門的なる諸問題に面接するのみならず、他方に於ては他の如何なる方面の人々にも劣らざるほど人道的の興味を感じつゝ、あるものである。

## 第五章 交通系統

現代都市の起原及び發生發達の原因は實に殆ど全く交通の便宜に存し、物資供給の本地及び其の物資を販賣する市場への交通の便に存することは多言を要せずして明かなる事實である。諸國を遍歴する人の實施觀察するところに據れば、苟くも人口集中の中心地たる大都市には必ずや水陸何れか又は兩方の便があるといふのである。こは殊に工業中心地に於て然るを見るのであるが、其の他一般に大都市にも當てはまることである。初め都市計畫を爲す際に於て、如何に交通といふことが重大なる役目を有し、従つて十分に考究せねばならぬものなることに就いては前章既に力説したところであるが、斯かる考究を爲す場合には一般的都市計畫を成るべく破壊せず交通の便を發展せしむるやうに計畫を爲さなければならぬのである。若し人及び物資の運輸送の適當なる設備を施すならば、製造業及び一般商業等は自然に其の都市に集中し、人口も増加するのであるから、都市が發展して來れば、従つて其の都市の内部の交通系統を是非とも立てなければならぬやうになる。商業が發展するに従つて、都市の中央部はその爲めに供せらるべく、土地は住宅地には餘



りに高價すぎるやうになりて、此等の中央部に家庭を有するものは遠くに移轉せねばならなくなるであらう。工場に勤める労働者は其の工場附近に於て適當の住宅を供給せらるゝことなくば、別に遠くから通勤せねばならなくなるであらう。尤もこれら住民の移動はそれ自身既に重大なる問題を含んでは居るが、然し、全體に於ける其の結果は利益あるものである。

日々市内に通勤する人々が市外に住居するといふことは好ましからぬことであり、市外に町が次第に發展するといふ事は市の最上の利益を破壊するものである、苟も市の活動からして其の収入を得て居る人々は、何人でも市費を負担し市の商店で購買を爲すのが正當であるといふ感じが往々起されるのである。然し乍ら斯る感じは郊外地に町や村が発生するのは却つて市の膨脹となり、其の繁榮に貢献するものなるの事實を理解し得ざる結果である。市外と市内との聯絡交通の便宜を十分につけるのは、同じ市内の各部を聯絡する交通機關と同様重要なものである。水陸何れもの便宜に依るところの最善の交通機關を有する都市は最も急激に發展する都市であり、且最も安價に最も迅速にして最も便宜なる交通機關を以て市内各部を聯絡せしめ得る都市は概して言へば最も生産的にして且つ最も健

全なる市民性を有する都市であると稱せられる。

鐵道線路に直接する地方は普通好ましくなく、結構なものでないことは事實である。斯かる地方は工場地には適して居るが大概下層階級の住宅地に供せられて居る。都市の或る中央地より其の各部に多くの鐵道線路が射出する場合に於て、其の中央地から大分隔れるところの線路と線路との中間に介在する三角形の地域は最も低度の效用をしか有たぬものとなり易い。而も其の土地相場は必ずしも下落せぬが、其の地域内に最悪の貸長屋や貧民窟が出来るやうになるものである。

若し都市の一般的基本計畫を爲すに當つて、幹線鐵道を布設し、然も十分に其の終點を設備して、都市への通路を便にするといふ計畫を立てるならば、又物資の低廉輕易なる運搬を爲し、工場への通行をも非常に便ならしむる爲めの聯絡鐵道を布設するやうに考究するならば、又、航行に便ならしむる爲めに鹽水地の計畫を立て、鐵道と汽船との迅速なる聯絡交通を計るやうにするならば、斯かる水陸兩方の便宜に對する要求が多くなればなるほど、入費を要すること最も尠く且かも一般の商業に妨害を與ふること最も少くして之を爲すことが出来るのである。英米諸國に於ては、今日尙ほ私立會社の手に依つて鐵道が運



營せられて居るが、然し、其處には次第に市有市營の傾向が現はれ、殊に或る場合には終點驛の建設及び所有をも市が處理するの傾向があつて、すべての鐵道と汽船に對して同一條件を以て自由に使用せしむるところもある。港たる都市は鐵道及び汽船の終點の適當なる相互聯絡を設くる必要を感ずることが晚かつた。即ち、その都市に入る物貨は内國の消費に供せらるゝ、か若しくは内國の諸地方に輸送する爲めに今一度汽船に荷積みせらるゝ前に、精製品に變形せらるゝものであるといふ考があつたやうで、從つてその物貨の集散地たる重大なる任務が分からなかつたからである。鐵道終點は往々恰かもその以外に交通の手段がないものゝやうに又、汽船の終點は恰も鐵道の聯絡が殆ど何等重要な意味を持たぬものゝやうに設計されて居つて、二者何れも各一方丈けで十分であるといふ風に考へられて居るのである。港の計畫といふ問題が其の相應なる注意を惹くに至つたのは、つひ最近のことである。歐洲諸國の多くの都市は多年其の交通の問題を研究し且つ實施しつゝ、あつたのであるが、それらの都市に於て近來急激に人口が増し、富が増殖するに至れるのは、主として水路及び鐵道の終點に對する一般的施設に由るのである。

獨逸のハンブルグ、ブレメン、白耳義のアントワープ等の諸港市に於ける商業の發展は實

に急激なるものがあつた。ハンブルグに就いて記せらるゝところに依れば、初めハンブルグ、アメリカン航路は一八四七年に於て、ドイツランドと稱せらるゝ、僅に七百十七噸の一帆船を以て開かれたのであるが、當時此の般は實に同市の誇であつた。然るに一九一四年に於て、同汽船會社は世界最大の汽船たるインペラトル及びファーターランドの二艘を有し、何れも約五萬噸の大きさのものである。而して此等の大汽船を始め港に出入するところの他の大小汽船が樂に碇泊出帆し得るやう、港及びそれに通ずる水路を改良する爲めには非常なる入費がかつた。一八五〇年より一九〇六年に至るまでに、ハンブルグ市は同市と海との間に於けるエルベ河の水路を改良する爲めに六千二百萬マークを費したと稱せられる。而して築港の費用は四億萬マークである、此の中にはエルベ河口に在るクックスハーフェンに於ける築港工事の爲めに費したる九百五十萬マークは含まれて居るが、自由港倉庫は含んで居ない。ハンブルグ、アメリカン航路の新設埠頭の爲めには、ハンブルグ市は三千二百萬マークの費用をかけて居る。而して一年百三十五萬マークの損料で會社に貸附けられて居るが、これは投資總高額の四分二厘五毛にも足りない。一九〇九年に於けるハンブルグ港の水面區域は一千五百七十五英町であつたと稱せられる。即ち其の内譯を



此處に示せば、(一)海上汽船の爲めにせる船渠は七百二十三英町、(二)河艇の爲めにせる船渠は三百七十五英町、(三)海上汽船の深さをもてる運河及び運河分路は三十六英町、(四)河艇の深さをもてる運河及び運河分路は百〇三英町、(五)船渠の入路及び主要流路は三百三十八英町にして、都合上記の如く一千五百七十五英町となるのである。實にハンブルグは汽船交通の終點と鐵道交通の終點とを以て別々なる計畫施設とは看做さずして、二者を一單位として最も密接親近なる施設として、之れを最も有効に運営するに努め來つたのである。

白耳義のアントワープは其の出入船舶の噸數の多き點に於ては、實に歐羅巴の諸港中、ハンブルグに亞ぐの港である。廣大なる改造工及び増設工事は現に其の港に於て營まれて居り、若し此の工事が完成せる曉には水面區域は千七百五十英町に達する豫定である。波止場の物置小屋の面積は約七十五英町あり、其の一つ毎に其れ其れ鐵道線路があり、その第一より第三までは通常其の小屋と岸壁の終端との間に布設せられて居る。鐵道線路と倉庫とは港の四面に設けられ、港の保留地を通じて大通を設る計畫である。アントワープの格段なる特色は船渠小屋の上に設けられたる高臺であつて、其處から般賑なる港の全景

が一目に見えることである。

以上の二大港に就いて共通せる特徴を言つて見れば、二港共に河口から數十哩の上流に在るので、汽船の通航に便するには十分に水を深くして置かねばならず、而して斯くするには非常に金がかゝるといふ點である。ハンブルグはエルベに沿うて海を距ること約八十五哩であり、ブレメンはヴェーザー河に沿うて海を距ること約七十五哩、アントワープはシエルト河に沿うて海を距ること六十哩であるから、従つて何れの市も港と運河とを有し、大洋航海の大汽船の上下することを得るやうにして置かなければならぬ。

フランクフルトは港でこそあれ、單に河丈けの航路に限られ、小船の上下のみしか行はれないところであるが、然し其の特徴は以上の三大港に比して一層著しきものがある。マイン河とライン河とが落合ふ地點からして、約二十五哩をマイン河に沿ふて溯れば、フランクフルトに達するのであるし、又此のライン河が和蘭に入つて海に注ぐ河口から見ると三百哩も上流の地點に位するのであるが、此の市は内地取引の非常に盛んなる般賑なる場處である。然るに此の市を重要な終點地とするには、非常に大なる想像力と勇氣とを要したのである。即ち、此の市をして鐵道と汽船との二大線の聯絡會點となし、全歐羅



巴を通じて最も善良にして最も低廉なる製造業地となすに至つたのは、偏に市政の任に當れるアディックス市長及び其の下僚の人々の盡力に依つたのである。普通新東港と稱せらるる築港工事の爲めにフランクフォールト市は凡そ一千八百萬弗の巨額を費したが、其の三分の一は土地の爲めに、二分の一は工事の爲めに其の餘は倉庫、設備及び工事中の資本に對する利子に費されたのである。而して其の擴張工事の面積は一千一百八十英町に及び、其中三百五十英町は街路、鐵道、堤防等に當て、一百十英町は船渠に當て、残りの七百二十英町は荷置場、荷扱場、倉庫及び工場等に當てられた。而も此等の工場にて營まる、作業はすべて鐵道系統と適當なる聯絡を保つて居る。此の擴張工事の爲めに必要なる土地はそれが投機的相場とならざる前に購入されたのである。

次にロッテルダムは和蘭政府が一百七十五萬弗の費額を以て築造せる新設運河に依つて海までは十四哩弱を以て通するのであるが、市そのものは其の港の擴張と改良との爲めに非常なる金をかけて居る。しかして其の港の地域は五百英町以上に達し、而も増設工事の愈々完成する曉には、それは約一千三百英町を占むるに至るであらう。此の市も亦總ての船渠、倉庫に鐵道線路を布設して居るから、汽船と汽車の終點との聯絡がついて居る譯である。

陸上交通と水上交通との特に著しき聯絡の事例たるものは、ロッテルダムの上流百三十五哩にして、且つ和蘭と獨逸との國境を溯ること四十五哩のところ、ライン河に沿ふて位置する有名なるデュイスブルグ、ルーロートの港である。こは世界第一とはいへぬまでも、少くとも獨逸最大の内地港であると稱せられる。商業中心たるレニシユ・ウエストファリア地方は實に鐵道網が四方八方に張つて居り、石炭坑が處に見られ、煙突、昇降機、礦塊が其處此處に存する。人口稠密の都市と商業の中心地とは群がり居り、鎔鐵爐、製鐵、製鋼場、鍛鐵場、製造場、亞鉛及び銅の熔礦場、其の他の工場は密集して歐羅巴全體を通じて實に無比の壯觀を呈するのである。一八九〇年には船渠と聯絡せる鐵道の軌道は三十七哩も布かれ、而して一九〇三年より一九〇八年までに更に此の哩程が延長せられ、改築費に五百萬弗を要したのである。

次には佛國のハーヴル港である。平均潮流區域は此の港に於ては十七呎にして、極度に達すれば二十九呎に至るので、そこで閉鎖船渠が必要なのである。又百七十五英町の外港があり、合計二百英町の水域を有する十個の内船渠を有する。佛國政府は港の改良工事費



金の半額を支給し、而して他の半額はハーヴル市の負擔となしたのである。鐵路は船に沿ふて陸上を通じ、貨物は安價輕便に取扱はれる。

倫敦はテムズ河口を距る五十哩の地に在るが、而かも其港は倫敦港當局と稱せらる、公共信託組合又は獨占の管理に屬し、世界中最も發達せる港の一となつて居る。此の組合の管理に屬する船渠及び波止場は一億八千五百萬弗と評價せられ、而してそれより生ずる利益を以て、復舊工事及び擴張事業に資せられる。港は三十七個のウェット・ドック又は潮流船渠を有し、水上貿易の約一半は此等の船渠に於て行はれる。此等の船渠は水陸合せて二千四百六十七英町の廣さと、約三哩の河間口と、二十八哩の岸壁と、約百二十哩の鐵道線路とを有する。倫敦に於ける潮流領域は十七呎より二十呎まであるから、船渠には門がついて居る。テイルベリ船渠は最も現代式のものであつて、倫敦橋下約二十三哩に在り、各千六百呎の長さを有し、二百五十呎乃至六百呎の幅員を有する四個のウェット・ドックを有し、且つ此等のドックは總べて四十五呎の深さと合計七十三英町の水域を有する。潮流船渠とウェット・ドックとの間には七百呎の長さある一個の水門があり、それが又百四十五呎のと五百五十五呎との二個のチェンバーに分れて居る。物置及び倉庫には軌道がついて居り、

水力起重機は岸壁に沿うて設けられて居る。

リヴァプール及びバークンヘッドの船渠は單一の港を成し、其の全面積は千六百七十七英町を占め、其の中、五百九十九英町は水面であり、三十六哩の岸壁があり、それはすべて倉庫、物置、軌道、荷積卸器械が設けられて居る。リヴァプールに於ける潮流區域は二十一呎乃至三十五呎に及び、従つて最も多額を要する根本的築港工事を爲さねばならぬ必要があり、實に二億萬弗を要したのである。

マンチエスターは内地の港であるが、三十五哩半の長さ二百九十呎乃至三百七十呎の幅さと、水深二十六呎とを有する運河に依つてマーシー河と聯絡したる爲めに、重要な海港となつて居る。其の船渠は四百〇六英町を占め、其の中二百二十英町だけが水面を占めて居る。又其處には岸壁の長さ六哩二分の一に達し、更に八十哩に互れる鐵道線路を有し、それが船渠のあらゆる部分に通ずるは勿論、英國の諸地方と鐵道の聯絡を爲して居る。此の都市を海港に化する爲めに實に八千五百萬弗の經費を要したのである。

南亞米利加の二大都市は其の交通機關の改善に於て、他の諸都市に見るを得ざる大なる企業と聰明なる先見とを示して居る。即ち、ブエノス・アイレスは一五三五年に於て建設せ



られたる都市であつて、北亞米利加の如何なる都市よりも其の起原が舊いのである。大西洋岸を距ること約百四十哩の廣大なる三角江上に位置を占めて居るが、市の正面に於ける水面は頗る淺く、如何なる大きさの船でも以前は海岸より約十二哩のところに碇泊し、旅客及び荷物は舢にて陸揚げせざるべからざる有様であつた。一八八九年まで斯る状態であつたが、其の年に至つてそれより四年前に着手された船渠及びそれに通ずる運河系統が愈々實際に使用せらるゝ様になつたのである。現に二個の運河があつて、一つは十九呎の深さを有し、他の一つは二十一呎の深さを有し、共に海岸より約五哩半のところに通じて居る。四個の聯絡せる大船渠は建造せられ、何れも二千呎以上の長さに達し、五百呎の幅と二十三呎の深さとを有する。船渠は何れも潮流門を設けられ、潮流が極めて低き時に於ても上記の水の深さを維持するのである。船渠間を聯絡するところの水路には搖動橋梁を架し、車や徒歩に便ならしめて居る。而して此等の船渠に通ずる水路は三百二十呎の幅員のものである。當初の工事は約四千萬弗の費用を要したのであるが、其の後行はれたる、若しくは現に行はれて居る廣大なる増設工事及び改良工事の爲めには實に二千萬弗の金額をかけて居るから、當港の能力を發揮する上に非常の助けとなるであらう。又新設の船渠は三十

呎の深さを有し、且つそれらに通ずる水路はこれと同じ深さのものである。

扱て此等の改良工事が同港の商業の上に、又同市の發展の上に及ぼせる影響は實に驚くべきものであり、極言すれば未曾有の事例とも稱すべきものである。初め此の設計が一八八〇年に於て立てられたる際には、同港の噸數は七十萬を超えなかつた。當時に在つては豫想の二百萬噸を以て頗る過大なるものと考ふる者があつたが、船渠が一たび一八九九年に開かれたる際には、三百八十萬噸に増加し、更に一九〇一年には八百六十六萬一千噸に達し、今日では平常の時に優に一千二百萬噸に達する有様である。尙ほ又商業上の便宜は人口の急激なる増加に異常の影響を與へた。一八六四年には人口十四萬人であつたのが、一八八七年には四十萬人に達し、一九〇二年には八十六萬四千人に達し、更に一九一四年には約百五十萬人となつた。ベエノス・アイレスは水路終點が正常に鐵道線路と聯絡せられざる限りは、水上通商の設備は其の効果を發揮せざるべきことを了解したのであるから、此の所謂港灣鐵道はアルゼンチナの聯邦政府にて之を所有經營し、之に聯絡する總べての鐵道の爲めに直接各船渠の兩側に交通の便を與へて居る。

リオ・デ・ジャネイロは一五五六年の創設に成り、約二百五十平方哩の廣さを有する灣に莅



み四邊美はしき濱邊を見、濱邊には高峯が聳えて居つて、世界大都會中、かくの如き風景の佳なる港は他に見ざるほどである。臨水地は何處にも未だ會て見られざる如き珍らしき馬車道が出来て居るが、商業の必要といふことは決して等閑に附せられず、數年前、長さ二哩半の岸壁も築造せられ、其の背後の地面には起重機及び鐵道軌道の設備を有する無數の倉庫が建造せられて居る。而して岸壁の前面には一大投錨所が設けられ、三十三呎の深さを有する一水路が浚泥せられて居る。

北米の太平洋沿岸、即ち加奈陀及び合衆國に於ては目下非常の大計畫が行はれ、巴奈馬運河の計畫に亞ぐの商業發展策を講じ、巨額の金をかけて居る。一説には五億弗を下らざる金を費して居るといふことである。港、終點及び鐵道聯絡線を造る爲めに鐵道會社及び其他の會社は三億五千萬弗の金を投じて居るが、其大部分は英領コロンビアの諸港の爲めに投ぜられたるもので、一億五千萬弗は合衆國の政府、都市、港、港務局等にて支出して居るといふ。英領コロンビアに在つては、ヴァンクーヴァー、プリンス・ルーバート、ヴィクトリア諸港にして、又合衆國に在つては、シャトル、タコーマ、ポートランド、サン・フランシスコ、オークランド、ロス・アンゼルス、サン・ディアゴ等の諸港であり、其れ其れ其の

市當局、州當局又は私立會社及び政府當局とが協同の投資を營んで居るのである。斯る市當局、州當局及び聯邦政府當局が協働の大計畫を以て之を普通の意味に於ける都市計畫とは稱し難きも、如何に今日彼等が通商及び交通政策に重きを措けるかを示し、且つは無用の巨費を浪費することなく、都市計畫の不整備を來たすことなく、交通及び通商の便宜を設備し、以て都市計畫を完うするの必要なることを自覺せるかを現はすに足ると思ふ。

シカゴ市は恐らく非常に數多き幹線鐵道を有する都市の最も著しき一例であるが、これら許多の幹線鐵道の殆どすべてが其の終點を有し、而して、其の終點がそれぞれ他と獨立的に設けられたる場合には、其の後に至つて、それらの聯絡を計るが如きは、困難にして入費のかゝる仕事であることが普通である。而して、これらの終點中、旅客の爲めの終點は設備行き届き、且つ壯麗なる停車場であつても、荷物の爲めの終點は、之れに反して設備も行届かず、又、立派なものでないといふやうなことも珍らしからぬことである。シカゴ市には所謂環狀區域と稱せらる、一定の區域の中に六個の獨立なる旅客の爲めの終點が設けられて居る。然るに此の市の異常なる發展といふことは、最初此の市が創設せられたる當時豫想せられなかつたのであつたから、此の獨立なる終點の數を成るべく減する



やうに、數條の鐵道線路を聯絡するといふ問題が却々困難たらざるを得ない譯である。これが爲めに現に當局を初め都市研究會等が種々研究し考案を廻らして居る。

紐育市に布設せられたる鐵道線路の聯絡といふことは、紐育市が適當なる聯絡を計る上に自然的の障礙を蒙つて居るといふ事情の爲めに、特に困難を極むる一つの問題となつて居るのである。而して此の市及び附近の地をして商工業の中心地として一個の絶好なる位置たらしむるところの大水路系統は、却つて此の鐵道線路の聯絡といふ問題を特に解決困難のものとなして居る。然し、紐育中央線といふ一個の幹線鐵道はマンハッタン・アイランド上の一大人口中心地と他の地方との間に荷物運搬上、直接の鐵道聯絡を有せしむるが、此の系統はハドソン河流域に依つて米國の東北部にのみ達するに過ぎないのである。新英蘭を通ずるニュー・ヘーヴン線路はハーレム河邊にて其の終點となつて居る。他の線路のすべてはニュー・ジャージー州に於てハドソン河の西岸にそれぞれ其の鐵道終點を有し、而して浮棧橋に依つて貨車は此の河を越えるのである。ペンシルヴェーニア線路は巨額の費用を以てハドソン河底に布設せられたる二條の墜道に依つて旅客をマンハッタン・アイランドに送つて居る。而してイースト、リヴァーの河底には四條鐵道線路が布設せられ、ロング・アイラ

ンド上に在る旅客専用の終點に到達し、ここにてロング・アイランド鐵道線路系統と聯絡して居るが、然し、貨物運搬の爲めに此等の線路を使用することを許されて居ないのである。そこで、グリーンヴィルに於けるアッパー・ペーのニュー・ジャージー岸に一大貨車連絡終點驛を造り、其の對岸なるブルックリンにはブルックリン及びクインズの各道を通つて居る紐育聯絡鐵道の終點驛を設け、又ニュー・ヘーヴン線及び新英蘭地方との聯絡の爲めにイースト・リヴァーに一大橋を架して居るのである。現に紐育市にはブルックリンの南部なる水面に沿ふて周縁を爲すところの貨物列車の鐵道線路を布設する一計畫がある。而して此の線路は前記の紐育聯絡鐵道に依るの外は、如何なる鐵道とも線路上の聯絡がなく、唯だ貨車棧橋に依つて、總べての線路に達するやうになつて居る。紐育市には二大旅客鐵道線路が設けられて居る。紐育中央線の中央大停車場はニュー・ヘーヴン系統及びペンシルヴェーニア停車場に對しても終點驛として役立つて居る。此の中央大停車場は一個の終點驛であり、行詰りの停車場であるにも拘はらず、其の區域が頗る廣大なるが故に、地下鐵道の便に依つて聯絡を計つて居る。而して上層の地下鐵道は急行列車線にして、下層の地下鐵道は地方列車線路を成して居る。中央大停車場と市の地下鐵道諸線路との聯絡は極めて精妙であり、手のか



かつたものである。而して楷子道の代りに斜路を造れることは世界の鐵道大終點中、最も現代式なる一つの特徴たるを失はない。又ペンシルヴェーニア停車場は、南部及び西部より來るペンシルヴェーニア線にとつての終點であり、又、本部より來るロング・アイランド線にとつての終點であるに拘はらず、其の列車運轉に於ては一個の中間停車場としての便利を與へ、且つ南部又は西部より到着するすべての列車は此の停車場を通過し、而してイースト、リヴァーの河底を通じて、ロング・アイランドの一大終點驛に到達するのである。

市外交通に對する十分なる便宜を計れば、商業の發達を來し、人口の増加を結果するに至るとは固より多言を要せざるところである。而して都市の人口が増加するに従つて、市内交通の問題が一層重要にして緊急の問題となり、而して、此の市内交通系統の效果は主として都市計畫の如何に依つて決定せられるのである。初め或る人が都市計畫を立て、然る後ち、交通専門家に交通上の便宜を計ることを計畫せしむることが屢、是認せらる、やうに思はれる。工場や、商店や、劇場や、事務所や、住宅地や、公園や、其の他の諸設備に對してそれぞれ其の區域を割り當て、然る後ち、此の計畫の必要に適應すべく、或る種の交通系統が自から發生し來るといふのである。然しながら、苟も意識的なる都市計畫

事業を以て偶然的にして自然の發展に代へんとするのであるならば、二つの事柄が共に相提携して進まなければならない。即ち、交通機關のことは、他の要素が論議せられて居ると同時に考究されなければならない。都市計畫者は彎曲街路及び絶えず其の方向を變更するところの所謂斷絶街路なるものを使用せんとする著しき傾向があるやうである。審美的な見地から見れば、斯る都市計畫は住々に成功することがあり、而して長き直線街路の使用は困難なることであるやうであるが、然し彎曲街路は娛樂の爲め、直線街路は商業の爲めといふ古い警句は今日に於ても尙ほ通用するものである。安價にして迅速なる交通は、全市悉く彎曲街路又は短距離にて其の方向を變更するところの斷絶道路から成り立つて居るやうな處では實際不可能であらう。又その建設費も巨額に上るであらう。多くの點に於て私有地は奪はれなければならない。建設費の大なることは、總て、運賃の高きことを意味するであらう。速力を高め又は緩むることの頻繁なるが爲に、電力の浪費を來し従つて營業費は増加するであらう、又維持費及び修繕費は嵩むであらう。彎曲は速力を減ぜしめ、速力の減低は交通の時間を多からしめ、時間のかゝることは交通の及ぶ區域を小ならしめ、従つて雜閘を來す結果となる譯である。



都市の如何なる街路でも交通線路を満遍なく敷く様に市街計畫を立てることは愚といはねばならぬ。或る交通線路は他の交通線路よりも遙かに餘計に使用せられるであらう、即ち或る線は幹線であり、他の線は枝線たるに過ぎぬであらう。大なる都市に在つては、幹線は非常に重き運搬をするから、街路面上に於ける交通は非常にその速力を緩めるにあらざれば、之れに堪へる事が出来ぬ。而して速力の遅緩は取りも直さず、交通能力の減小を意味するのである。そこで、此等の幹線は街路より上、もしくは街路より下に置かなければならぬ場合がある。即ち、高架線及び地下線がそれである。又、最も重要な線路の或るものは交通の便宜に適應する爲めに三條乃至四條を要することもあるであらう。高架鐵道は光線と空氣とに對して非常に大なる防害を與へ、且つ喧噪を増すものである。而して普通の建設にては殆ど堪ふべからざるほど市街の美觀を害することとなるのである。フィラデルフィアの高架鐵道の如く、堅固なる地床を以て建設せられ、石砂利が敷かれて居る場合には、音響は非常に減少される。又若し之が鋼骨コンクリートである場合には、市街の不恰好は尙一層緩和せられ、音響も亦更に減少せられるであらう。ポストンに於けるフェンウエーズを通過する高架鐵道はまさしくそれである。紐育市のクキーンズ、ブルヴァル

に於ける三重線の高架鐵道は其の下に復線鐵道を通するやうな設計になつて弓形を成せる支柱と支柱との間は又弓形を成して連續して居る。其の幅二百呎を有する此道路は高架鐵道の爲めに七十四呎を取つても尙その兩側に十分なる餘地があるから光線と空氣との妨碍をも爲さず、又基礎が頗る堅固に出来て居るので音響も大に減少せられるのである。此は街路内に建設せられたる高架鐵道中、恐らく最善のものであらう。然し斯かる異常の廣さを有する街路は極めて稀であるにしても、若し大都市の樞要中心から直接に派出するところの二三の道路に百五十呎の幅を與ふことが出来るならば、地下鐵道よりも乗心地善く且つ建設費の低廉なるべき此の種の高架鐵道線路を布設することが可能であらう。

結局地下鐵道の必要ある場合では、尙ほ未だ地上の交通が甚く頻繁ならず且かも街路が十分に廣き時には、地を掘つた儘、上を塞かず布設せらるゝ事が出来るであらう。初めて紐育に布設せられたる急速力の地下鐵道は、其の大部分に四條の軌道を設け、其の中の二條には十車の急行列車が、約一哩半の距離にある各停車場間を一分四十五秒の間隙に運轉されて居り、又、他の二條には約四分の一哩づゝの距離に在る各停車場を右と同じ時間に六車より成る地方列車が運轉されて居るのである。而して安全裝置と速力統御法の改善さ



(八四)  
る、に從ひ、此の地下鐵道の能力は次第に増加せられ、一九一五年六月三十日に終れる一年間には、毎日の旅客平均數は百〇一萬六千四百二十九人に達し、その前年度のそれに比して一萬五千二百十四人の増加を示して居る有様である。此の間、高架鐵道は或は第三の軌道乃至第四の軌道を増設せられ、而して第三の軌道は混雜すべき時間丈け非常に夥しき乗客を載せたる急行車を通じ、第四の軌道には總べての時間を通じて急行列車の運轉を營んで居るのである。

扱て此の工事は紐育市の交通系統の大規模なる擴張事業と關聯して營まれて居るのであるが、一體此の擴張事業は、約三億三千萬弗といふ莫大の費用をかけて行はるゝのであつて、其の費用の中、紐育市は約半額を支出し、而して、現在の鐵道線路を經營する二個の會社が他の半額を支出して居るのである。從來は、急速交通機關の布設は人口非常に稠密にして現在の交通機關では到底間に合はざる部分に限られて居たが、此度の計畫に於ては、未だ發展せざる部分まで新線路を布設せらるゝことと成つた。扱て此の新政策の地價に及ぼすべき影響は頗る甚大であらう。需要が供給に過ぎたる結果斯の如く雜鬧を來したる土地の價格は低落し、之に反して新開の場處は發展して其地價の増加を來すであらう。

紐育市が此の新計畫に依つて、如何に其の交通機關を増加すべきかは、次の事實に依つて明らかになるであらう。即ち、現在の急速交通系統は高架と地下とを合して唯二百九十六哩に過ぎざるが、今次の擴張されたる系統にては六百二十哩に至るのである。而して新布設の道路の哩數は八十八哩八十六鎖であつて、其中、四十八哩一二は地下であり、三十六哩五五は高架であり、又四哩一九はイースト、リヴァーの鐵橋の上を通るのである。而かも最初の地下鐵道線路の長さは僅かに二十五哩七二であつたのである。又開鑿するべき土地は合計約一千二百八十萬立方碼で、それに要するコンクリートは二百八十五萬立方碼であり、使用さるべき鋼鐵は六十二萬噸に上り、且つ約四十哩の下水道を建設することになつて居る。一九一五年九月一日の現在に於ては、既に約一千萬立方碼の開鑿が完成せられ、百五十萬立方碼のコンクリートが既に使用せられ、三十六萬噸の鋼鐵が既に建造又は引渡濟となつて居り、當時此の工事の爲めに働ける人數は一萬九千七百四十八人に上つて居つたのである。以て其の工事の如何に大規模なるかを知るに足るであらう。

而して此等の線路は廣大なる一市街鐵道の系統に依つて補足せられ、即ち市街鐵道は主要系統に對する枝線又はその分派線たる役目を爲すのである。高架鐵道は以前は市の最も



重要にして最も發展せる部分の或る處に布設されたのであるが、新政策は、それを地價が比較的低廉にして、而かも商業中心地に近接せしむべき交通機關の必要を痛切に叫んで居る、未だそれ程に發展せざる遠き部分に限つて布設することにしたのである。かゝる部分では急速交通機關が焦眉の急務と感ぜられて居るのであつて、それが高架たると、地下たるとは第二の問題である。尤も乗客としての立場から言へば、高架鐵道の方が結構である。それは人工的な換氣法や發光法が不要であつて、乗客は地下鐵道の場合の如く、土壁をのみ見て居るやうな不愉快を避けることが出来るからである。然し、公道の利用者や、附近の土地所有者又は借家人から言へば、地下鐵道の方が有利であり、而して雨雪の際に汽車の時間が遅延するといふやうな心配がないといふ便宜の點がある。其の他、高架鐵道は市街地に對して空氣及び光線流入の邪魔者となり、喧噪を増し、且つ蒸汽にて運轉せられるとすれば、徒らに煤煙や塵芥の供給者ともなる譯である。

然るに、高壯なる建築物が櫛比して居る狭き街路に於て地下急速線を建造することは、技術的にも經濟的にも頗る困難であつて、それは紐育市のウィリアム街下に現在布設されつつある二條軌道の場合に依つて明かに分かるのである。即ち、此の二條の標準軌道の布設

については約二十九呎の幅に開鑿せねばならず、それが停車場の場合には四十呎を要するのである。而してその深さは街路面下二十五呎乃至三十一呎に及び、開鑿は概して高水面下三呎乃至五呎に及び、メーデン・レーンに於ては實に十四呎、ボール街に於ては二十呎に達して居る。其の布設費は最低見積りに於て通計實に二百二十五萬四千六百七十弗に達し、地下一呎毎に約八百五十弗を要するのである。今其の内譯を示せば、地下開鑿費は七十萬一千七百五十弗、建築物の土臺布設費は六十萬四千五百弗、諸種の石工費二十四萬八千五百五十弗、建造用鋼鐵代價二十一萬四千八百弗、下水道布設費四萬九千弗、其の他雜費四十三萬六千〇七十弗である。



## 第六章 街路系統

行政的中心、商業、工業、及び住宅の諸區域、交通線及び其の終點等が、周到なる研究を重ねたる後、十分に將來の發展といふことを豫想して計畫せられたる大都市はこれまで決して數多くはないのである。然し、ワシントン市の如きは、斯かる計畫の下に設計せられたる最も顯著なる事例に屬する。一七九一年、合衆國の首府として一つの場所が選定せられたのであるが、當時、米國は大西洋沿岸に位せる十四個の州より成れる一團を以て成立して居つた。即ち其の年開國最初の十三州に一州が加はつたのである。扱て選定せられたる場所は、當時に在ては可成り中央に位せるものであつて、ボトマック河の兩岸を占め、而して、メリーランドとヴァージニアとの二州に跨つて居つたのである。ワシントン市は今日に於ても尙ほ米國の北南國境間の殆ど中央に位して居るが、東方大西洋海岸からは直經緯に一百哩にしか過ぎざるに、西方太平洋海岸からは、二千哩以上もあるのである。今日若し米國の首府の位置を選定するとして、而して人口と領土との二點から考へて大體米國の中央部を選ぶとしたならば、恐らく、ミシシッピ河に沿ふところの土地であらうと思

はれる。然るに、ワシントン市は其の計畫に於て頗る當を得たものであり、其の自然的環境は亦頗る美しく心持よきものであるからして、たとひ其の處在は東方の一端に偏して居るにしても、今日まで、未だ之を他に遷さんといふが如き眞面目なる提案を見ざる所以である。

最近、濠洲全體の爲めの首府としてキャンバラ市の都市計畫が立てられたのである。此の場合に於ても、矢張り其處には現在一の村落道路さへもなき場所か選定せられたのである。而して此の場合の自然的特色を利用せんとするが如き極めて興味ある計畫が立てられた。

合衆國鋼鐵會社に依つて開かれたるインディアナ州のゲーリ市の如き工業都市、又はレッチウオースの如き田園都市が時々計畫せられ、而して全然新らしき處女地に建設せられたのであるが、然し、都市計畫者は大概己に其萌芽のある處に手を著るのであつて、これが他日更に大なる計畫に對する容易ならざる邪魔ともなり又は偶には其の反對に立派なる中核ともなることがあるのである。既存の都市の將來に於ける發展の爲めに計畫するに際しては舊きもの、美はしきもの、歴史的の興味を惹くところのすべてのものを保存せんと欲する願望の存するのは自然的にして且つ賞讃すべきことであるが、又之が爲めに、往々にし



て其の都市の商業及び交通の自由發展を妨害するといふ結果を惹き起すことのあるのを忘れてはならない。最初の出發點を數條の廣き路が其處より四方に放射する新英蘭の相當に廣い村落の芝生に置いたり、又はバッファローやデトロイトの様に最初から都市計畫のなされたる幸運なる都市は稀れである。歐洲大陸の或る都市は古き城砦を中心として建設せられた者であるが、此の城砦は王公の住家であつて、王公は戰爭に飽きて後之を中心として都市を立てる事に専念努力した。而して其の結果として出來たのが獨逸のカールスルーエ又はマンハイムの如きである。カールスルーエに於ては、壯麗なる放射街路が設けられて居るが、これは敢て交通の便宜を計る爲めでは無く恐らく都市の中心たる城砦若しくは政廳に壯嚴なる色彩を與へん爲めか、或は敵の攻撃に對する防禦といふ目的を以て計畫された者であらう。兎に角、此の放射街路はこれら二者の作用を見事に成し遂げたのである。

又、蘇格蘭のエデンバラや、獨逸のヌーレンベルヒの如く、諸侯の城下に立てられたるものは其の保護の下に在らんと欲するより外には殆ど何の目的も無いのである。大概の舊都市は初には何等の計畫も無く立てられ、次第に生長したのである。包括的なる大計畫といふことの始まりたるは、比較的最近の事に屬し、其の都市の古き部分にも成る丈けよく

適合し又未だ發展せられざる部分の爲めにせる目論見は既に偶然的に發展し來り居るものと相戻らざる様せねばならない。それ故に斯かる都市の計畫は普通に多數の個々別々なる設計より成り、大抵の場合既に實際的中心として存せる舊都市の無秩序にして不經濟なる街路系統を改整しなければなるまい。或る場合に於ては、四方八方に發展することの可能なること、例へば倫敦、巴里、伯林及びブラッセルスの如きもあり、或る場合には、舊都市が半圓形に發展するやうな位置にあること例へばアントワープの如きもあり、或は發展が或る一方に丈け限られること、例へば紐育の如き場合もある。今日マンハッタン區として知られて居る紐育市の一地方に對し現在の計畫を採用するに至つた顛末はもと一八一一年に同計畫と共に提出せられた報告書に載せてあるが、もつと明瞭に大都市の必要が了解せられて居る今日に於て之を熟讀玩味すると興味の深きものがある。尙ほ包括的なる都市計畫の必要は夙に一八〇七年に於て、此の計畫を立つる爲めに委員會が組織された時によく了解せられて居つたのである。當時の紐育は人口約八萬五千六百人ぐらゐの一小都市に過ぎず、市の既設の部分は東に於ては概ねハウストン街まで、西に於ては第八街及びグリニッチ通まで北へと發展し、其の中間にマンハッタン・アイランドの兩側に沿うてハーレム



河に達するまで處々に人家が散在して居つたに過ぎなかつたのである。

該委員會はマンハッタン・アイランドの都市計畫を立案するの職能を有するものであつたが、當時マンハッタン・アイランドは長さ約十三哩四分の三、幅は最も廣き處で約二哩四分の一を有した。而して委員等はこれが將來優に一大都市に發展すべしとの見込を附けた。即ち五十年内には練兵場の北境まで人家が立て列り、人口四十萬に達すべしとの豫想を爲したのは少しも無理がなかつたのである。而かもその結果は實際豫想以上であつて、一八六〇年に於て其の人口は既に右の豫想の二倍以上となり八十萬五千六百五十八人の多數に達したのであつた、而して右の所謂練兵場は第二十三街より第三十四街にまで、第三大通りより第七大通りにまで及べるものであつて平常は練兵のため、一旦事ある時には都市防衛の爲めに兵士を集合する場所として設けたものであつた。該委員會が第一に考究したる問題は、直線街路と直角街路とに限るべきか、それとも圓形、楕圓形、星形の街路に依れる改良案を多少採用すべきかといふに在つたのである。而して考究したる結果は、凡そ都會は主として人の住居より成立すべきものであり、而して直角形の家屋は建築費最も低廉にして、住居するに最も便利であるといふに在つた。

斯く直角案又は格子形案が最も望ましきものなることに決議したる決果、都市の交通は主としてマンハッタンの島を横斷し即ち、川より川へと貫通すること、なるのであるから、それで大多數の街路若しくは最大の交通能力は此の方面に向ふべきものと爲せるが如く、その幅六十呎の街路が設けられた。而して其の間には二百呎の幅を有する地廓を有するやうにしてある。最も此等の街路の或るものは、特に交通の雜鬧すべきを以て、その中の十五、即ち概ね、十番目に當る街路には一百呎の幅員を與へたのである。此等の街路に直角を成し、而して島の長さに沿うて直線を成して通ずるところの大通りの系列が布設せられたが、其の幅員は百呎であり、各大通りは長さ六百五十呎乃至九百二十呎の一廓に依つて分かれたて居た。主要なる交通が川より川へ向ふといふことは其の當時に在ては寧ろ自然的の考であつたであらうが、今となつては、それは頗る失費のかゝる容易ならざる失策であつたことが解かる。而かも尙此の計畫は、マンハッタン島の長き直線大通りが如何にも堂堂たりとて賞讃して措かざる人がある。

兎に角、最近に於ける紐育市の膨脹は最初此の計畫を立てたる人々の無謀ともいふべき夢想をさへ遙かに超越したのである。而して之は敢てマンハッタン、アイランドに限られず



してロング・アイランドにも及び其の大紐育市に屬する部分丈けの人口でも、合衆國々勢調査局の計算に據れば一九一四年の七月に二百七十七萬三千五百八十二人に達して居るといふ有様である。イースト・リヴァーは當時の計畫者の考へでは到底その方面に於ける都市の發展に對して超ゆるべからざる障壁であつたことは明かであるが、其の後、此の河に四個の大橋を架し、其の底に墜道を通じて八條の鐵道線路を布設したることに依つて、實際上、其の障壁は撤去せられたる姿である。否そのみならず、更に一大鐵橋と四個の墜道とが決定せられ、尙ほ其の外に二個の墜道が計畫せられて居る。而して、ハドソン河底を通りて隣州ニュー・ジャージー州に行く六個の鐵道線路が現存して居るのである。

東西の二方に於ける發展は、前に述べたる當時の計畫者が主要交通はマンハッタン、アイランドを横斷すべしとの信仰を道理ありとするであらうが、北方に於ける膨脹も亦同様に非常なるものであつて、其の大通りの四つには高架鐵道を、又其の或るものには地下鐵道を布設しあるにも拘はらず、猶ほ此の方面に於ける通路の數を増加すべきことの必要なのが明白となつて居る。而かも中斜線又は放射線の大通りが殆ど全く無いので、高架線にせよ、地下線にせよ、一方から他方へと直接に通ずることが出来ぬのである。

紐育の都市計畫は該委員の如き優秀なる知識と技能とを有する人々までが、放射線又は中斜線の街路が市の諸方面を容易に且つ直接に聯絡せしむるところの非常に大なる價値を有するものなることを理解し得ざりし事を見事に證明する一例と言ふべきである。ワシントン市のランファン計畫は紐育都市計畫委員會が其の事業に着手せる數年前に立案されたものであるが、彼等は恐らく之を多少空想的設計のものと思ひ、尠くとも紐育の如き商業都市によりも一國の大首府によく適合せるものであると考へたであらう。而かもそれより大約百五十年も以前に、即ち一六六六年に倫敦市の大火後に、サー・クリスファー・レン及びサー・ジョン・イーヴリンの二人はその焼失區域に於ける街路復舊の爲めに、同時に而かも全然獨立的に左様なる都市計畫案を立てたのである。此等の計畫は大部分の非常に發展せる個處に於ての計畫にも、其の根本原則となるべきものに就いて周到なる研究を試みたる人は期せずして一致するものであるといふことの著しき事例を提供するものと言ふべきである。此等二個の計畫案に於ける一致に驚かざるを得ぬ、即ちストランド街がフリート街となり、それを中心點として、八個の主要街路が放射し、一つはレンの大寺院に眞直ぐに通じ、一つは英蘭銀行や、王立取引所及び市長官舎等財界の中心地に通じて居り、今一つ



は倫敦橋の北端に通じて居るのを見るのである。イーヴリンの計畫案は其第一の道路を聖ポール寺院よりも更に東の方に引伸ばし、此の壯麗なる大建築物及び其の立派なる圓屋根が西方からも眺められ、又東方からも眺められるやうになつて居る。又、倫敦橋の北端に於ては二案共に幾條かの放射街路を設計し、英蘭銀行を中心點として其の放射街路が出て居るやうにして居る。而して孰れも英蘭銀行を以て其の中心として居ることに於て殆ど一致して居る。此等の二提案は遂行されなかつたが、倫敦の此の方面に於ける衛生状態は再建以後非常に改善せられたることは明らかである。

兎に角、此の如く中心地點を設定して、それらの間に直接聯絡を圖るといふことの根本的に重要なことに就ては、特に言はねばならない。而して、其の利益は今より約二百五十年以前に少くとも二人の有能者が十分に理解して居つたのである。然るに前に言へる如く、當局者は其の價值を理解することが出来ず、又二人の提案を利用することが出来なかつたのである。而かも一層不思議に堪へざることは、嘗に當時に於けるのみならず、今日も尙ほ依然として一般に之を理解すること能はず、紐育の都市計畫委員會の如きも、此の種の放射街路及び周廻街路を以て「假想的なる改良」であると看做し、「直角の及び格子形の

家屋はそれを建築するに一番安價であり、且つ住居するに最も便利である」といふ頗る實際的な、然し頗る淺薄な考を以て之を採用せなかつたのである。

オースマンが巴里の再計畫及び改造を試みたる際には大なる中心地點を設ることを飽まで主張した。而して此等の中心地點から幾多の道路が四方に放射し、又特別に重要な直線であるが、扱て其の中心地點は特に重きを措けるところの直街路に依つて中心地點を聯絡し、而して一系の周廻的街路を成すことが最も主要なる點であつたと思はれるのである。歐洲大陸の多くの都市に於ける基礎的計畫を見るに、何れも此の設計と同巧異曲のものであることが分る。或る場合には釣合よく且つ明劃であり、又、或る場合には多少明確を缺くものもある。コロンや、モスコや、ヴィンナ等の諸市に於て特に明白である。其の利益は今日では一般に十分理解せらるゝところであり、而して此の種の周廻街路及び放射街路を有する都市は、往々實際以上に賢明なる先見を有せるものとして稱揚せらるゝのである。

數世代の間、否數世紀の間、都市の舊き部分は其の安全の爲め必要なりとせられたる城砦に依つて區切られて居つた。其の城壁内には幅狭く、往々むさぐるしき街路が錯雜して



居つた。それで雑沓甚しく、衛生状態もまだ頗る憂ふべきものであつた。二三の道路が城壁を抜けて廣き田舎に出る。出来て居つたが、然しこれらは平和的な商業の爲め之に貢獻せしめんとて設けたるものではなく、却つて外寇を防ぎ若くはそれを遁がる、爲めか、又は周圍の田舎から物資を掠奪し來るが爲めの道路として設けられたものである。そこで、若しも戦争が終熄して平和が常態となり、而して城を毀ち濠を埋めて差支がないやうな時勢になつて來た時には、今まで之に依て占據せられて居つたところの場所を變じて大なる環狀街路又は大通りと爲すことが可能であり、そして又、それらの場所が特に此の目的に適して居ることが明白になつたのである。そこには公有の土地があつてこれに、十分道幅の廣い環狀の大街路を造るに足るのみならず、大通りに沿うて重要な建築物を建てるとも出來、更に廣場や公園などを設くる場處を取つた上に、非常に騰貴したる代價を以て、餘れる土地を賣拂ひ改良事業費の大部分を支拂ふことすらも恐らく出來るであらう。以上の事實は實にヴィンナ市の實際に經驗せるところであつて、現に同市は其の環狀街路の壯麗を以て世界に知られて居るのである。

第十八世紀に於ては、ヴィンナ市は城壁もあれば、稜堡もあれば、暗門もあれば、濠も

あるところの城砦市の標本たるものであつた。此の城壁の後には狹隘にして歪める街路が錯綜して居つて、廣場といへば、僅かに教會や市場の占有するもの丈けであつた。第十九世紀の半頃に至つて、辛くヴィンナ市は其の周圍を取り捲く所の城砦の不必要となれることを感知し、それより從來城砦の爲めに占領し居られたる地面を利用せんとし大規模の計畫を立つるに至つた次第である。當時土地の權利に關して帝國政府と國家と市との間に争ひが起つた爲め、其計畫も自然に延び延びとなつて居つたが、然し、一八五七年に此の争ひも解決し、そしてヴィンナ市は其の立派なる環狀街路を創設し、政府及び市の建物や、繪畫彫刻の博物館や、大學や、大寺院やの爲めの敷地を取り、然のみならず私人の用に供する爲めにまで少からざる場處を保留して置いたのである。其の餘剩地の賣却に依つて市は約八千萬弗の收入を得たとさへ稱せられて居る。尙ほ又、城砦の外廓があつたのを、これは外側の環狀道路を造る爲めに利用したのであるが、この外側の環狀道路は内側のそれと同じくダニュープ河よりダニュープ河へ達する様に成るのである。或は之を以て先見の明ある都市計畫とは言はれないかも知れぬが、然し、非常なる好機會をよく理解し得て、これを迅速に且つ立派に利用したる一例として擧ぐるに足るものであらうと思ふ。



然し、ヴィンナの例を以て、直ちに歌羅巴の舊都市の或るものが大概の都市には著しく缺けて居るところの此の種の立派なる街路を計畫する能力を有するものであると推定することは決して公平であるとはいはれない。露西亞のモスコウ市は恐らくヴィンナ市と略ぼ同じやうな手續を以て立派な環狀街路を設けたのである。コローン市は其の城壁を撤去して一條の環狀街路をそこに造つたのであるが、伯林市は斯かる機會を利用することが出来なかつた。斯かる環狀街路は米國の諸都市に於ても時々計畫されたのであるけれども、今日までのところ、大抵は實現せられざる状態である。巴里の舊城壁は尙ほ環狀大通りの敷地として利用せられて居る。而して巴里市は現に市の舊き部分を全然圍繞するところの頗る完全なる内外の環狀街路を有して居るが、尙ほ今一條の大通りを舊城壁に沿うて設けんとして居るのである。然し、環狀街路に轉換し得べき舊城壁を有する小都會は頗る稀れであるが、斯かる街路の利益は頗る明白なるを以て、大都市の多くに於て頻に之を計畫して居る。而して或る處では聯絡街路を全然攪亂する上に、破毀すべき土地及び建築物の爲めに巨額の金を費さなければならぬ。

シカゴ市は頗る大規模に斯かる一大大通りを計畫した。而して之を爲すには非常なる巨

額の金を要すことは、先に第三章に於て説述したる通りである。英國のリヴァプールはシカゴの様に大袈裟ではないが、なかなか先見の明を以て計畫を立て、斯の如き街路を造らんとして居る。而して市の中央に向ふもの、外凡ての交通は全然此の道路の周圍を通り、之に依て最も雜鬧せる區域を避けしめる様にする計畫である。次に白耳義のブラッセルはこれと同様の大なる大通りを設け、次第に改善を加へて居る。而して市の中で一番改善されたる部分を通つて居る其の東の部分は歐羅巴に於て最も立派なる街路の一である。最後に米國の諸都市にても、斯の如き大通りの計畫を爲しつゝ、あるが、或は現存の街路系統を横斷して之を設けるところもあれば、或は又群小街路を複合して、狭きところはそれを廣くし、足らぬところは延長するといふ風にし、そして所期の環狀街路を造らうとして居る。次に米合衆國に於ては、飽くまでも格子形街路案に固着して之を棄てぬ。然し、それから離れて別に立案しようとの努力も決して少くないのである。例へば、紐育州のロチェスター市は市の各方面を聯絡するところの眞直なる街路の系統を立てたのである。一八〇五年に於けるデトロイト市の大火の後、ワシントン案の影響を受けたること明かなる計畫案が同市の爲めに作られたが、然し、其の現在の街路系統は其の全體に就て見るに之に據



らざりしことを示してゐる。

如何なる都市にも、未だ發展せず、又未だ計畫だもされざる廣大なる地域があり、之に對して街路系統を計畫すべき機會が來るのである。而して、其の街路系統の種々なる部分は互に適當なる聯絡を保たしめ、且つ現存の系統を最後の目的に適合するやうに變更せらるゝであらう。小街路が格子形に計畫せられたる所に中斜線の大通りの系統を立てたる好適例はワシントン市である。街路交切地點には廣大なる地面が残されて居る。ワシントン市は富裕なる米國の首府であつて、其の背後には單なる金力が存するばかりではなく、金力にも増して結構なる國民の誇りと優秀なる立法部とが存して居る。而して、其の立法部の人々は各州及び各地方の選舉民を代表すると同時に、其の首府をして世界最美の一都市たらしむることを何よりも喜び望んで居るのである。ワシントン市は大規模なる都市計畫の下に遂行せられ、公共の建物は其の周圍に廣き空地を有し、街路は頗る廣く、且つ立派に植樹せられて居る。街路や、大通りの交切地點に在る環狀地帯や、四辻や、其の他の空地は記念碑だの、彫塑像だの、噴水だのを設くる場所として使用されて居るから、此等の廣き地面は市の他の部分と善く調和がとれてゐる。斯かることはワシントン市の如

くに一國の政治の中心であつて、商工業の中心でないからこそ出来るのであつて、普通の都市では出來難いことである。

街路計畫を考案すべき殆どすべての場合に於て、即ち、或は全都市といふが如く、一の大なる地面に互つて統一的になす場合でも、又は既設の部分に接近せる一小部分の地面に計畫するとしても、何れにせよ二個の最も大切なる條件を先づ第一に考察しなければならぬ。其の一は地形であり、他の一は現存の道路である。地域全體にわたれる正確精密なる地形測量は非常に重要なことであるが、然しながら第一着に爲すべきことは、主要なる排水線の決定と主要なる道路線の選擇とである。而して主要なる地形的特徴丈けを示せばよろしい。然し斯く言つても、徹底的に完全なる地形圖の價値を少しも輕減しようといふのではない。得らるべき報告は出来るだけ精密でなければならぬが、最初から餘りに精密過ぎることを狙ふのは不得策であるといふのである。計畫の細目が定まつて後に至つて初めて一層完全なる地形圖の必要が生じて來るのである。街路計畫は圖面の上では頗る結構であつても、一旦實地にそれを試みる場合、全然實行すべからざるやうなことが多くある。十分なる地形測量が初めに爲されたならば、斯かる實行不可能なる計畫は立案提議せ



られないであらう。

第二の必要條件としては、現存道路の精密なる計畫であつて、一々其の道路の幅員や、道路に面する建物等を明かに示すことである。其の道路には二種類あつて、第一は諸村落や又は人口の中心地を聯絡する役目を持つ舊き大通り、第二は土地發展の一部として設けたる道路にして従來之に沿うて殆ど建物が無いといふやうなものである。第一種の道路は存在の理由を有し、有用なる目的に資せられる。而かも市街系統の計畫に於ては、此の種の道路を本軸となし、骨髄となすべきものである。

未發展の土地を計畫するに當りて、計畫の立て直ほしを不必要ならしむるやうに豫め行ふには如何なる方法に出づべきかといふに、勿論何人といへども、將來其の土地が如何なる發展を遂ぐべきやは正確に豫言することが出来ぬであらう。然し、前に述べたる根本計畫は、將來其の發展がまさしく斯くあるであらうといふ方向を定めるのである。これまでは恐らく都市の主要道路たるべしと思はる、道路に就いて述べたのであるが、此等の道路は土地を、三面、四面乃至はそれ以上の側面を有するやうな不規則なる形のものに分ち、而かもそれらの側面は其の長さ一哩の四分の一又は二分の一、若しくはそれ以上ともなる

であらう。此等の地域は又、第二道路に依つて更に小區分せられ、而して、其の區域に於ては何處か建物地に向くべきか、又其の第二道路の或るものが主要道路にまで發展する可能あるや否や、更に既存の主要道路と第二道路との接續の工合を善くし、交通の混雜を避くるには如何にすべきか等を先づ考慮すべきである。而して第一道路及び第二道路の幅員は如何なるべきか、これ頗る困難なる問題である。王立倫敦交通委員會が、數年前、周到なる研究の後發表したる報告書に於て第一道路に就いては其の幅員を左の如くに規定して居る。主要大通りは百四十呎、第一級街路は百呎、第二級街路は八十呎、第三級街路は六十呎、第四級街路は四十呎乃至六十呎である。尤も此の幅員は幾分か廣きに過ぎ、且つ不必要なる巨費を要すると思はれるが、然し、一方から考へて見れば、倫敦市が如何に其の不十分なる街路の爲めに悩まされたかを偶々證明するものと言はれよう。夙に一八七五年に於て伯林の街路に關する普魯西の法律は左の如く規定して居る。即ち主要街路は其の幅員九十五呎若しくはそれ以上、第二街路は六十五呎乃至九十五呎、第三の地方街路は四十呎乃至六十五呎である。尙ほ第二級に屬する獨逸都市の爲めに規定された標準に依れば、主要街路の幅員としては八十五呎乃至百二十呎、第二街路のそれは五十呎乃至八十



呎、第三の地方街路のそれは三十五呎乃至四十八呎である。主要街路の場合に於けると同じく、第二道路の布設に於ても、地形といふ點に注意を向けなければならない。尤も勾配や直線といふことは比較的重大ならずとも、路面の排水及び下水の設備に就いては常に注意を怠つてはならぬ。最後に小街路、即ち殆ど全く居住家屋への道として役立つところの小街路の布設である。此等の小街路は直接に第二街路若しくは第一街路と聯絡するものであるから、其の勾配や直線の如きは殆ど問題では無い。何故といふに此等は殆ど全く私用の車か若くは附近の家々に物品を運搬する車の爲めの道路として役立つものであるからである。唯だ其の布設に際して主として考慮すべき點は、十分に光線と空氣との流通をよくすること、そして之が邪魔になる様な餘りに緊密なる發展を防止することである。此等の小街路の正確なる位置を餘り前から計畫するといふことは愚なことでは無いかも知れぬが、然し其れ程必要ではなからう。

第二道路に依つて形造られたる種々の小地域に於ける街路系統も同様に取扱はれ得るであらうし、而して小街路は第二街路を横切るといふ風に布設さるゝであらうが、然し斯くせねばならぬといふ何等特別の理由はない。私人の住宅に通ずる爲めの小街路が長くして真

直でなければならぬといふ理由は少しもない。都市に於て最も人目を惹くべきものは、色々に取扱はれ各自其特徴を有する小き住宅区域であつて、他より來る人々をして之を見て驚歎賞美せしむるのである。若し此等の小區域が時を異にし、又は人を異にして設計せられる時には、此の取扱上の種々相が一層現はれるに相違あるまい。要は中斜線又は主要街路を最初に計畫すること、それから此等の街路から第二級の街路が放射し、それから又、小なる、そして一層重要ならざる街路が放射するといふ風に計畫することである。街路系統の發展は幾分か樹木の成長に類似するものと言はれて居る。即ち第一に幹、第二に大きな枝、其の次の大きな枝、小枝といふ風に樹木の成長の順序があるのと類似するのであるが、唯だ樹木に在つては、次ぎの大きな枝や、小枝は主要の幹から直接に生じては居らぬのである。第二街路又は小街路と主要街路との聯絡は餘りに頻繁であつてはならぬ、若しさうであるとすると、交通の安全を妨害することになるのである。若しも主要街路との聯絡が、出来るだけ直角を成して行はれ、而して斯かる街路上の望ましき位置を重要な建物の爲めに保留して置くことにしたならば、一層得策であらう。

直線といふことが主要街路、加之第二街路に於ても望ましいとではあるが、斯かる街路



を完全に真直にせねばならぬといふことにはならぬ。實際真直なる街路は誠に興味なきものである。そうかとて又、完全なる圓形若くは彎形街路を布設するにも及ばない。巴里の大通りは長さの種々異なるもの、系列より成り、種々なる角度に於て曲折して居るのであるが、其の見ても氣持の好いといふことは少しも變はらない。圖面上の均衡と路面上の均衡とは頗る異なるものである。圖面上に於ては、一寸でも均衡を外づれて居ることがあれば、直ぐ目に附くのであるが、路面上では、却々それが判からない。假令ひ大通りが短き真直な部分に劃られて居つても、苟くも一般的方向をさへ備へて居れば、其の實用と其の美觀とは、實際上に於て完全に真直であり、又完全に均衡を保つて居る場合と同じく保たれるのである。否それ以上に、その方向が變はる地點にある重要な建物は一層の興味を與へ美觀をも増すといふ結果になるのである。斯く頻繁と方向の變更するといふのは巴里の都市計畫の最も顯著なる特色である。前にも指摘し置ける如く、實地の街路と圖面上のそれとは異なるものであるが、扱て人々の見るところのものは、街路そのものと、街路の兩側に建てられたる建物とであつて、不整頓とか又は均衡の缺乏とかいふ、設計者の心を悲しましむるやうなものは、實地の街路に於ては決して氣付かれるものでないといふ事實を力

説しなければならぬ。

小区域内に於ける小街路は、それを真直にすべき特別の理由がないと同時に、努めて曲折又は不規則を採用しようとするのは、どうしても無理であると思はれる。獨逸に於ける最近の都市計畫に在つては、頻りに街路に曲折又は横脈を採用せんとする顯著なる傾向が見えて、甚だしきは一二地廓の處でさうするのであるが、此は特に街路の外觀に興味を添へんと目的に出で、居るのである。勿論嚴密に地方的にして重要ならざる住宅街に在つては、斯かる車馬の自由なる往復を妨ぐる様な遣り方も、さして兎や角言ふ程の事柄ではなく、街路は疑ひもなく之に依つて一層の興味を加へることであらう。然し若しも豫期せざる交通の頻繁さが此の小街路に現はれたらば、此等の曲折又は横脈の爲めに生ずる不便利は非常に大なるものであらう、假令街路の美觀を増すとしても不便を忍ぶ譯には行かなくなるであらう。そこで、近年獨逸の諸都市に於ては、街路の美觀を増し、而かも同時に交通の妨害を避くる爲めの種々なる設計案が採用されて居る。

現代式都市計畫を徹頭徹尾採用しながら、其の市街系統に於て努めて不整頓不規則を示したる絶好の例は、獨逸最大の石炭地及び工業地に位するエッセン市であらう。市の舊き



部分は東より西に市を通ずる鐵道線の北部に横はつて居り、而して舊き部分の中心地から交通道路が幾條となく放射し、同時に數條の環狀道路がそれを圍繞して居るのである。市の新しき部分は鐵道線路の南方に位して居るが、其處の小街路系統の不規則なることは、舊き部分に於けるのと同じである。而かも、それは市の主任技師たるシュミット博士が周到なる計畫を施した結果であると聞いて驚かざるを得ない次第である。

多くの都市計畫者等は獨逸の中世紀的なるゴシック風の小都市の美觀を賞するの餘り、今日の都市計畫にもそれから一々範を取らんとして居るのである。然し結局するところ、中世紀のゴシック風の小都市は美は美であつても、所詮其の時代の一般社會狀態を反映したものであるから、それをその儘、今日の社會狀態を異にする都市の計畫に採用する譯に行かぬことは識者を俟つまでもなきことである。小都市の位置、建物の配置、街路の安排など、何れも中世紀當時の社會狀態を反映するものであつて、吾等にとつて限りなく興味の多いものであることは何人も疑はざるところであらう。然し、それを過賞するの餘り、それを模範とするが如きは採らざるところである。

街路と街路との連續は重要なことであるが、然し此の連續といふことは、無限に直線

に延長せしめよといふ意味ではない、其の街路、又はそれと交切し又はそれを横切る道路の交通にとつて非常の邪魔とならざる輕易なる聯絡を計れといふ意味に外ならない。

次に都市計畫に於て全く一般に看過せられて居ることは、年中毎日何れの建物、特に何れの住家にも直接一定量の日光が確かに當るやうに街路の方向を定めるといふことである。勿論、何れの建物にも一定量の日光が直射するといふことは、其の土地々々の緯度の工合に依るものであり、又街路の方向及び幅員、接続するところの建物の高さ等の如何にも依るものである。オーガステイン・レー氏が嘗てモスコウ、伯林、倫敦、巴里、ヴェーナー、ボーストン、シカゴ、紐育、フィラデルフィア、及びワシントンの十六都市に就いて調査したところを述べよう。モスコウの緯度は五十五度四十五分、ワシントンのそれは三十八度五十三分である。而して建物の高さは八米突、十五米突、及び二十一米突にして、其れ其れ二階、四階、及び六階のものである。扱てモスコウに於ける東西に通ずる或る街は二十一米突の建物が並んで居るが、其の街に一日中最も日の短い日に直接日光を二時間丈け確保せしむるには、其の街は百〇五米突即ち三百四十四呎の廣さを持たねばならぬが、ワシントンに在つては、同じ高さの建物が並んで居る、同じ方向の街ならば、若し其の街が四



十二米突、即ち百三十八呎の幅員を持つて居れば、直接日光三時間を確保することを得るといふ。又モスコにて南北に通ずる街で、僅かに八米突の高さの建物が並んで居る所で、其の街が十二米突、即ち三十九呎の廣さがあるとして、直接日光を一時間五分丈け受けるのであるが、ワシントンに於ては、街の幅さが僅かに八米突、即ち二十六呎しかなくとも、直接日光を一時間と四十五分丈け受けるのである。斯くの如く他の八大都市に就いても同様の調査を爲したのであるが、何れにせよ、此の問題は從來注意せられたるよりも遙かに注意すべき價値のあるものであることは疑はれない。唯だレー氏の勸告せる日光の分量を供給することは、多くの場合に於て不可能であらう。

かの袋町なるものは舊い都市の興味ある一特色である。唯だそれは不衛生的にして不便なる傾きを有し、又火事の場合には危険となるものである。各街には直接の出口を有するか又は其の行詰りの所が車を廻轉する丈けの餘地を有するかすべきである。或る都市計畫論者は袋町の廢止に反對して居るが、唯だ一つの出口を有する閑靜な街は、閑靜なる住宅を好む人には實に望ましい所であることを認めねばならぬ、殊に其内端には周圍に建物の建てられる様に廣場を設け、中央には植樹の出来る餘地があるといふのならば然りである。

米國の都市は歐羅巴の都市よりも街路の幅を一層廣くとして居る傾向がある。而して新しき米國都市の計畫に慣れて居る人に對して、英國の都市計畫者等が英國に於ける或る都市にて、最近、街路の幅員を廣くするといふことに非常に満足して居るといふ事實を指摘するのは興味のある事である。即ち主要道路は六十呎、附隨の第一街路は五十呎、それよりも下れるものは四十呎の幅をとるといふやうな規定の出來たことに就いて、非常に満足の意を表して居るやうである。而かも一方に於て空地や、四辻や、公園等を有するクレセント(彎月形街)を設置し以て格子形の計畫を廢めんと努力して居るのである。又二十七英町の面積に六千五百の人口を有するところにて其の地主が再建築に於て市當局と協同し、從來の三十呎幅の街路に代ふるに六十呎の大通りを以てするに決したるといふ事も亦其の大に満足する所である。而して、米國の諸都市は廣き街路を設備することに於て、多くの場合餘り極端に馳せてはるなかつたであらうか。又は何事も標準化しようといふ最近の流行に驅られて、米國の諸都市は交通用の街路と商業用の街路と住宅地用の街路との要求に大差別のあるとを閑却はしなかつたであらうか。歐羅巴にせよ、米國にせよ、其の最古の都市は殆ど如何なる場合にも、廣き街路の無き爲めに苦しんでゐる。而してそれを設く



る爲めの費用は殆ど禁止的ともいふべきほど高額のものである。而かも餘りに廣き街路は高壯なる借家が處一杯に建てらるゝ、一廓を生じ易しといふ點に於て非常の邪魔となるものである。獨逸や瑞典に見らるゝ、長屋住居は其の實餘りに廣き街路の結果であるといふことである。伯林には一室住居の家は二十萬もあつて、餘りに廣く、餘りによく舗石を敷かれ、餘りに整頓して居る街路の爲めに却つて苦しんで居り、又餘り費用のかゝる街路からして必然的に結果するものと見える高壯なる借屋が純然たる住宅區域にまでも侵入して來るが爲めに苦しんで居るといふことである。建物が建ち過ぎて居る事例は、非常に賞讃せられたる獨逸の都市中の或るものに於て屢々見られるところである。例へばシャーロットンブルヒの如きはそれである。勿論、或る場合には非常に廣き街路を造ることもあるが、その缺乏せる方が非常に多い。巴里は幅員九十八呎又はそれ以上の街路百〇二哩を有し、倫敦にはそれと同じ幅員の街路の延長は僅かに八哩半しかないといふことである。

住宅地の大小、ついでには住宅地の集合たるに過ぎざる地廓の大小は街路間の距離に依つて決定せられるものである。もつと正確に言へば、街路にまで最後に小區分せらるゝことに於て、住宅地の普通の大小及び、それらが集まつて一地廓を成す方法は街路間の距離を決

定し、又或る程度迄は其の位置をも決定するのである。然らば住宅地單位の合理的にして且つ經濟的なる大小は何んであらうか。其の大小は既定の政策に依つて多くは決定せられるであらうが、此の政策なるものは經濟的發展の可能、若しくは社會狀態に及ぼす其の效果に關する研究の結果にあらずして、却つて一個の習慣である。紐育に於ては、標準的地域は奥行に於て百呎、横幅に於て二十呎乃至二十五呎である。此の幅は市の部分を異にするに従つて異つて居るが、百呎の奥行は殆ど一定不變である。或る地主が一區劃以上を希望する時には、彼は此等の單位の幾つを買ふのであるが、建物に殆ど例外なしに標準的地區の幅の倍數たる地先を有し、そしてそれが街路から街路まで一地廓を占めて居る場合にのみ、其の奥行は百呎以上に互るのである。此の地區の奥行の規定は商業區域でも、工業區域でも、住宅區域でも皆同様であつて、住宅區域が高價なる別荘の爲め用ひられても、又は立籠つた長屋、又は労働者や安月給取りの小さき住宅に使はれても何等變はる所はないのである。何れの場合にせよ、各一呎の地先に對して得らるべき平方呎の數は其使用者の誰たるに關はず同一である。一呎の地先の價格は近所の性質、街路の廣狹、改良の爲めに費したる費用の多寡によつて不同であることは勿論である。然し、街路の廣さが、地處の



大きさと共に厳格なる標準を定められて居る場合には、安値なる住宅を希望する労働者は非常に不公平なる割の悪い破目に陥らざるを得ない譯である。これは自分で家を買ふ場合でも、賃借りする場合でも同じことであつて、負擔は土地に對して負ふのであるから、利子として拂はざる時には、家賃として拂はねばならぬのである。貧民は其の希望する住宅を設くるに成るべく廣からざる土地を買ひ、其の住宅を氣持よく且つ健康に適するやうに、周圍に十分の日光と空氣とを得ることが肝要である。奥行きに於て二十五呎乃至三十呎の小さき家はその爲めに百呎の奥行を有する一地區を要せぬのである。

凡そ都市計畫に於て土地の小分割の問題、即ち一地廓及び一地區の分割の問題ほど厄介なものはない。其の土地の使用又は所有の上に色々事情に變更が起つた場合、其の變更の度毎にうまく適合する爲めに、街路計畫に於ては出来るだけ多く伸縮性を保たしむべきことを特に力説しなければならぬ。殆ど如何なる都市でも、斯かる變更の事實を夥しく有つて居る。例へば、上層階級の住宅區域が間もなく安値なる長屋區域に變じたり、又は商店工場などに早がはりしたり、更に又倉庫や製造場に再轉したりすることがよくあることである。地區分割は大概土地商賣人に依つて決定せられるものである。即ち彼等は其の時

に一番賣り易いやうな大きさに一廓の土地を地區に分割せんと欲するのである。若し地區が相當に大きいものであるならば、變化したる事情や或は従前に異なる使用に適合せしむることが容易であるが、然し、地區の單位が小なる場合には、それは非常に困難である。といふのは、色々異つて居る多くの所有者を説得してこれが爲めに協定を遂げしむるといふことは却々容易の事ではないといふ事實から來し居る。市當局は土地商賣人が地區及び家屋を直ぐ賣れるやうにすることを心掛けて居るのを見て、一般にそれを可能ならしむるところの一廓の大きさを定むることに同意する傾向がある。フィラデルフィア市に於ては市の大部分は初めから幅三百九十六呎奥行四百呎の地廓をば五十呎及び六十呎の幅員を有する街路に依つて境せられるやうに計畫し、又、此の市の特色たる一家族一軒建ての家屋の爲めに、往々此等の一廓は小なる一廓に分割せられて居る。而して更に四十呎の幅を有する街路を二條丈け通するのであるが、それは十四呎乃至十六呎の幅あり、四十九呎乃至六十呎の深さある百六十八個の建築地區の設備となつて現はれて居る。而して其の地區の後方には其れ其れ地區を分割する三呎幅の通路を設けて居る。市の規則によれば、各住宅に對しては十四呎の幅を以て最小限度となし、各地區に對しては百四十四平方呎の空地を以て最



小限度として居る。而して此等の地區は規定に違反せざる限り十分利用せられて居るが、建築者に依つては、後方の通路をも規定の空地中に算入しようとするものもある。尤も此のフィラデルフィアの土地分割の方法はかの横二十五呎、奥行百呎の地域に四五階の長屋を建て各階に四個の家族を容る、よりは優つて居るが、これは土地を餘りに、劇しく使用する方法であつて、市は其の修正に努力して居る。ブルックリンでは上流者の半別荘的な住宅地の爲めに横二百呎、奥行七百呎の一地廓を設けて居るが、これは頗る満足すべく、又結構な遣り方であつて、此の一廓中には中央給熱所が後庭の地面下に設けられ、其の煙突は此の地廓の一端に在る教會の煙突と聯絡して居るのである。

## 第七章 公園及び運動設備

諸侯の城砦を中心として其の周圍に建物を群集せしめたるものにあらざる限り、大概の都市には、其の中心として何等かの公共的な空地を有し、市民が其處に集會又は休養を爲したのであるが、組織的に公園又は運動場を設るといふことは、全然都市建築に於ける最近の發展事といふべきものである。尤も今日吾人が公園と稱する様な空地はずつと昔から存したものである。古代埃及人は夙に其の都市に或る廣場を設け、通例それを儀式等の際に使用し、彫刻物や、或は建造物を以て飾つたのであるが、これらは庭園といふくらのなものに過ぎなかつた。羅馬人は庭園や、競技場やを含める或る大なる公園を設けたものである。歐羅巴の首府には、十七八世紀の間に、帝室の遊園地として或る種の公園が出来たのであるが、それらは頗る大規模で、贅澤に出来て居り、彫刻、噴水、其の他の裝飾物があつたのである。而して此等の大なる帝室の公園の設計及び建設が、風景建築、即ち庭園術なるもの、出現を促した源である。かゝる公園は今日では人民の公有物であるか、然らざるまでも、人民が自由に使用することを得、而かも其の地に美術館や歴史博物館など



も附設されて居る。

然し、公共運動場として設計され、且つ發展したる都市の公園は、これ全く近代の考であり、又次第に増大せる近代都市發展の結果に外ならない。而かも尙ほ公園系統は偶然的發達であつて、都市計畫に於ける其地位は未だ十分に理解されて居らない。更に詳言すれば公園の都市に於ける價値はかの交通及び街路系統の價値と同じ程度にまでは理解されて居らない。此等は都市の自然的發達に依つて是非とも當面の急務として施設せねばならぬものであるけれども、公園の方は必ずしもさうはいかない。尤も寸尺の餘地もなく緊密に建設されたる都市に於ては、個人の住宅には其の周圍に空地がなく、街路も狹隘であり、各住宅に對する住居人平均數が大なる場合には一人割りの公園的空地の必要も従つて大であり、市の面積に比して一層其の空地の割合が大ならざるを得ない譯である。之れに反して、住宅と住宅とが密接せず、其の住宅には各庭園が設けられ、街路も幅廣く、並木が植ゑられて居る處では、公園の必要は遙かに少い譯である。工業都市又は工業區域は住宅都市や住宅區域に比して一層公園地の必要を感じるものである。

巴里は人口の密度に於て他の諸都市よりも越へて居るが、然し其の公園の地積は市の地

積に比して最も大である。實に巴里は人口五百五十四人につき一英町の公園地を有する割合となつて居る。然し、市の建物の建てられて居る部分に於ける空地は頗る少いのである。伯林は人口の密度に於て巴里に亞ぐるのであるが、其の公園地積は市の地積に比しては少しく平均を越えて居るが人口に比しては、マルセーユ及びリヨンを除いて他の都市よりも少いのである。伯林が人口に比して公園の割合が小なるのは、伯林程に緊密なる發展を遂げざる附近の郊外を其の區域内に含んで居らぬからであらうと思はれる。其の接續市たるシヤロッテンブルヒは一九一三年に於て人口三十二萬五千三百人を有し、一英町に對して五十六人の密度を有し、五百二十八人につき一英町の公園地積を有する割合となつて居るのである。

以上に掲げたる諸市と著しく反對を呈するものは、米國の首府ワシントン市である。市は一英町に對して僅かに九人の密度をしか有せぬが、公園地積は實に市の地積の一割四分に達し、これには勿論公共建物の周圍に在る廣大なる空地をも含んで居る。而して人口六十八人毎に一英町の空地を有する割合である。又カンザス・シティーは一英町に僅かに八人の割合であるが、市の地積の五分丈けを公園に供し、人口百四十四人毎に一英町の公園地



積を有するのである。

然るに紐育は世界中最も人口密度の多い市に属し、一英町に對する人口平均はライプツヒ、ハンブルヒ、又はリヴァープールに於けるよりは稍劣るのであるが、其の公園地は市の面積及び人口に比して大なることライプツヒ及びハンブルヒに超え、リヴァープールのそれよりも少いといふことになつて居る。今左に諸都市に於ける公園に關する統計を表示して見よう。

市名	人口	積(英町)	公園		人口	
			積(英町)	市面積の百分率	一英町に積	公園面積に積
倫敦(大)	7,351,358	443,424	15,901	4	16	456
倫敦(小)	4,521,685	74,816	6,375	9	60	677
紐育	5,333,539	139,662	7,738	4	28	639
巴里	2,847,229	19,279	5,014	26	148	554
シカゴ	2,393,325	124,448	4,388	4	19	545
柏林	2,082,111	15,696	1,034	7	133	2,014

備設動運び及園公

市名	人口	積(英町)	公園		人口	
			積(英町)	市面積の百分率	一英町に積	公園面積に積
ライプツヒ	1,657,810	82,933	5,143	6	20	322
ハンブルヒ	1,006,748	30,527	808	3	33	1,346
バーミンガム	840,202	43,601	1,414	3	19	598
リヴァープール	760,000	21,219	1,282	6	36	593
セントポール	734,667	39,100	2,765	7	19	266
ボストン	733,802	27,612	3,545	13	27	207
ミューンヘン	636,000	23,633	1,783	8	27	356
ライプツヒ	615,000	19,217	570	3	32	1,079
ホルチモア	579,590	19,290	2,402	12	30	341
コローン	544,400	29,001	745	3	19	731
ベルセーユ	528,000	6,176	210	3	87	2,562
リヨン	523,796	10,045	257	3	52	2,038
シエツライ	476,971	24,347	682	3	20	699
デュッセル	407,000	27,562	2,738	10	15	149
ドレスデン	353,378	38,400	5,212	14	9	68

備設動運び及園公



(一二四)

カンザス市	281,911	37,443	1,952	5	8	144
ロチェスター	241,518	17,352	1,836	11	14	133
平均 (大倫敦を含まない)				6.32	30.5	483

公共遊園地は之れを三種に分けることが出来る。第一は自然的公園であつて、成るべく自然の状態を其のまゝに保存するもの、第二は開拓せられたる公園であつて、それは牧場や、森林や、湖沼等を一團とせる自然的状态を巧みに利用して計畫するもの、第三は形式的公園であつて、どちらかといへば庭園の性質を帯べるものである。都市公園にして若し十分の大きさを有するものならば、うまく此等の三階段を通ることを得るであらう。成るべく自然の風致をねざるやうな場處に富める機会があるといふことよりも都市居住者にとつてより以上大なる恩恵はない。森林を通して歩道及び道路を造りさへすれば、それで公園地改良が出来る譯である。斯かる公園は益、其の必要を感じられるところであるが、往々にして其の天然の風致が破毀せらるゝ虞あるが故に、一定の計畫方針を立てることが愈、以つて必要となる譯である。而してそれと共に自然的公園を、次第に開拓せられたる公園

(一二五)

と化し、其の一部分は之れを適當の時期に至れば、形式的公園と爲すやうにすべきである。此の進化の過程は勿論十年乃至三四十年を費すことであらうし、其の間には他に自然的公園を買収するといふやうなことも出来る場合があるであらう。ボストン市は市區域外に斯かる公園を幾つも幾つも買ひ入れ、且つ其の都市公園の系統を組織し管理する點に於て實に驚嘆すべき先見の明を有して居る。此の系統は前の表にも示せる通り、市區域の外に在る三千五百四十五英町の外に加ふるに、更に九千四百六十四英町の地を含み、地而して方當局の管理下に屬して居る。十市及び十九町に處在する十四個の公園保留地があるが、それらは總べて州の政廳から約十五哩の距離内に在るのである。それには又約三十五哩の公園道路を含み、其の面積九百六十三英町あり、而して公園道路は平均二百二十七呎の幅員に相當するといふことになつて居る。

公園は普通市内の美はしき地點であり、それが十分に開發されるれば、往々にして其の處在する地方に於ける最も高價なる土地となることがあるが、然し必ずしも其が設置せられたる時に特に價格を有して居るとは限らない。反て公園地として最も適當なる地域が、その選定せられたる場合に、不動産として殆ど價值なきことが尠く無い。尤も市又は大會社が欲



求する土地が其の土地の持主の思惑で立ちどころに非常の價格を得るといふことは普通にあることである。やがては公園地として最上のものたるべき土地でも、往々土地開發者に依つては其の目的に不適當なるものと見做されることがある。険しい山腹の地を開拓することは、其の費用の點から考へて到底無駄であると判定せられることもあり、低地や牧場は往々洪水の侵害を被る點からして駄目であるとせられ、森林地帯は往々現在の交通系統から懸け離れて居るといふこともあり、沼澤地はマラリヤ熱の發生地となるやうな場合があるといふ譯で、其の實際の價値は頗る小なるものあり、若し之れを開拓するとしても、其の爲めに費すところの金が餘りに多大なる爲めに非常の困難に陥るやうなところのあることを看過してはならない。そこで、公園地としては結局現に發展の途中にあるところの市の部分に於て、其の價値が忽ち昇騰しやうな見込のある場處を選ぶべき必要が起るのである。斯かる方針を以て進行すれば、危険の程度も少なく、市の財政の上にも恐らく實質的の收入を増すといふ結果になるであらう。

然しながら、公園系統の計畫は之れを交通又は街路系統と同じやうに考察を加へなければならぬものである。而して公園系統は交通及び街路系統の如く之れを包括的計畫の一部

たらしめなければならぬ。尤も公園の計畫は之れを街路の計畫と比すれば、しかく明確には立て難き事情もあるけれども、然し、二者の間には或る種の關係の存することは言ふまでもない。これは恐らくは經濟的關係のものではなからう。公園の全面積と市の全面積との比の關係でもなく、大きさの最大及び最小の關係でもなく、又長さと幅との關係でもなく、最上の形狀に關する理論でもない。都市を計畫するに際しては公園地は之れを街路系統に依つて支配せしむべきものであると言ひ得るであらう。或はそうであらう。然し、街路も亦公園系統に對して或る關係を有するものなることを忘れてはならない。即ち、街路は地形に應じて、且つ又都市將來の發展に適するやうな先見の明を以て計畫されるべきものであると同時に、公園は之れを將來の考に遺し置くことが出来る。即ち、其の位置は其の時の便宜と必要とに依つて決定すべきである。斯かる關係を考慮して街路系統も公園系統も立てるといふことは敢て實際の場合として珍らしくないのである。

苟くも眞の公園系統を立てんとするには、其の系統の種々なる單位間に適當の關係を保たせねばならない。若し街路計畫をのみ立て、公園をば偶然の機會に委するが如きは、其の間に何等適當なる關係もあり得ず、従つて何等の公園系統も存在しないといふべきで



ある。相離れ居る公園にしてそれらの間には普通の商業道路若くは荷車道路の外は何の連絡もないといふ場合には、公園の美観は多く之れが爲めに殺がれ、又、其の將來效用の望も大半没却せられるのである。勿論、これは市の主要公園に就いて言へるところであつて、小規模の郊外地公園には當てはまらぬことである。ボストン及びカンザス・シティー兩市の公園系統、更にシカゴ市の湖水に面せる公園系統の大なる美と價値とは主として、公園と公園とを聯絡する驚くべき公園道路の系統に因るものである。サン・フランシスコ市も亦大なる並木道の完全なる系統を計畫し、且つ一部分實施して居るが、その一つは數哩にして太平洋の海濱に到達して居る。若し公園と公園との中間に幾條となく狹隘なる、そして雜鬧せる商業街路若しくは邸宅街路が通じ、而かもそれらの道路が如何に美はしく、心地よきものであるとしても、それでは公園としてのすべての特色は没却せられ、其の美と價値とは遙かに減ずるであらう。紐育市に於けるブロンクス區の大公園はそれら相互の間を通ずるに、立派なる一系の公園道路を以てし、而して其の中の一道路の如きは六百呎の幅を有し、今一つの道路は四百呎の幅を有して居るが、然しまだ十分には開けては居らない。然るに同市に於ける他の諸區の公園は不思議にも斯かる聯絡を缺いて居るのである。唯だ

マンハッタンの郊外リヴァーサイド・ドライブは二個の公園を聯絡して居る。ブルックリン區の一つの立派なる公園は二百十呎の幅を有する公園道路を數條有して居る。凡そ公園と公園とを聯絡するには公園道路を設くべきものではあるが、必ずしも極度に広いものでなければならぬ必要はない。然し、それはどうしても或る著しき公園的特色を備へて居らねばならぬ。即ち、其の道路に出ると直ちに公園に行けるといふやうな趣を備へて居らねばならない。故に公園系統を計畫するには、適當なる聯絡設備を講じなければならぬことは言ふまでもなからう。經驗に照らして見れば、凡そ幅百呎以上の街路は殆ど商業街路にまで發展するやうなことがない。それだから、若し公園聯絡道路として役立つところの道路が百二十呎乃至百五十呎の幅を有するとせば、左様な道路は恐らく商業には使用されまじく、且つ其の廣きが爲め愈々發展を爲せる曉には公園的特色を備ふるに至るであらう。

公園地域の正當なる選擇には熟練と判斷とを必要とし、而して、堪能なる庭園技師及び建築師の勸告を受け容るべきものである。實地に設計する時期に至るまで、之れを延期するが如きは極めて策の得たるものとはいはれない。種々なる公園敷地の可能に關する熟練なる知識は所期の目的にまで或る適せざる敷地を適合せしむるところの技術よりも遙か



に有價値のものである。公園の正確なる大きさと境界とは、其の爲めの土地が獲得せられると同時に決定するには及ばない。それは一英町幾何の土地として買収するも差支なく、而して其の境界は頗る不規則のものであつても宜しい。公園の周圍なる街路系統が結局決定したる時に、公園は其の土地の要求するが如き形と大きさに地取りしても宜しいのである。買収せる土地の或る部分は結局決定せられたる境界以外に置いても宜しく、或は建物區域と爲すも差支なく、又は數個の地廓と爲すも宜しい。之れを地廓と爲す場合には、公園を前に控える處は學校又は圖書館を設立するに屈竟の場處たるべく、離れたる處は警察署や、消防署に使用するに適當するであらう。何れにせよ、それが最初買収せられた時の値段以上に賣らるべく、その収入にて優に公園費をも支拂ふことが出来るといふ便宜がある。

グラスゴー市にては其處のクキーンズ公園を設置する爲めに二百四十五英町の土地を買収したが、それが結局百四十一英町丈けをしか含まないやうに設計せられ、而して殘餘の部分は、優に公園の總費額を生み出す丈けの金額にて住宅地として賣却せられたといはれて居る。又バーミンガム市は一八五六年までは一つも公園がなかつたが、同年に一個の十

英町の公園が市に寄附せられ、其の翌年に今一つ三十一英町の公園が提供されたといふことである。更に同市は一八六四年に多くの公園設置の爲めに五十英町の土地を買収し、一八七三年には尙ほ六十英町の公園が一つ市に提供された。一八六三年に、トロント市に接する百六十六英町の一區域は、公園設置用として公共心に富める一市民に依て同市に寄附せられたが、市は更に之れと同地積の一區域を購入した。そは今尙ほ風景の佳好なる自然的公園たるに止まつて居る。又紐育市の一公園は二人の貴婦人が其の父の記念として市に提供したるものであつて、其の地積は僅かに九英町餘のものではあるが、提供せられた當時、六十萬弗の評定價格を持つて居つたのである。

ハイド公園、セント・ジームス公園、グリーン公園、ハムトン・コート・ガーデン、キュー・ガーデン等の如き倫敦の大公園は皇室の附屬地であるが、市費を以て購入せられたる公園と同じく全然一般に公開せられて居る。又、巴里のボア・デュ・ポローニユはもと國家所有の古い森林の一部であつたが、一八五三年に、それを近代的公園として改良すべしといふ條件にて市に下附され、而して其の改良費一千四百萬フランの中の大部分は既に回收せられたといふことである。又、ボア・デュ・ヴァンサンネも同じく國家より下附せられたもので



あつて、巴里市は其の一部分を賣り、而して公園としての改良費二千四百萬フランの過半は既に回収せられたとのことである。

地形上の關係が大部分、都市の公園地選擇を決定するものであるが、それと同時に、公園相互の配置、位置關係等はこれまた非常に深き研究を要するものであることを忘れてはならぬ。可成り大きな都市ならば、一個若しくは數個の大公園を有し、而して往々市の中心地に大公園があるといふのは、古くより其の土地を買つて置いたからである。それであれば、市の外廓の方に大公園が設けられて居るが常である。倫敦市のハイド公園は三百六十四英町を有し、ケンシントン・ガーデンは二百七十四英町を有し、二つながら市の中央地に在り、又エセックスのエッピング・フォレストは五千五百六十英町の面積を有する。巴里の西部に在るボア・デュ・ポローニユは二千百英町以上を有し、東部に在るボア・デュ・ヴァンサンネは約二千三百英町もある。伯林のティーヤ・ガーデンは六百三十英町ありもと皇室の私有地ではあるが、公開の公園となつて居る。又、グリネワルドの皇室林はポツダムへの途中に在つて、實に一萬一千三百五十英町もある。維也納市には千五百英町あるブラーター・ガーデンがあり、ダブリン市のフィニックス公園の面積は約二千英町ある。ブダペ

スト市のシュタットワルドヘンには約一千英町の地域があり、更にダニューブ河のマーガレッタ島は長さ約二哩、幅半哩あつて、もとブタベスト市の市有地であつたが、今より五十年ばかり前、或る大公に狩獵地として下附され、風景よく、今では遊園地として公衆に公開されて居る。紐育市の中央公園はマンハッタン區に在つて八百六十二英町を占め、又ブルックリン區なるプロスペクト公園は五百七十五英町を占め、二つとも市の建物櫛比せる地に處在し、而して市のベルナム・ペー公園及びヴァン・コートランド公園は市の北境に沿ふて處在し、併せて二千八百八十八英町の面積を有する。フィラデルフィア市のフェアマウント公園は殆ど市の中心地に處在し、三千三百六十英町ある。ボストンのブルー・ヒルズ・リザーヴェーションは四千九百〇六英町あり、又其のミッドルセックス・フェルズは千八百九十八英町あり、リン・ウッズも略ぼ同じぐらゐの大きさであり、三公園ともすべて市の境界外にはあるが、大都市區域内に入つて居る。

多くの都市は市民遊園地を市の區域外の附近地に設けて居るが、これは非常の先見である。此の計畫に於ては州又は國家が市と協力し、又は市の改良を増補するの舉に出づることが出来る。紐育市及びウェストチェスター郡は共同的にブロンクス公園から十五哩を距



つるケンシコ新貯水池に至るところのブロンクス・リヴァー公園道路を建設することに依つて、ブロンクス河の自然美を保存したのである。

ニュー・ジャージー州のエセックス郡は、人口多き多数の町を有するが、合計三千二百〇六英町を占むる公園十三個の一系統を立てた。而して、其の中の一は約二千英町の地域を有して居る。此の公園系統は競技場、運動場、ゴルフ場、ボート及びスケートの爲めの湖水を含み、其の設置に六百萬弗餘を費したのである。紐育州及びニュー・ジャージー州はバリセーヅ・インターステート公園の設置に協力して居るが、一體此の運動は、元來紐育市の北部とウエストチェスター郡内の接續諸町の對岸に當るハドソン河の西岸に沿へる懸崖地の自然を保存せんとしたるに始まつて居る。而して、此の計畫はイー・エーチ・ハリマン夫人が約一萬英町の地積を寄附せることに依つて、一層其の價值を増し、一層其の地積を廣めることとなつたのである。其の現在地積は一萬八千英町を含み、而して、此の大公園系統は紐育及びニュー・ジャージーの附近都市に近いところに在るからして、それら諸市の遊園地の一部と考へることが出来るのである。

都市に頗る近く、市民が容易に使用し得べき著大なる國民的公園はヴァンクラーヴァー島上

に於けるストラスココーナ公園である。公園は島の中央部に於て五十三萬二千英町を占め、而かも今日尙ほ未だ大部分開拓せられて居らない。其の範圍内には森林、河、瀧、峡谷、氷河、雪に掩はる、山々があるが、魚鳥及び獸が夥しく居る。現在其處に行く便宜は頗る貧弱であるが、ひとたび交通の道が開ければ、容易にヴィクトリア市及びヴァンクラーヴァー市等から行くことが出来るし、又、ワシントン州のビューゼット・サウンドに沿へる町々からさへも行くことが出来るよう。

ポストン市が最近實行せる公園改良の一つは、實に驚歎に値ひするものであるが、それは即ちチャールス河小灣の造設である。病毒地域を買入れ、其處に在る建物を毀ち、其の地を何かの公共的用途に供したりする頗る費用のかゝる方法に依つて、不衛生的狀態を改善することは往々爲されるところであるが、此場合に於いては大に其の方法を異にして、破壊的ならずして、以前に不用又は無用なりし土地に新たなるものを造設することに依つて同一目的を達成し得たのである。チャールス河は一種の潮流域であつて、其の岸は一方はポストンの最善なる部分の或る處に接し、他方はキャンプブリッジの或る部分に接しては居るが、風致の點からも健康の上からも甚だ面白く無い、殊に引潮の時には甚だしいのである。



そこで此の河に堰を造り、小船を浮かす程にし、岸壁を造り、又、人道や車道なども設けたので、極めて美はしき場處となり、潮流そのものも常に新らしき水を湛ふる湖水と化するやうになつたのである。

斯かる公園は誠に貴重なるものには相違ないが、多くの貧しき人々には、そこに行くべき僅少の金にさへ堪へ得ざるものがあるから、そこで、近所に小公園を設けて、日々一般民衆が樂に遊歩することの出来るやうな設備が必要となつて來るのである。此等の小公園は市の如何なる處からも、容易に行き得るやうな距離に澤山設くべきである。

公園は次第に運動場として使用せらるゝ傾向を呈して居るけれども、他方に於て、斯かる活潑なる運動に耽り得ざる人々の爲めの閑靜なる休息所たるの必要も強いのである。附近小公園をば競技場や運動場と爲してはならぬ。斯かるものは別な必要から起れるものである。一體、運動場は實に最近の發達に屬するもので、其の科學的組織及び管理は殆ど一個の専門職業に屬して居る。兎角、此の運動場の價値を誇張し、公園の補足とせずして、却つて公園の代用と爲さんとする傾向がある。

運動場及び競技場の發達及び管理に先鞭を着けたるものは、シカゴ市であつて、殊に

運動場は公立學校と密接なる關係がある。其の有益なる結果を舉れば、次の如き個條であらう。即ち第一に警察の記録に據ると、公園運動場附近に於て少年犯罪の数が激減して居る。第二に運動場の位置選定は正確なる一個の科學であるべきことを示したのである。而して根本的に解釋すれば公園は之を市民に持ち來すべきものであつて、市民を公園に持ち來すべきものでない。公立學校に於ける大投資は極度に使用すべきものである。運動場系統の發展は市及び學校の發展と同一歩調であるべきことである。大概の都市では、學校は最も人家稠密の場處に建てられて居る。既設の小運動場の觀察から斷定を下して見ると、完全なる運動及び體操の道具設備は、一英町半乃至二英町の地に置かるべく、而して適當なる遊び時間を定むれば一英町に付き約七百人乃至一千人の兒童を容るゝことが出来る。そこで、最小限二英町を以て運動場の合理的なる大きさとして採用せられた、而して、各學校の構内又は其の周圍に、一英町に就き七百人乃至一千人の兒童の割合で、其の地を置いたのである。此等の空地及び學校の建物は、成るべく多く夜の運動中心及び社交中心として使用せらるべく斯くして多數の勞働者は社會的活動に参加することを得る譯である。

年長兒童及び勞働者の爲めの競技場に就ては、既設の競技場を土臺として十五英町乃至



二十英町を以て最小單位とすべしといふことに決せられたのである。而して可成り互に接近するを要し、二哩以上の距離に置かぬやうにし、労働時間後又は土曜日、日曜日等に於て其處に行くに何人も困難を感じぬやうにすべきである。大競技場は何れも游泳場や、體操場や、市の圖書館分館や、講堂や其の他労働者の閑暇時を利用せしむべき社交機關などを設くべきであり、これらは皆男女共通に公開せらるべきものである。

公園の設置は其の附近の爲めに利益を來たすものなることは、一般に承認せられて居るが、運動場の設置は必ずしもさうではない。何故なれば、運動場は必ず幾分か騒々しくやかましいからである。そこで、此のやかましくても邪魔にならぬところ、而も容易に行けるやうな餘り遠からざるところを選定して設置するやうにしなければならぬ。科學的に組織されたる運動に關しては、多く語るべきことがあるが、これは直接都市計畫に關係あるといふよりは、むしろ都市行政に關する問題であるから、本書に於ては、之れ以上にわたつて論ずることを避けよう。唯だ、一般的都市計畫を實施せんとする場合に於て、其の種の設備を爲すことが必要であるといふことを常に念頭に置かねばならぬ。

## 第八章 公共建築物と都市中心地

此處に公共建築物、略して公館といふものは、之れを廣い意味にて用ひ、單に國家、州又は市の事務を行ふ建築及び公衆が常に出入する公立圖書館、博物館の如き建築物を言ふのみならず、更に公共當局者が事務を營むところの建物、例へば、學校や監獄や慈善的機關や、市場や、病院や、警察署や、消防署や、浴場や、給水場下水等より橋梁及び記念碑等に至るまでも總稱して言ふのである。其の他、教會や、休養娛樂機關や、種々の建物及び設備等をも含めて言ひ、而して此等のものは、歐羅巴諸國に在つては公共當局者に依つて維持せらるゝのであるが、米國に於ては普通に公共奉仕團に依つて維持せられる。此等の中には、鐵道の停車場及び終點、電氣及び瓦斯會社銀行等の諸機關等が含まれて居る。而して最近に於て重要な公共建築物を一所に集めて、それを有效なる都市中心地たらしめんとする傾向があるが、此の事も序ながら本章に於て説いて行かうと思ふ。

古代の都市に在つては、個人の住居は粗末にして目につかぬものであるのに反して、公共の建物は壯宏と美麗とを兼備して居つたものである。宮殿や、城廓などの如き君主及び



其の代表者の住居は實に國家の權力と威嚴とを代表し、人民の心に一種畏怖と歎美との念を起さしむる爲めには如何なる費用をも敢て惜まなかつたのである。都市は富み且つ強かつたので、其建物は其の市民及び他の都市の人々をして威嚴と權力とに打たれしめんと考へからして計畫され飾美せられたものであつた。教會や大寺院は善男善女の信仰心の發現とも見らるべき、彼等の宗教的熱心からか迷信からか、又は教會專制に對する畏怖からか、兎に角彼等は此等の建物の爲めに出費を惜しまざるの概があつたのである。有力なるギルドも亦美はしき建物を造り、さも美と權威とを示すが如く建てられたものであつた。

然るに近代の都市、就中米國の都市に於ては、人の目につく場處はと言へば、即ち商業王、成功せる賣藥屋、一代分限者、成金連の住宅である。或る場合に於ては此の種の幸福兒は其の名聲を永久に傳へ、其の建物に依つて市民の感謝を博せんと努力するものもあり、又或る場合に於ては、寛大にも半公共的機關に寄附金を爲し又或る場合には彼等の公共的精神は塑像又は噴水といふやうな寧ろ個人的記念の形を取ることもある。何れの場合に於ても、此の種の寄附者は其名を公衆に想せしむべき碑文を書き記すことを必ず忘れない。是等の物を建つる場所や、其の方法に關して寄附者がよく種々の注文を出すのでこれが爲

めに其の意匠を托せられ其の責任を負ふ建築師や彫刻師などが困却することがあるのは敢て珍しく無い。

輓近、斯かる建物の意匠や集合を改善することの必要が漸く覺知せられ、殊に米國に於てはその集合に關する多くの計畫が實施せられ、其の多くのものは、或る度まで威嚴と光彩とを發揮するに至り居る。斯かる傾向の最大動機は一八九三年に於けるシカゴ博覽會の主要建物の極めて有効なる配置が與へたる實物教訓であつたことは争はれざるところである。假し此の博覽會が米國に於ける現代都市計畫運動を初て惹起したのでは無いとしても、確かに其の大刺戟であつたことは疑はれぬ。

扱て此の新運動が未だ發展しなかつた當時、米國に於て最も位置の宜しきにかなへる立派な公共建物として擧ぐべきものは、ワシントン市の國會議事堂と紐育市に於ける市會議事堂であらう。前者はランファン案に従つて設立せられたが、他の公共建物は、多く貧弱なる意匠のものであつて、市の隨處に漫然と建てられ土地の買収が出来た都度に建てたものらしいのである。而して最近十年前に至つて漸く其の位置に關する包括的計畫が立てられ、國會の委員會及び美術委員會が此の計畫の指導を爲したのであるが、最初のランファン



ン案をば殆ど其の儘踏襲したものである。此の配置變更に着手せざる中に、公共建物に對する建築的意匠の標準を高めよといふ聲が高くなつたのはこれ又喜ばしきことと言はねばならぬ。

次に紐育市會議事堂は、二階建であつて、或る三角形公園中に、十九世紀の最初の十年間に建てられたものである。而して此の公園地は其の後忽ち天を摩するが如き高壯なる大建物が林立せる地方に於けるオアシスともいふべきものとなつたのである。市當局者は愚なる時には、合衆國郵便局を此の三角形の尖端の處に設立することを許可し、又、其の後、市會議事堂の直ぐ後ろに大なる裁判所を建てしめたのであるが、此等の二個の建物は共に其の意匠が貧弱であつて、市會議事堂のみが巍然とし聳えて居るから、如何にも配合が損ねられた形である。現に郵便局の移轉運動が起つて居り、又裁判所を別の處に新設することになつて居るからして、斯くして此の小公園は其の當初の目的即ち合衆國に於ける最上の一市會議事堂を建てる適處たるに立ち歸へることとなるであらう。

歐洲大陸に於ける重要な公共建物は一般に其の意匠がよくて、興味ある美はしき場處を占めて居るのであるが、英國及び米國に於ける此の種の建物は一般に其の意匠が貧弱で

あり、又其の位置も悪い。

若し都市が平坦の地であるならば、記念的の建築物は、相當の廣さを有する街路を以てそれに通ずるにあらざれば遠くより之を眺むることは出来ない。市の位置が丘がかつて居つて段々を成して居るならば、公共の建物は之を頂上に建つべきである。その位置の結構なる例としては、巴里のアーク・デュ・トリオンフであつて、これは或る丘上に建てられ、それには十二條の街路が通ぜられて居る。然るにヴェルサイユの城館は丘頂の背後に隠れて居つて、公園よりそれに行かうといふものには、建物の上部丈けしか見えないので、これは確かに位置が悪い。ブラッセルスの大法院は丘上に聳え、それに直通する大通りこそないが、殆ど市の何處よりも見られるのである。又水を前に控えるのも公共の建物にとつての適處である場合があつて、其の好適例はリオデ・ジャネイロの水に面せる大通の一端に在るモンロー・パレーヌスである。

フィラデルフィアの大なる市會議事堂は其の長さ四百八十六呎六吋、其の幅四百七十呎あり、内庭は縦二百二十呎、横二百呎もあり、一千八百萬弗餘の巨額を費して建設されたものである。其の位置はブロード街とマーケット街との軸のところである。ブロード街は幅



百十三呎あり、マーケット街は百呎ある。而して此の二大街ならば餘程遠方からでも市會議事堂の前面が見えるけれども、餘の部分は建物の周圍に群がれる大建物の爲めに隠れて居る。ペンシルヴェーニア停車場も其の大建物の中の一つである。そこで、今日此の市會議事堂に通ずる大なる公園道路が建造されて居る。

紐育の新設公立圖書館は約一千万弗を費して設立せられたるもので、或る小公園の一端を占めて居る。前面は第五街上に在つて、四百六十呎を有し、其の美はしき前廊は何處より見ても餘り目立たない。そこで其の改良に着手せんとして居るのである。歐洲大陸特に獨逸に於ては、重要な鐵道の停車場は都市への門口として取扱はれ、廣場の前面と看做されて居る。然るに、倫敦、紐育、シカゴ、セント・ルイスを初め其の他の英米諸都市の鐵道終點は通例、建物が群がつて居る爲めに隠れて仕舞つて、それを十分に展望することが出来ない。紐育の美はしきペンシルヴェーニア停車場でさへも、八英町三分の一以上の廣さがあるけれども、展望することが出来ない。紐育中央線の新設中央大終點はそれよりは少しく位置がよく、幅百四十呎のパーク・アヴェニューを軸として其の中央に位し、而して此のパーク・アヴェニューからは遠く離れて之れを眺めることが出来る。最初此の停車場に

於ても蒸氣を以つて運轉して居つたが、濛々たる煤煙堪ゆべからず、且つ其の南端に於て幅約三百五十呎ぐらゐの地域は之が爲めに占められ、十一條の十字街と一條の主要大通りとは停車場によりて邪魔せられ、警察消防等の敏活なる行動を妨げたのである。然るに其の後動力を蒸氣から電氣に代へるやうになると、線路は押下けられ、道路の交通も大いに改善せられ、停車場も同時に非常に取ひろけられ、其の幅も八百七呎に増し、本線の下に地方列車の線路をも設備せらるゝに至つた。重要な大建築物は已に線路の上方に建てられ、一帯の地が有利に使用せらるゝに至つた。

其の他、ワシントンのユニオン・レールウェイ・ステーションは嘗に輪奐の美を以て有名であるばかりでなく、他の如何なる停車場に比しても劣らざる大なる前面を有して居るのである。倫敦の大終點驛は不思議に通路の便が悪く、前面ともいふべき廣場を持つて居らない。リヴァプール・ストリート・ステーションもさうである。反對にエディンバラに於ける二大停車場たるノース・ブリティッシュ及びカレドニアンはプリンセス・ストリートに沿へる美はしき庭園の各兩端に位して居る。英國の停車場及び歐洲大陸の或る停車場は會社經營の鐵道旅舎の爲に隠されて居つて、其の醜さを示さない。獨逸都市の多くのものは大きく立



派なる停車場を建設し廣大なる前面を有し、そこより廣小路が放射して居る。例へばフランクフルト市のその如きである。アントワープの大停車場は其の位置がよく、主要通路から接近するに便ではあるが、停車場の建物は意匠として頗る舊式である。

米國都市の特色なる高き建築に就いて幾多の非難がある。而して是等の高き建物は多くは商館に限られ、それが廣告用に使われて居るのである。公共建物と呼ぶべきものは其の高さが程よく既設の建築的傳統と一層釣合ひがとれたものであつた。然るに紐育市は近來二十五階の市役所を建てたが、それには尙ほ十五階ばかり餘計なる塔がある。それは優に一地廓全體を占め、其の一部が市會議事堂公園に面して居るので、他の建物に日光と空氣とが入る妨げをしない。市會議事堂公園を距て、其の斜の處にウールウース・ビルディングが建つて居つて、これは五十七階である。市役所には六千人ばかりの吏員が收容され、而して其の建物は總べての階を合計して百二十五萬平方呎を有し、事務室、廊下等使用さるべき場處が七十二萬五千平方呎に及んで居る。若し此の使用さるべき場處にまで一割五分を加ふるとすれば、同一の收容力を有する五階の建物は日光と空氣とを容るべき中庭を除いて十六萬六千七百五十平方呎を有することになるであらう。

公共建物を有効に寄せ集めて、都市中心地を造らんとすることは、最近米國都市の熱望するところとなつて居る。大小幾多の町々や、多くの村落も今日此の問題を研究して居る。然し猶ほ未だ研究の程度より以上には進んで居らないが、最も早き計畫の一ともいふべきクリーヴランド市のものは、現に着手せられ、大部分は既に完成し、土地、改良工事、及び建物の爲めに既に千五百萬弗ばかり費されて居る。而して特に幸なることは、湖水に面せる大停車場をば此の計畫の一部と爲すことを得たのである。地面は幅五百七十呎、長さ約二千呎の矩形を成して居る。此の矩形地の北端に郡裁判所と市會議事堂とが相對して建てられよく釣合をとつて居る。此等の建物は古典的意匠のものであり、其の北方に新設ユニオン停車場即ち市の門口といふべきものが位置を占めて居る。フェデラル・ビルディングはモール街の南端を占め、その對となる建物は公立圖書館である。尙ほモール街の四方には將來に於て公共又は半公共の建物が建てらるゝ陣取りとなつて居る。フェデラル・ビルディング、郡裁判所、市會議事堂丈けが完成を告げた。此の集合計畫其のもの丈けにて要する土地は約四十一英町であるが、尙ほ安全なる計畫は十英町のレークヴイウ公園の外に湖水を埋めて土地となす五十三英町を含み、斯くして人家稠密の中心地に一百英町以上の地が出



來る譯である。

又最初の集合計畫の一つといふべきもので、完成を告げんとするものは、マッサチューセツ州のスプリングフィールド市のそれである。それはクリーヴランドのそれに比すれば遙かに小規模のものであつて、二個の建物と二者の間にある鐘樓とより成つて居る。

サン・フランシスコ市も亦其の主要なる公共建物の集合的計畫を實施し、既に其の一部分を完成して居る。其の著しき特色は之を現存の街路系統に適合させるといふ點である。市會議事堂以前の三角形敷地は、一部分は新設の建物敷地に、一部分は廣い通りに改正された。四個の市廓は之を大空地となし、其の周圍に建物を寄せ集めたが、扨て新設の市會議事堂の敷地は更に新なる四個の市廓に互つて居る。市會議事堂そのものは此の集合體の主要建物であつて、其の幅三百呎、長さ四百呎の巨大なる建物であり、直徑百十呎の圓屋根が聳へて居るが、其の頂は街路面より三百呎の高きに達して居る。大空地の反對の一端には横二百六十五呎縦四百〇二呎の大きさある一大講堂があり、直徑二百呎の八角堂を含み、それには五千人を收容すべき坐席を設け、更に露臺には尙ほ五千人を容る、餘地を有する。講堂に對して州の建物があるし、市會議事堂に向つて大空地の向ふ側には圖書館の敷地

が取つて置かれ、又他の使用未だ決定せざる建物の敷地もあり、更に大空地の四個の角に對して四個の小なる公共建物が建つことになつて居る。市會議事堂の圓屋根は何れの方面よりもそれに通すべき大通りの軸になるやうになるだらう。一九〇六年の大火以來、サン・フランシスコは焼失區域の再計畫を考案したるが、一般的改造が舊來の方式に則つて行はれざる間は、斯かる計畫を完成することの可能なることが明かにされた。而して、此の新設都市中心地に對する土地の購入されたる時には大火以後建てられたる建物は之を破壊せねばぬならんといふことになつたのである。直接立法及び一般投票の政策に依つて、此等の建物の建造費として八百八十萬弗の公債が發行されたのである。

シャトルの將來の發展に對する一般的計畫は其の商業的發展の爲め先見ある施設を爲すものにて、之には鐵道及び水路の終點、公園及び大通り系統をも含み、且つ廣大なる都市中心地の設計も考へられて居るのである。而して之に達する主要道路、一條は新設鐵道終點驛豫定地の前面に在る大空地と都市中心地とを聯絡する北より來る廣小路、他の一條は西から斜に現在の街路系統を横切つてビューゼット・サウンドの岸に通ずるもので、而してそれを超えて遙にオリンピックタ連山の諸峰が見えるのである。



紀念的の公共建築物の廣大なる集合の計畫され又は實施されたる中で最も著しきものはワシントン市のそれである。而して此等の建物の各々は廣大なる地域を有するので、頗る展望に便である。國會議事堂からポトマック河岸のリンカーン記念館までは約二哩ある。此の距離の東三分の二に沿ふて、即ちワシントン記念碑と國會議事堂との間には新設公共建物が集合することになつて居り、他の三分の一は美はしき公園となるのである。而かも別に一個の大きな建物を建て、之を其の周圍に在る多くの小き建物との對照に依て立派に見せんとするやうな考は少もないのである。然し何れの建物も其れ其れ處を得て、其の意匠及び配置に於て十分の調和を保つやうに計畫されて居る。廣大なる敷地を取つたのはワシントンの公共建物の著しき特色であつて、國會議事堂より停車場に至るまで、白堊館より上下兩院の事務館に至るまで皆然らざるは無く、従つてそれらの大なることを會得することが困難である。

扱て、公共建物の集合は次の點に於て利益がある。それは公共事務の集中を能くせしめ、相互の事務をうまく處理するに便ならしめる。加ふるに、斯かる集合は市の威嚴を増し市を訪る者に好印象を與ふるといふ點である。特に餘りに大くない都市即ち何十萬といふ位

の人口を有する處にとつて特に然りである。非常に大なる都市にては却つて集中を嫌ふやうな傾向が生ずる、これが所謂田園都市運動の背景となつて居る根本觀念である。而かも一方から考へて見れば、一つ處に多くの公共建物を集合させるのは、恐らく雜鬧と混迷とを招く虞があるやうである。斯くして最上限度は二十五萬人位の都市が一番都市中心地を造るに便利であらう。若しそれが數百萬人の大都市にまで發展した時には實に公共の便宜の爲めに小中心地が必要となるのみならず、斯かる小中心地は非常に大會の興味と美觀とを増すであらう。劇場の様な娛樂の場所を一處に集めるといふことは確かに或る利益があるであらう。即ち人が一の劇場に行つて若しそれが満員である場合には、それから僅に數分歩けば又別の劇場に行かれるといふ便宜がある。然し、斯く之を一處に集めると一つの處を最負にし、そこに行きつけて居るといふやうな多くの人々に取つては遠き所に行かねばならず、従つて其結果非常に交通の混雜を來たすことになるであらう。

多くの小い公共建物があつて、此等を皆都市中心地に集合し盡すことは出来ぬであらう。これらはそれを建つる時最も便利にして最も廉價に買はれる土地に建てるのであつて、其の建設に系統がない譯である。而して此等の建物には二つの種類がある。第一に屬するも



のは種々なる程度の學校、圖書館分館、公衆浴場等であつて、此等は本通りに建てる必要もなく、又建つべきものでもない。其の位置は大部分は住民の分布に依つて決定さるべきものである。然し、市の種々なる部分に於ける或る地廓が特に此等の建物の敷地として取除けられたる場合には幾地廓かを寄せ集め互に調和するやうに設計し、十分日光と清鮮なる空氣の流通とに注意し、又將來の發展に對して餘地を存せしめ、而して未だ其必要な間は其の空地を運動場を使用することが出来るであらう。斯る地廓は其の周圍の街路系統が交通の頻繁を來すやうな程に不規則なものであるならば、實に斯る建物の敷地として適當して居る。第二は警察署、消防署、修理工場、市の厩舎等の種類を含むものである。これらも互に調和を保たせ整然たる集團を成さしめることが出来るであらう。此等の建物は其れ其れの任務の爲め自然主要通路上又はそれに近き所に建てられる様になるであらう。

今日の米國の學校の或るものは頗る大きく、立派な設計に成つて居る。紐育の中學校の一つは横三百呎縦六百五十呎の敷地を有して居るが、其兩側には密に住宅や工場が建てられて居る。然し敷地の廣きお蔭で横二百呎縦五百呎の中庭がある。今一つの中學校は校舎の

周圍に廣き空地を有して居るので、市の建物が此處に建てられるやうになるであらう。

アーチ、記念碑、噴水等は裝飾の目的を有するものと考へられ、善く目立つ場處に建てらる、やうであるが、不幸にしてこれはさうとばかりは限らない。巴里には斯かる建設物の位置として誠に結構なる多くの例があり、又伯林のティヤガートンへの入口に於てウインター・デン・リンデンを横ぎれるブランデンブルヒ門もさうである。紐育第五街の下端に於ける終點として目立つものはワシントン・アーチであるが、南方からはよく見えない。陸海軍記念アーチはブルックリンのプロスペクト公園への主要入口に建てられて居り、此の入口の前なる大空地に幾條となく重要街路が輻湊し來るが、而かも此等の街路の軸から外れて居つて、能く見得べくもない。

次に大建物以外の施設であつて、一般の注意を惹き、其の位置や意匠の點に於てよく目立つものは橋梁である。橋梁は通路の一部であるから其の位置は大體街路系統に支配せられる。然し其建造材料、其重さ及び意匠は必然的に基礎の性質に依つて決定せられ、更に其の上及び下を通過する交通機關の種類に依り、位置の地形竝に經費の點等に依つて支配せられねばならぬものである。紐育のイースト・リヴァーに架せらる、橋ほど大きく費用が



か、り、壯大なものはあるまい。然し、其の美観といふ點よりすれば、ブルックリン橋に越したものはなからう。其の塔は石造であり、其の意匠は單純であるが立派である。巴里に在つて最も注意を惹く橋はセーヌ河に架せらるゝものであつて、就中、世界最大の一といふべきは美はしきアレクサンドル三世橋であらう。倫敦及び伯林の橋梁も興味あり、且つ壯麗であり、ボストンのキャンブリッジ橋も亦大きなものではあるが、是等は何れも紐育のイースト・リヴァーに架せらるゝ橋には及ばない。

次に市は排水所や、塵芥焼捨場や、下水工事等市民が多少いやがるものを處理する市營の設備所を建設し、維持しなければならぬ。尤も此等の建物の建てらるゝ、地方の住民は煤煙や、音響や、悪臭や醜狀等より延いて地價の下落を來すに至るのを嫌忌するのであるが、これは固より自然の人情であるから、それを設計、建設、經營するには非常の用意を要することは勿論である。貯水池や給水所等は今日では却て市の美観を増す様に建てられるまでに進み現にボストンのチェスナット・ヒル貯水池や、デトロイト及びシカゴの給水所などの如きものがある。リオデ・ジャネイロの下水所、エッセン・ノルドの下水所などの市民より嫌はるゝことなく、ドレスデンの點燈所の煙突も一個の裝飾物視せらるゝに至つたのである。

## 第九章 都市計畫の經濟的價值

一般公衆の自由なる使用と利益との爲めにせられる改良又は改善事業の利益を金錢に見積ることは難しい。不満足なる計畫の爲めに惹き起される澁滞及び濫費より生ずる個人や會社の損失は之れを見積ることが出來やうが、然し、此の種の見積りは精密なる研究を遂げてから愈、最後の結論を下すべきものである。數字には決して間違ひが無いと言はれるけれども、時にそれが非常なる間違を來たすことのあるのを忘れてはならぬ。統計は若し之れをうまく使用するならば、それは殆ど何事をも證明するに足るものである。而してそれが十分用心と誠意とを以て集められたるものであつても、何か或る事を證明せんと欲する特殊の目的の爲めにしたるのである。斯の如く何事かを證明せんと欲する場合には他の比較的 unnecessary なものはこれを除外して考への外に措くこともあり得られるのである。尤もかゝる除外のあることを認めても、其の證明の重大にして全體の結論としては之が正確であることを承認せねばならぬのである。一例を舉れば物貨を或る地點より他の地點へ運搬せんとする場合、斜邊に沿ふて運搬するよりも三角形の二邊に沿ふてするとの必要で



あるならば、勿論時間の損失と經費の増加を來たすのである。然し、之に依て交通統計を取り、いつでも近き線路を通ることが、運搬さる、物貨の噸數に於て、必ず遠路を迂廻するよりも廉く付くとするのは間違ひである。それは其の運搬者の性質や力によつて大に差ふことを注意せねばならぬ。

生活及び勞働條件の改善より人の元氣を増進し、之が爲め救貧及び警察等の費用を年々減少することが、市若くは國家に與ふる利益は勿論頗る莫大なるものであるが、然し、かかる場合には到底金錢を以て其の利益を見積ることは出來ぬのである。斯の如き統計は非常に大切なものではあるけれども、十分に注意して不當なる決論に陥ることを避くるやうにせねばならない。

善良なる都市計畫の利益を金錢上に見積るとは恐らく不可能であらう。都市計畫に關する法律の元祖とも稱せらる、ジョン・バーンズ氏は曰く、善良なる都市計畫に投資することは、其の計畫が市の新設部分に加へらる、場合でも、又は市の既設部分の改正に在る場合でも、兎に角それを一年間といふ短期から見れば非常に出費の多いものなることは争はれまい。若しこれを五年間といふ相當の年數から見るとは、その利益なることは首肯せら

れるであらう。更に五十年を一期として通觀するならば、もつと早く計畫を實施すればよかつたといふ後悔の念さへも市民に起させる位に有利あることが感ぜられるであらうと。氏は更に言を進めて百年前の村落にして今日では工業都市となれるもの、多きことを指摘し、村や、町や、市の物質的生活を整頓して、それが自然の成長發展を爲し、かの何時でも町が田舎に侵入する場合に於て呈するが如き不經濟、醜態、亂雜を避けるやうにすべきであると言つて居る。

紐育の中央公園は一八五八年其の土地の購入を爲し、それと同時に其の改良工事が開始された。一八七三年に至るまでは、市は此の計畫の爲めに殆ど一千四百萬弗を投じたが、其の中の約五百萬弗は土地の爲め、約九百萬弗は改良工事の爲めであつた。當時公園事務局長セーレム・エチ・ウエールズ氏の記するところによれば、此の工着手の初めより一八七二年に至るまでの間に於ける市の他の諸部分に於ける地價の平均増加率は約十割であつた。而して此の増加率をば中央公園に接する三區内の土地に通用したならば、一八七三年に於ける其の價格は約五千三百萬弗であらうが、實際に於ては二億三千六百萬弗となつて居たのであるから、其の期間の増加率は十割ではなくて、實に約八十割に上つた譯である。



此の増加が一に全く此の公園の買入と其の發展との結果であるといふ推測は是認し難い。斯かる暴騰の大原因は投機的ではあらうが、その賣れ行きの善く爲つたことが實際に地價を引揚げたることは疑はれない。斯の如く中央公園の周圍の部分に於ける地價の暴騰ありし間に、人家は北方に向つて非常に増加し、而して改良事業が開始せられたのである。それで、たとひ中央公園が買入れられず、又改良されなかつたとしても、地價に著しき増加があつたらうとは思はれるが、しかく騰貴するものとは到底想像せられないのである。若し之を半分と見て右三區の地價が公園改良の結果として四倍に増加したりとするならば、當らずといへども遠からずであると思ふ。

新設の街路及び其の擴張の經費の少くとも一部分を賦課するといふことは、合衆國では普通のこととなつて居る。而して、從來一般の收入から之を支出して居つた都市が此の方針をとるに至つたのは確かにそれが得策なることを證明したるものであると言はねばならぬ。此の方針は公園設置の場合にも採用することが出来るのであつて、例へば中央公園の場合には、その購入費の約三割二分はその公園の爲めに非常の利益を受くべき區に之を賦課したし、又ブルックリンのプロスペクト公園の購入費中、其の三割八分五厘は同様に

賦課せられたのである。後者の場合に、何故に公園の或る一方以外に其の利益範圍を擴張しなかつたかといふに、其等の方面に於ける土地が市の境界外に存し、その爲めに法律上賦課する譯に行かなかつたからである。プロスペクト公園から南に向ひ當時市の一部で無つた小さい町々を通つて大西洋岸に至り又東方、當時市の境界線であつた所まで幅二百十呎の公園道路が布設せられ改良せられた。而して三四十間の間、此等接續地の土地が其の價格に於ても發展に於ても右の改良事業に相應することが出来なかつたといふ事實は抑も都市計畫改良事業が、實際の、そして計算し得らるべき金銭的價値を有すとの議論を否定するに足るべき一例として挙げる事が出来るのである。然し、此等の公園道路に沿ふた土地の地價が著しく増加しなかつたことは、疑ひもなく其原因を交通の便宜を缺いて居つたことに歸せねばならない。即ち、彼等は一般的には非常に利益となつて居つても、地方的には比較的利益が少かつたのである。故に若し市の他の部分との接觸が適當の交通線に依つて出来たらば、地價騰貴は忽ち伴つて来る譯である。それであるから、此の計畫たるや決して完全なるものではなく、徒らに立派なる公園道路のみが出来てそれに適當なる交通上の聯絡が未だ備はつて居らなかつたといふことになる譯である。



カンザス・シティーは前にも一寸言つたやうに、頗る完全なる公園及び公園道路の系統を立てた。而して、之を爲すに公債を募つて、子々孫々に之を負擔せしむるといふやうな政策を探らずして、市民は其の計畫の市全體に對する直接の價值を深く確信して居るから、現金で之を拂はんが爲めに、自ら全經費を負擔したのである。デンヴァーは之れと略同様の方法を講じた。即ち市を四個の公園區に區劃し、新き公園及び公園道路の増設費は其區域内に在る不動産に負擔せしむることにして居る。而かも其の負擔の賦課は、購入せらるべき公園又は公園道路よりの距離に従つて多少の差等を設けられて居る。或る區に於ては公園に近き處は横二十五呎、縦百二十五呎の廣さを有する各地域に對して二弗九十八仙より、遠き處にては一弗十六仙に至るのである。尙ほ他の一區では五弗九仙より二弗二十六仙に互り、第三の區に於ては、三十三弗より五十仙に及ぶところもあるが、第四の區に於ては、此の區は市の中央部を占め、且つ之が爲め約三百萬弗に近き經費を負擔するところの都市中心點を含んで居るので、賦課は一千弗より最少額三弗に及んで居るといふのである。最初の費用は十五個年賦公債の發行を以てし而して其の利子及び年賦償還は各公園區内の土地に對する十五個年間の賦課に依つて爲すのである。公園道路の地均しを爲し、邊石を置

き、鋪石を敷く等の費用は其の道路の七百五十呎以内に在る土地に對する賦課を以て支辨することになつて居る。

小き町が急激に發展して一大商業若くは工業都市となり、而かも其の發展が、専門家の目から見ると、事毎に皆其の原則に叛いて居るといふ様な計畫に依れる如き事例も敢て乏しくない。然し、これら小都市の發展は一方に於ては或る自然的利益に依ると共に、他方に於ては其の附近地方の一般的發展と繁榮とに歸因するものである。従つて其の計畫たるや貧弱不良なりしにも拘はらず、かゝる目ざましき發展を遂げた譯である。其の計畫の缺陷とそれに伴ふところの商工業上の困難とが明白となれる場合には、發見されたる缺陷を矯正する爲めに往々巨額の費用がかかることがある、而して、若しも最初計畫を立案講究したる時分に、十分なる都市計畫の研究を試みたならば、其の缺陷は避けられたであらうと思はれる。缺陷にして最初から避けられたならば、多年の間、商工業の發展は阻害せられることもなく、又其の缺陷を矯正する爲めの巨額の金錢も入らずして済む譯であらう。改造の費用は、かの將來の發展といふことを目安にして計畫されたワシントン市を除いては實に殆ど總べての都會に於て數百萬弗を超過する有様である。諸都市の改造費を一々



列擧することは不必要であらうが、兎に角從來の計畫を變更したる有利の結果は、改良の行はれたる以前と以後とに於ける、附近に在る土地の價格を比較對照するならば、容易に分かることである。

交通の混雜、不必要なる距離等の爲めに生ずる遲滯の損失に關する算定は前述せる如く、必ずしも信憑すべきものでない。然し、此の種の算定は現存状態の改善を奨勵する議論の絶好材料として提出せられるのである。若し一百萬の通行人が市街鐵道又は馬車にて日々運ばれるとせば、而してそれが街路能力の不十分なるが爲めに交通の雜沓を來し一日假りに平均十分間づ、時間の損失を招くとせば、毎日毎日此等の人々を通じての時間の損失は一日八時間として二萬〇八百三十三日に上る譯である。若し此の時間の損失を受るところの人々の平均賃銀を三弗と假定し、而して此の時間の一半は使用主側の損失となるとすれば、一年の勞働日を三百日と見積り生産的事業に於ける全損失は實に九百三十七萬五千弗に上る譯である。尙ほそれ以外に夫れ夫れ勤務の場所に行くとの遲滯よりして精神的疲勞と焦燥とを惹起し、それが爲め作業の能率に如何ばかり大なる損失を來すかを考への中に入れたならば、其損失の如何に大なるかを略ぼ想像する事が出来るであらう。而してこ

れは一億八千七百五十萬弗に對する五分に當るのである。若しその市に於て、六萬の馬車及び自動車が一日本時間の遲滯を來すものとし、それが勞働時間八時間の一日に對して平均五弗の費用と見積れば、使用主又は所有主が招くところの時間の損失は一年三百日の勞働日として實に五百六十二萬五千弗の多額に上る譯であつて、一億一千二百五十萬弗に對する五分に相當するものである。故に若し此等の損失を除去することが出来れば、三億萬弗の費用の如きは何も惜むに足らぬのである。

斯かる議論はその實際上の價値は殆ど少いけれども屢々用ひらるゝのである。然しながら統計的數字を以て最も明白なる事柄を證明するの材料に供せられるのは、そもそも何故であらうか。若し斯かる缺點を矯正し斯かる遲滯を除却せんとする改良事業が價値のないものであるならば、何故その改良事業が屢々着手せられるのであらうか。それから又、此の種の改良事業を爲さんとする勇氣ある都市が、人口と富との急激なる發展に於て有名であるのは、そもそも何故であらうか。斯かる大規模にして金のかゝる改良事業に着手せざれば止まざる動機はそもそも何ものなるか、それは單に公共の資金を費し、斯して租税の負擔を増さんが爲めではなかつた。それは他の改良事業に於て優に收支の償ふとが知られ、



又この場合に於ても必ず引合ふべきことを確信するが故である。巴里市は都市を美化し之を住居に都合よく、又商業執務に便利なる場處たらしむるが爲めに數億萬フランの巨額を費したのは、これ誠に賞むべき投資と稱すべきではなかつたか、ヴィンナ市が其のリングストラッセの大通りを設け、それに沿ふて重要なる國家乃至市の公共建物を建て、斯くして世界の觀物たる街路の一つと爲したのは、決して損のないところではなかつたか。

ドレスデン市が河に面して其美はしきブルーレ・テレース、即ち『歐羅巴の露臺』と稱せらる、ものを建てたのも賞むべきことであり、ハンブルグ市がエルベ河を開鑿し、大船渠と終點驛とを建てる爲めに幾百萬弗を費したのも有利であつた。フランクフルト市が其の河に面する部分に手を入れ之を製造及船舶の終點となしたることを後悔したであらうか。獨逸の諸市は重要な鐵道終點を設け、市に出入する者に好印象を與へ、且つ其の前面に廣場と大通りとを造りたることを無用の業とは認めなかつたのである。コローン市は其の舊城廓に圓圈道路を造つたことを賢明であると考へたのである。蓋しこれらの事實が決して誤らざることは、試みに一八八〇年より一九一〇年に至る三十年間の獨逸諸市の發展に徴すれば一見明瞭であらう。

倫敦の市當局がテムス河の堤防を築き河底に墜道を掘り更にクキーン・ヴィクトリア街を創設し、ストランド、ホルボルン間の改良工事及び港灣能力の擴張等を爲せる種々なる改良事業は頗る有利なる投資であつた。エデンバラ市がプリンセス・ストリート・ガーデンスを設け、その主要なる二個の停車場を置き、かくして其處に來る人々をして周圍の美觀に驚かしむるのは、市の爲めに一つの財産と爲つて居る。ブエノス・アイレス及びリオ・デ・ジャネイロの二市が其の鹽水地の改良及び美化の爲めに投じたる巨資は已に取返されたのでは無いか。ボストンは其の廣大なる公園系統に投資して已に其の利益を收めかけて居るではないか。紐育市は其の新設給水所を設け、且つ其の交通系統を立るに當つて多額の金を投じたることを有利と感じて居るに相違ないであらう。シカゴ市が其の中央部の市街再計畫を提案したのが單に他から其の勇氣を賞められる爲めではなく、實に斯かる改造的計畫が市にとつて有利なる結果を生ずるに至るべきことを期待したからではないか。カンザス・シティー及びデンヴァーは公園及び公園道路の系統を立て、その爲めに多額の費用を投じたることを後悔して居るであらうか。又は此の計畫の爲めに特別の賦課金を支拂ひたる人々は其の投じたる金が其の儘に戻つて來ることを望み公園及び公園道路を拋棄することを辭せ



ぬであらうか。決してさうではない、合衆國並びに加奈陀に於ける太平洋沿岸の諸都市が大規模にして多額の入費を要する改良又は改善事業を爲したるを以て爲し過ぎたといふが如き感じを抱いたであらうか。すべてこれらの問を以上諸市の市民の前に提出して、彼等の答ふるところを聽いて見れば分かるのである。

然らば、何故に、それに對する答が斯くの如く自明であるところの問を今更發するのであらうか。如何にも善良なる都市計畫は引合ふのである。勿論其の利益は金錢にて之れを見積ることは不可能であるが、然し、其の利益あることは全く明瞭である。其の計畫の改良を試みたるすべての都市は、實に智慮ある金の使ひ方を爲したることを深く信じ舊態に復歸せんことを希ふやうなものは一つも無い。唯だ多くの場合に於てこれが爲めに投じたる金は實に莫大なものである。その計畫が最初實施せられる場合に一層周到の注意を以て研究したならば、改造的計畫に要する非常の巨額を避け得ることが出来たのであるが、若しさうであつたならば、如何程の得であつたか分らない。建設的都市計畫は其の利益を金で見積ることは出ざるも、最初に十分なる豫備的研究を爲さず之が爲め後に莫大の經費を要したる都市の損失を考へればよく其の利益が分かるやうな計畫を指して言ふのである。

尙ほ一つ改良計畫の効果が存する。それは商業及び執務の便利を増すことである。兎に角、改良計畫はいつも労働者、勤務者の生活状態を一層佳良に、一層健全たらしむるものである。それは日光と新鮮なる空氣とを導き入れるであらう。それは労働者が終日労働して家庭に歸り今までよりはずつと多くの時間を家庭に於て過ごすことを得させるであらう。又改良計畫の結果、住宅をば騒々しい音響や人馬の雜鬧する場處から遙かに離れしめ其の子女をば一層優良なる環境の中に生育せしむることを可能ならしむるであらう。斯くして商業状態を改善することの大企業が出来るやうな都市は同時に又、市民の生活状態の改善を希求して止まざるものであり、其の住宅の建つて居る街路を能く注意保管し、休養の爲めに空地を設け、排水の設備を善くし、飲用水の純粹を計り、家屋の衛生的状態を保證することを怠らぬであらう。これらが當然彼等市民の所有物であることは、恰も商業遂行の爲めの便宜が、商人及び製造家の正當なる權利であると同じことである。



## 第十章 工業町又は工業区域

工業町は他の町とは其の趣を異にし、又、如何なる町でも、其の工業区域は、其の町の他の区域とは或る點に於て異つて居る。即ち、其の区域の土地の大部分を工場や製造場などを以て占められ、其處には其の町又は区域が生産する物貨が蒐積されて居り、其の物貨が其の町又は区域の繁榮と富とを來たらしめ、それが爲めに其の町や、其区域が他にまで有名となるに至るのである。かのピッツバーグを考へて見よ、それは鐵、鋼鐵、煤煙、汚物等が其の繁榮及び富と離るべからざる關係あることを示して居るのは何人も疑はざるところである。シニフィールドは刃物製造といふことを暗示し、マンチエスターは木綿を、リヨンは絹を、エッセンは大砲と鍛鋼とを、グランド・ラビッツは家具を、ミネアポリスは粉類をオマハ及びカンザス・シティーは荷倉及び家畜置場を暗示する。もつと大きな都市ならば、種々雑多の工業が行はれるからして、吾々はそこにて製造されたる物品の大なる價値に就いて考へて居る丈けのことであつて、別に或る特殊の一産物を以て其の市を聯想するといふことがないのであるけれども、尙ほ且つ、其の大都市中の各部分は其れ其れ一定の工業

を聯想せしめること、恰もかの小都會地が或る特定の生産品を聯想せしめるが如きものがある。

或る根本的原理が此等の町や区域の計畫を支配することは鐵や、木綿物や、家具や、粉類や、其他何でも一定の産物を聯想せしむることのない處の其れに於けると同じであるが、然し、特に工業町又は工業区域を計畫するに當つて考察を要すべき事項が存する。便利に且つ經濟的に原料及び精製品を受取り、取扱ひ及び輸送する機關を設備し、それに依つて其等の經費を最小限度にまで減じ、生産品の價格の大なる部分を勞働に得させる様にせねばならぬ。そこで、汽車汽船等水陸二方面の十分なる運搬輸送機關を設備するところがなければならぬ。勞働者が其の勤務作業の場所に迅速且つ心地よく往來することの出来るやうにすべく、又彼等をして有效な勤務、作業を營むことの出来るやうに、清楚にして健康に適する住宅を與へるやうにすべきである。其の家庭の設備も萬事行き届いて居つて、斯かる條件を實現せしむることの出来るやうな装置を家庭に備へ付けることとし、其の住宅區域の如きも風の爲めに煤煙や、炎や、瓦斯などの侵し來ることの無い處を選定するやうにすべきである。工場や製造場に働く勞働者は随分澤山な買物を爲すであらうが、これらは流



行的の小賣店で買ふよりも安く買はれる様にせねばならぬ。而して彼等は住宅町又は住宅区域のそれと同じく娯樂と休養とを要するのである。此等の設備はさして壯宏美麗のもので無くとも、兎に角、其の必要な點に至つては同じであるから、それに對して十分に施設するところがなくてはならぬ。

無計畫といふことは從來都市一般の著しき特色であつたけれども、工業町の場合に於けるほど、其の傾向の甚しかりしものはなかつた。個人、組合、會社等にして新なる工場を設立するものは、必ずや、其の位置の適不適、或は交通運輸の便否、十分なる勞働者の供給、擴張の餘地如何等の事柄に對しては必ず慎重の注意を拂ふのであるけれども、勞働者の住宅、及び其生活の方法といふ一事に對しては殆ど何の考慮をも費さない様である。多くの町は種々の便宜を與へて其の町に工場を立てるやうにと工業家を誘引する。例へば一定期間敷地を無料にするとか、免税するとかいふ條件が行はれるが、斯かる町は、工場を新設する毎に、町民が増加し、商賣が繁昌するといふことをよく承知して居るのである。然しながら、其の町に新しく移住する人々をして如何に生活せしむるやといふ問題に就いては通例無頓着である。新來の人々は既に其地に在る店で買物を爲すであらうと普通期待

せられて居る。而して彼等が其の仕事に都合よき離在せる一劃に相當なる住宅を有つべきであり、又、其處に住んで居つて、其の日用品は其處の店から得るべく又、彼等相等の娯樂休養の場處をも得させなければならぬといふやうなことを言へば既に以前から此の種の商賣を爲して居る人々から強硬なる反對を受けることは疑はれざる事實である。

往々工場をば、現存の都市から離れて居る場處に建て、そして其の場所に町を新設して工場の使用人を住まはせる爲めの住宅を設備するといふことがある。斯くして、此の新設の町全體の發展の爲めに合理的に計畫することを得る機會が與へられることがあるのである。工場その者が適當なる運送及び取扱の機關を附設するとか、職工を始め、事務員、監督、技師までの家屋を設備するとか、商店や、娯樂休養の場處や、學校や、新設の町務を執行する公衙等其の他あらゆる局面に互り都會生活に適せる建物を建設するとか種々企畫すべき事柄が起つて來るのである。餘りに事を急ぎ、其の投じたる資本の利子は收入の利得で埋め合せなければならぬといふ様な事から、生産的なる工場以外には普通殆ど何等の考慮をも費す暇が無い。そして町はその自然の發達に放任せらるゝか、或はかの地價の騰貴をのみ念として他を顧みざる土地投機者の爲すが儘に委せられる姿である。



合衆國製鋼會社がインディアナ州ゲーリ町を創立するや、其處に極めて現代式なる工場を建て、生産費を最小限度に引き下げやうとあらゆる方法を講じたのである。會社は職工及び事務員の住居すべき町を設けねばならぬこととなつた。當時之に就て色々噂もあつたが會社は自から如何なる大事業を爲しつゝ、あるや、又、其の現に建設しつゝ、ある都市が如何に重要なものなるやを或は十分に理解して居なかつたのではあるまいか。兎に角、包括的な計畫を立つべき機會が終に利用せられなかつたことは争はれぬ事實である。會社は或る一定の區域を設定し管理し其の使用人を犠牲に供して地價の騰貴に依つて利益するがごときことをせなかつたのである。ゲーリの發展は實に目覺しいものであつて、一九〇六年の春には、其の場處は單に小な樫の木が一面に生ひ茂り、處々に池や沼があつた廣原に過ぎなかつたのである。然るに三年以内に一大製鋼所及び港が建造せられ、一萬二千人の住民より成れる町は十五哩にわたれる舗石道や、下水系統、水道、瓦斯、發電所、銀行、旅館、新聞、學校、教會等を有する處と發展した。一九一二年にはこの町の人口は二萬五千人以上に増加し、更に一九一五年には四萬に達せりと稱せられた。機敏なる土地投機者はこの機會を見、それを利用するに速かであつた、そして手當り次第に無秩序にして聯絡な

き開發の事業を爲した。合衆國製鋼會社の方では敢て其の職工の爲めの清楚にして衛生的なる住宅建築に努力しなかつたといふ譯ではないが、是等投機者が續々と勝手に遣つて了つたので、新設都市計畫といふ最も好き機會を利用することが出来なくなつたのである。尤も會社側では實際には職工住宅建設の爲めに盡力し、單に成るべく早く配當を得たいといふやうな我利我利的なる考はなく、衷心職工の爲めに最善を盡したいものと考へて居つたのであるが、如何せん、新設都市計畫を卒先してやるといふところまで漕ぎつけなかつたのは遺憾である。

製鋼會社は其の工場の設計に關しては出来る丈の聰明と熟練とを發揮し、出來得る丈け材料の賣買を經濟的に且つ便利ならしむるやうに考案したのである。各作業場及び其の他の建物は成る丈け迅速に且つ容易に物品の運搬の出来るやうにといふ考の下に其れ其れ其の位置を選定されたのである。近道があればそれを利用するといふ實に萬事遺算なきを期したのであるが、都市計畫に就いては斯る聰明の微分だも認め居られない。自宅から工場に往復する勞働者は何等通行すべき直接の線路を有しない。而して活動、運轉の迅速容易といふことは工場内にては實に巧妙に行はれて居るけれども、町の種々雑多なる仕事を



行ふ上から見れば、殆んど全く此の點が缺けて居るやうな譯である。製鋼會社の附屬物たる土地會社は初めて區分けを立て、そうして町の計畫を試みたのであるが、然し、其成功は別に何等の効果を及ぼさざるものである。工場設計に際しては最善の老練家の勸告に依つたのであるけれども、都市計畫の専門家を聘するといふ考などはなかつた。そこで他の舊くからあつた都市と同様にゲリーも亦後になつて都市としての種々なる缺陷の矯正に當らんが爲めに斯かる老練なる人の勸告を得なければならぬといふことを痛切に感ずるやうになつたのである。さはいふものの、ゲリーは當初から或る秀じたる特色を有したることを看過してはならない。主要なる商業區域を除いて他の街路には街路線の背後に二十呎乃至三十五呎の建築地線を設け、又た四五ヶ所の公園を造り、又た或る公共若くは半公共の建物が都合よく一所に集められて居る。唯だ遺憾であるのは、製鋼場が湖水に面せる一帯の地域を占領したので、市民の自由使用に供すべき湖水沿岸公園を設けることが出来なかつた一事である。然し、ゲリー市は或る顯著なる仕事を爲して居ることがある。即ち其の學校組織である。それはウィリアム・エイ・ワート博士の指導の下に所謂ゲリー制として教育界を通じて周ねく知らるゝところのものであつて、此方法は校舍及び其の設備をば唯だ教

育的に使用するのみならず、亦社會的にも最も有効に使用することを許すものであるとして他の處に於ても廣く採用せられて居るのである。

ゲリーが爲さざりしものを爲したのはミネソタ州のデュールス附近に同じ製鋼會社の一支社が建設せられたる工業町である。こゝは製鋼工場とセメント工場とが設置せられ、其の労働者に適するやうに都市計畫を立てたのである。その計畫の顧問たりしオーウェン・ブレイナード氏が製造場に關する居住地の設置に就て重要な點を左の如く述べて居る。

工場の使用人の概數が分かれば、其の數の三四倍を容るゝに足るやうな町といふことを目安にして施設を爲すべきである。この位が工場に働いて居る労働者の全數と其の全人口との割合として適當であらう。發展は進歩的たるべく、先づ第一になすべきことは工場の建物に従事する労働者の住宅の設備である。發展の境界は或る目立つところのもの例へば並木や廣場の如きものに依つて劃せらるべきである。市街の計畫を立つるには已に現存する所の公道を考慮の中に入るべく、而して主要街路は廣くして、工場への入口に直通するやうにすべきである。次の道路は二十四呎又はそれ以下の車道十を有し五呎の幅に爲すべく又その車道には凡て舗石となすべきである。區域の樹木は出来る限り之を保存し、且つ植



樹に關する一般計畫を最初から考案着手するやうにせねばならぬ。街路の命名に際しては、地方の歴史や、その工業發展の歴史に關係あるやうなものを選ぶべく、又住宅地は附近の如何なる地方の者が提供するよりも低廉なる地代又は家賃と爲すべく、特に下級労働者の住宅供給に就いて意を用ふべきである。又、學校及び公共建物の爲めの敷地も選定すべく、かゝる建物の集合に適當するやうな位置に之れらを集合するやうにすべきである。新設の町に於ける建築法及び衛生法は善く考慮して立案すべきである。假令他日其の地が或る都市に併合せらるゝが如きことがあつても、若し之が非常に有効にして合理的のものであれば當初の法規は必ず尊敬せられて繼續せらるゝであらう。

工場を中心として發達したる町市の大多数と著しく反對を示せるものはアラバマ州のバームンガム附近なるフェアフィールドの新設工業町である。即ち、こゝでは製鋼工場の有利なる位置に關して捧けたると同様の注意と先見とを亦都市計畫の爲めにも捧けたのである。會社は此の町の建築の爲めに資本を供することもせなかつたが又其町の將來に對して何等特別の興味をも有せざる土地會社の爲すが儘に委するやうなこともせなかつた。尤も適當なる都市計畫に第一興味を持ち、且つ之に就て老練家の勸告を仰がうと思ふて居る人

人が集つて一の土地會社を組織したのである。そして其の計畫は非常の注意を以て考案せられ、地形に適合する様にせられた。主要街路には十分なる幅を與へ、廣場の周圍に敷地を撰定して公共建物を此處に集め、而して建物の高さ、其の線及び用途に關して適當なる制限を置いた。建築地は相當の大きにて、後方には炊事場としての地處を設け、樹木の栽培にも豫じめ計畫されたのである。而してフェアフィールドが與ふる實物教訓は既にバームンガム及び其の附近に於ける小さき町々の状態を改善する上に於て著しき効果を與へて居ると稱せらるゝのである。

都市計畫及び住宅問題に關する著述家及び講演者は兎角、自分の國の工業都市に於ける最悪の状態と、他の國々に於ける最善の状態とを比較して議論をすることがあるものである。彼等はピッツバーグや、フォール・リヴァーに於て見出される最も悲しむべき状態を獨逸のエッセンに於ける理想的ともいふべき労働者の小住宅などと比較し、そして合衆國の工業都市は實に絶望的な悪計畫の事例として、將た又、使用主が其の使用人の生活状態などに關しては全然無頓着なる態度を採つて居る事例として擧げ、之れに反して、他の諸國に於ける工業都市はこれらの點に於て常に理想的なる模範であるかの如くに眺めて居るので



ある。勿論前者は往々悪状態なることが十分事實である場合もあらう。住宅は往々絶望的に不良なることもある。それに労働者の方ではもつと立派な住宅を借りることの出来る賃銀を得て居つても、それを儉約して故意に最も雑閑し且つ最も不健康なりと思はる、區域に生活せんとするといふ言ひ分は多分實際事實に基いたものでもあらう。労働者の生活状態の改善を計り斯かる人々に向て良好なる周囲の境遇を與へ、斯かる生活標準を維持せしめんが爲めに善意にして合理的なる規定を設けんとしたる會社及び個人は、却つて餘りに世話を焼き過ぎ労働者の自由に干渉するものであると不平の精神を以て眺められ、攻撃せられたることは事實である。その著しき例はブルマンのそれである。即ち此の實驗の失敗は疑ひもなく、創設せられたる模範的の町が一種の老姿的干渉主義を基礎としたといふ事實に因由せるものである。會社は其の使用人の生活状態の管理に於て獨裁的であつた、而して慈善的専制主義を行つたが、之に依て労働者側の信任と協同とを得ること能はず、其の設立者の美はしき夢は市の創設以後十年ならずして起れる大なるストライキに依つて全然破られて了つたのである。

一方に於ては斯の如く必ずしも利己的の考から脱したりとは言ふべからざるも其の使用人に對する興味は決して偽なきものである所の使用主の管理と、又他方に於ては其の最後の土地を賣却したる時には彼等の興味はそれで全く無くなるといふやうな不動産商人の利己的手段に委かす事との中間に今一つの方針がある、即ちそれは使用人自身の協働的所有と管理とである。此の制は英國及び獨逸に於て非常に成功したるものであつて、此等諸國に於ては、彼等が低利を以て澤山の資金を使用することが出来、國家自らが其の金を供給することも珍しく無いのであつた。これは未だ合衆國では實施せられないことではあるが、斯かる協働的計畫は合衆國にて頗る成功せる建物及び貸付協會の助力に依つて遂行することが出来るであらうし、又、斯くすれば労働者側から猜疑又は不信を惹き起すやうなことは恐らくないであらうと思はれる。

新設工業都市が續々として然かも急激なる發展を來たしたる一方に於て都市計畫といふ立場から見ると尙一層意味深い運動が絶えず起つて居ることを觀るのである。本來發展しつゝ、ある大都市に其の工場を置く多くの工業會社は疑ひもなく労働者の十分なる供給が得らるゝ見込があるからであるが、いつまでも事業の増加と共に膨脹することの困難なるものを發見するに至るのである。若し嚴重なる街路系統の爲めに其の工場を幾つにも分割せ